

経済産業省 令和3年度 「フェムテック等サポートサービス実証事業」 中間報告会資料



PwCコンサルティング合同会社 公共事業部
「フェムテック等サポートサービス事業費補助金」事務局
2021年11月

目次

1. 参加者デモグラフィック …… P3
2. 実証事業一覧 …… P5
3. 実証事業の中間報告資料 …… P7
4. パネルディスカッション …… P284

『生涯を通じた女性の健康推進のために』

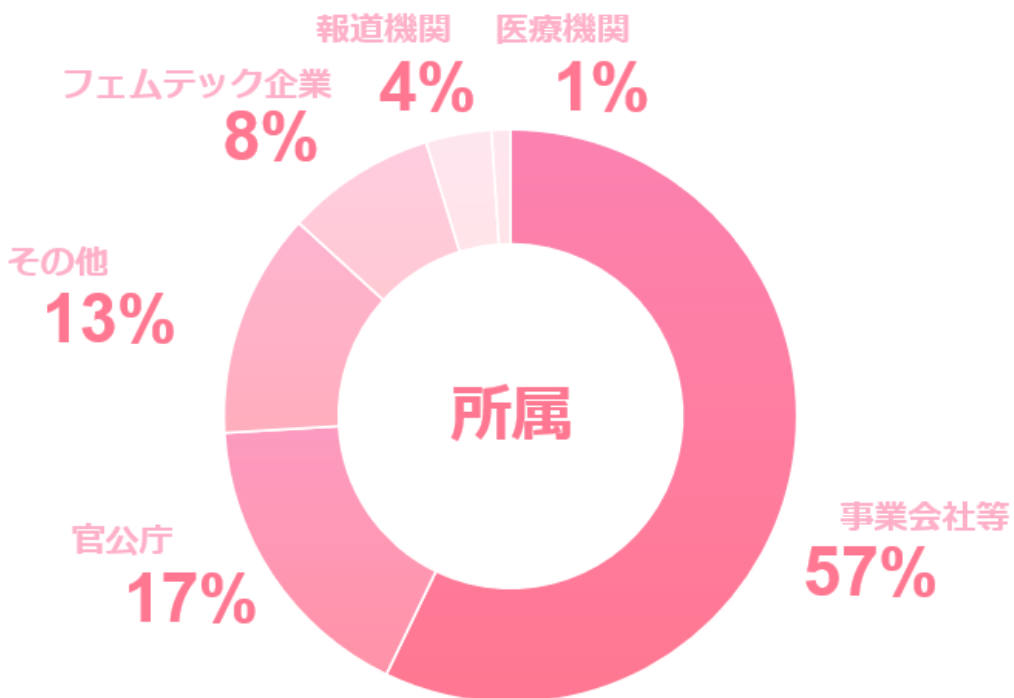
“

参加者デモグラフィック

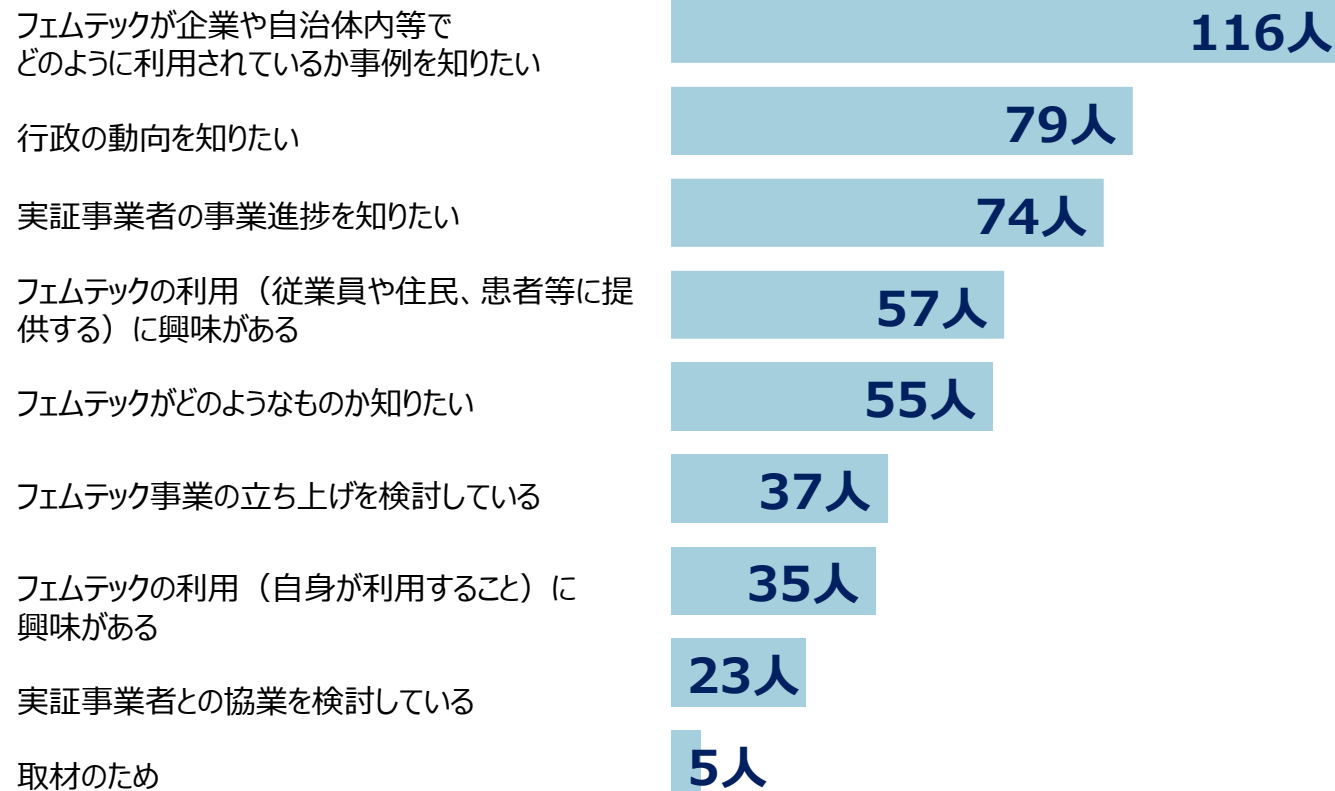
参加者のペルソナ

※集計は2021年11月8日時点

参加者の所属



登録者の参加目的 ※複数回答可



“

実証事業一覧

経済産業省 令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」
実証事業一覧

#	事業名	代表団体名	事業テーマ							事業紹介 ページ
			月経・ PMS	妊娠・ 不妊	産後 ケア	更年期	婦人科 疾患	ヘルス リテラ シー	その他	
01	働く女性が乳がんを経験しても変わらず働くことのできる場所の提供・雇用と、価格・着け心地共にストレスフリーな国産パッド開発	アボワールインターナショナル株式会社						●		P8 ~ P19
02	大企業および中小企業の従業員を対象としたライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業	株式会社With Midwife	●	●	●	●	●	●		P20 ~ P36
03	潜在助産師を活用した、地方における育児期の女性の職場復帰を支援するオンライン相談事業：「The CARE for Community」実証実験	株式会社With Midwife		●	●					P37 ~ P59
04	女性の意思決定支援サービスの構築およびライフデザインにまつわる社会環境整備に向けた実証事業	一般財団法人ウェルネスサポートLab	●	●	●	●	●	●		P60 ~ P69
05	不妊治療患者を対象にした遠隔医療スキームの確立、および、不妊治療啓発の動画コンテンツ作成	vivola株式会社		●						P70 ~ P78
06	働く女性の健康に対するオンライン支援プログラムの効果検証	株式会社Kids Public	●	●	●	●	●			P79 ~ P88
07	産婦人科による働く女性の健康やライフイベントに伴う悩みや不安に関するオンライン相談事業	医療法人葵鐘会	●	●	●	●	●	●	●	P89 ~ P101
08	法人向けオンライン女性健康相談サービス「フェムラインかごしま」実証事業	社会医療法人博愛会 相良病院	●			●	●		●	P102 ~ P107
09	生理用品の計量管理による生理周期の把握とデータを活用した健康課題の解決	シャープ株式会社	●					●		P108 ~ P120
10	働く更年期女性がキャリアをあきらめないためのヘルスリテラシー向上・相談窓口事業	株式会社ジョコネ。				●		●		P121 ~ P135
11	生命をつなぐ 世代をつなぐ 医療をつなぐ診療支援システム開発	株式会社シンフォニア		●						P136 ~ P150
12	妊活・不妊治療と仕事の両立を支援する妊活サポート事業	株式会社ステルラ		●						P151 ~ P158
13	更年期ケアの重要性を可視化し、社会へ啓蒙@渋谷区@神戸市 自治体連携	株式会社TRULY				●		●		P159 ~ P167
14	女性のライフプランとキャリアの両立支援事業	株式会社ninpath		●						P168 ~ P180
15	個人・企業のヘルスリテラシー向上と日本の8割の雇用を支えるローカル経済圏でのフェムテック普及展開の仕組みの構築に向けた実証事業	株式会社陽と人	●	●	●	●	●	●		P181 ~ P187
16	自治体と連携した 1. 妊活・不妊治療の当事者向けサポート 2. 妊活・不妊治療を支える周囲のサポート啓蒙	株式会社ファミワン	●	●		●	●	●		P188 ~ P214
17	日常生活の中で簡便に自身の疲労度・ストレスレベルを可視化し、リアルタイムで感覚刺激を通じた解決を行うアプリ「me-fullness」による、働く女性の疲労・ストレス緩和ソリューションの実証事業	株式会社ポーラ・オルビスホールディングス							●	P215 ~ P223
18	女性社員が入社からリタイアまでいきいきと働ける環境を実現する健康課題改善プラットフォーム事業	丸紅株式会社	●	●		●		●		P224 ~ P253
19	周産期遠隔医療プラットフォームを活用した仕事と安全な妊娠・出産の両立にかかる実証事業	メロディ・インターナショナル株式会社		●				●		P254 ~ P272
20	女性従業員と企業へのワンストップソリューション伴走支援による女性の健康課題解決と就業継続促進に向けた健康相談並びにセミナー事業	株式会社SUSTAINABLEME	●	●	●	●	●	●	●	P273 ~ P283

“

実証事業の中間報告資料

01.

働く女性が乳がんを経験しても変わりなく働くことのできる場所の提供・雇用と、
価格・着け心地共にストレスフリーな国産パッド開発
(代表団体：アボワールインターナショナル株式会社)



アボワールインターナショナル株式会社
代表取締役 中村 真由美



働く女性が

乳がんを経験しても変わりなく働くことのできる
場所の提供・雇用と

価格・着け心地共にストレスフリーな
国産パッド開発

1.

シリコンパッドの開発

2.

販路開拓

3.

がん患者の雇用

◆実施してきたこと

①シリコンパッド開発：日本製で安心安全でお手頃価格を目指す

現在販売されているシリコンパッドは海外製2～6万円
数年で破損するのでは継続的に使用が困難



- ・ 乳腺外科医・製造者とのシリコンパッド打ち合わせ
 - ・ 確認できたこと
 - ・ 医師・製造者の仕様における懸念点
 - ・ さらなる機能や持続性について
 - ・ 気づき
 - ・ 他社の特許侵害や自社での特許取得も視野に入れる必要性
- ・ 開発するシリコンパッドの基準となる乳がん下着の開発
 - ・ 現在、製作中



②販路開拓

- ・大丸・梅田店とイベント開催についての打ち合わせ
 - ・確認できたこと
 - ・コロナ影響により秋の開催は困難
 - ・日程を模索中
- ・東京への出店場所探し
 - ・確認できたこと
 - ・知人のオフィススペースを使用
 - ・年末12月から来年1月にはOPEN
 - ・大勢との接触を避けるため一人ずつの予約制
 - ・乳がん患者さんがサイズ感や痛みなどを確認
 - ・あくまでもショールーム的に利用し、購入はweb

③がん患者の雇用

- ・ 東京での雇用

- ・ 【実績】 9月東京で開催の学会で短期アルバイト雇用あり
乳房オンコプラスチックサージャリー学会

- ・ 確認できたこと

- ・ 週に数日の営業→予約制
- ・ まずは一人体制→様子を見て増員

◆わかったことや課題

- ・シリコンパッド開発

他社知財に抵触していないかという点の確認が必要

- ・販路の拡大

デパートのイベント開催は両者にとって良い結果がしやすい日程

- ・がん患者の雇用

治療・通院スケジュールの確認

介護・子供さん学校スケジュールの確認

◆今後実施すること

- ・シリコンパッド開発
 - 試作第一弾のパッド作り
 - 患者モニターの試着
 - 病院へのチラシ設置・がん患者会への連絡
 - モニターアンケート
- ・販路の拡大
 - 東京出店準備
 - デパートとの打ち合わせ
- ・がん患者の雇用

事業工程表

2021/10/25

サブテーマ	サブテーマの作業工程	年 月	2021						2022			備考	
			7	8	9	10	11	12	1	2	3		
①国内 フェムテック市場での認知と販路拡大	大丸大阪・梅田店フェムテック部門との企画調整	計画	■									大丸梅田店は、一旦中断。 コロナ感染状況に合わせて再検討。 ・両者にとって良い時期のイベント開催を希望として連絡済。	
		実績		■									
	開催内容に即した資料・HP・広告・データ作り	計画		■									
		実績		■									
	デパートでの販売	計画				■							
		実績											
	東京出店	計画				■							
		実績				■							恵比寿にショールーム開設
②乳がん患者の社会復帰に伴う雇用の確保	上記により販売方法や機関が決定後人員募集	計画			■							・乳房オンコプラスティックサージャリー学会で2日間雇用。 ・東京に出店時、雇用予定。	
		実績											
	人員の研修後、雇用	計画			■								
		実績			■								
③日本製 シリコンパッド開発	試作するための型作り	計画	■									・医療者、製造会社、当社で打ち合わせ日程調整中。 ・打合せ後、ブラジャー・パッドの試作に入る予定。	
		実績		■									
	乳がん患者さんで形・大きさのモニター 医療者の評価や意見の聴取	計画	■										
		実績											
	開発における型の決定 ユーザー等への効果測定、成果や課題点	計画				■							
		実績											

avoir
アボワール®

02.

大企業および中小企業の従業員を対象とした
ライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業（関西エリア）
（代表団体：株式会社With Midwife）

THE CARE



The CARE 中間報告資料

**大企業および中小企業の従業員を対象とした
ライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業**

弊社が提供するサービス

THE
CARE

詳細はこちら



看護師と助産師の**国家資格**をもつケアラーが
健康や子育てに関する**専門知識**をもって
24時間365日、社員を**公私ともに支援**する



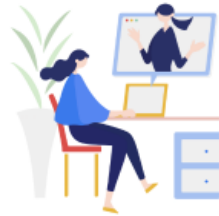
弊社が提供するサービス

THE
CARE

詳細はこちら



企業専属の助産師が、企業とそこではたらく人を継続的にサポートします。



オンライン相談

24時間356日、秘密厳守で健康や子育て、メンタルの相談が可能。オンラインでも、人対人の密なコミュニケーション、温度感を大切に寄り添います。



育休サポートプログラム

妊娠中から職場復帰まで専門家が継続的に支援。産前産後の知識はもちろん、自宅に訪問しての専門ケアは他社にはない先進的な取り組みです。不妊治療の段階からの支援も可能です。



ウェルネストレーニング

看護師や保健師、助産師の資格を活かし、健康やキャリアに関する講義やワークショップを実施。共通の課題を共に学ぶことで、ダイバーシティ・インクルージョンな社風を醸成します。



コンサルティング

相談実績を統計データにまとめ、企業の担当者へ毎月報告。また社会的な動向も含め、専門的な目線と、蓄積された社内実績から御社にあった今後の取り組みを提案します。

※育休サポートプログラムは
今回の実証事業では含まれておりません。

**大企業および中小企業の従業員を対象とした
ライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業**



事業目標：①企業への助産師介入の有用性検討

①汎用性のあるエビデンスを提示しトップランナーとして当分野の今後の発展に資すること

実証
事業
期中

目標：3社
目標総従業員数：10,000人



目標：10社
目標総従業員数：2,000人

企業選定のバックアップ



①属性 ②働きやすさ
③ストレス度 ④幸福度 など

導入前後のアンケート調査

集計・分析・エビデンスの報告

実証
事業
後

1

トップランナー
として分野の開拓

2

他企業の新規参入
当分野が醸成する

3


だれにとっても
働きやすい
職場環境

だれもが自己実現できる
ジェンダー平等な社会へ

離職率の低下/産業の発展/ウェルビーイング向上

スケジュール



<p>導入先企業のリクルート</p>	<p>導入前アンケート調査</p>	 <p>24時間365日 オンラインシステムを用いた 健康と子育て個別相談</p> <p>研修 研修 研修</p>	<p>導入後アンケート調査</p>	<p>分析・報告</p>
--------------------	-------------------	--	-------------------	--------------


 公益財団法人 大阪産業局
 
 経済産業省 近畿経済産業局

With Midwife


 東京慈恵会医科大学

実証事業協力企業14社



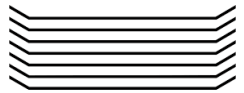
パーソルキャリア



mercari



株式会社 アワーズ



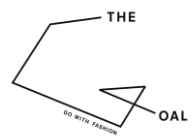
under design



オウケミナル 株式会社



F.C.大阪



ジェイアル西日本ウェルネット



株式会社 タウ
Globalloop Company



株式会社 中農製作所



廣田証券株式会社



サポートミッドワイフ15名



加藤 千香

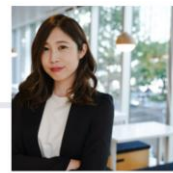
お口の機能と体の成長を支援する
助産師



助産師による訪問型サポ
ート Tia

川添 梨沙

助産師



株式会社With Midwife

岸畑 聖月

臨床助産師/CEO/起業家支援PJマ
ネ



佐藤 祐佳

助産師/パーソナル栄養コンサル
タント



助産院 まる眼鏡ママ相談
室

鈴木 円香

助産師/授乳/パートナーシップ



竹崎 湊

助産師 / 心理カウンセラー



谷本文葉

Fumiyo Midwifery



Your midwife

中島 じん

福岡・助産師・相談・性教育・お
むつなし育



株式会社WithMidwife

中瀬 摩美

助産師/看護師/保健師/顧問助産
師



大切なものを守れる力を

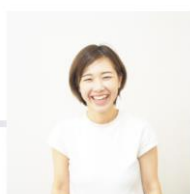
土方 由香

助産師 カラーセラピスト



福田 遥奈

助産師



藤木 安澄

助産師



Your Midwife ~
support for non-
Japanese people~

ブラウンみゆき

助産師 / Midwife



Hug Style 生きるチカラ
のはぐくみかた

松吉奈保美(Naho)

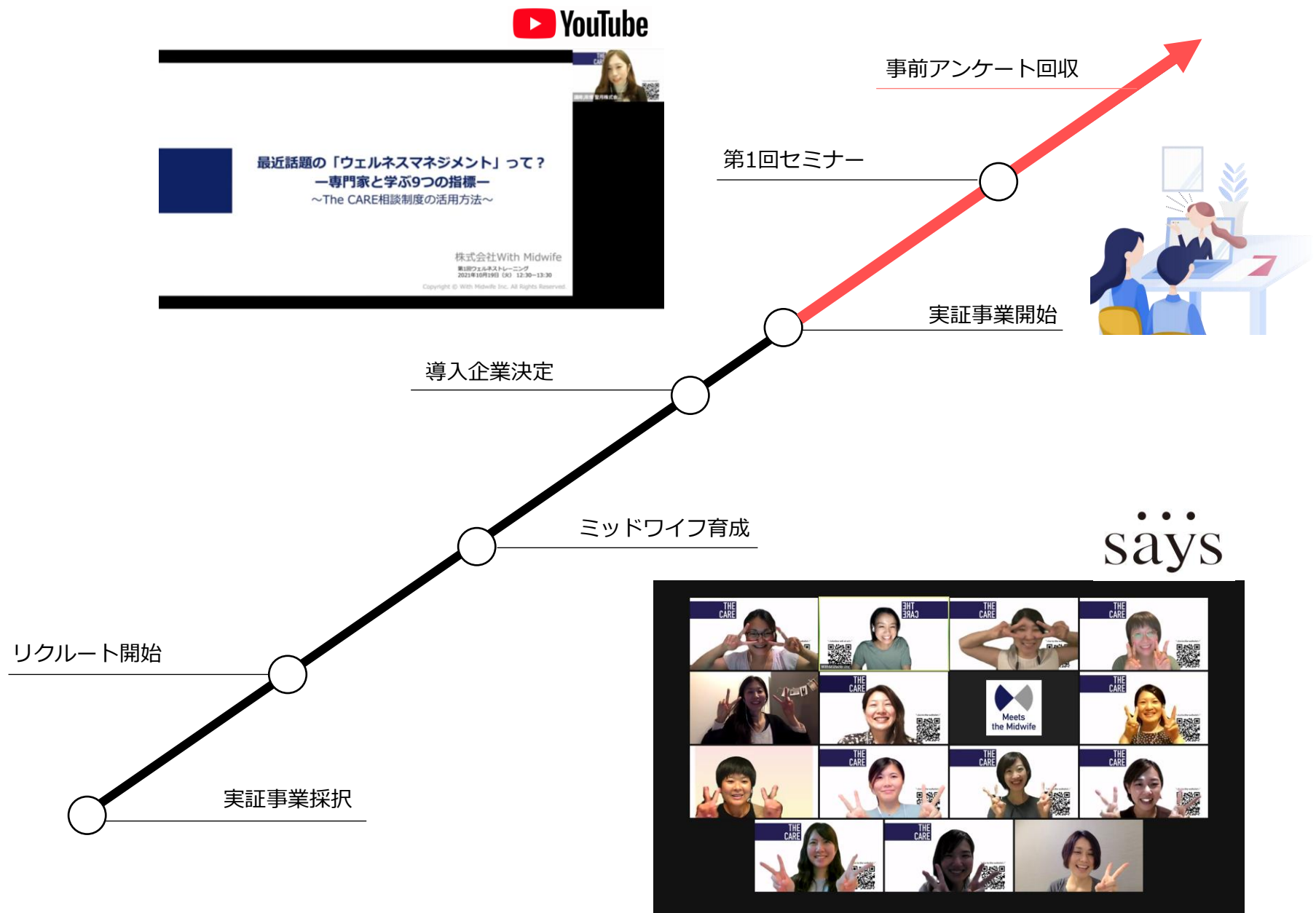
助産師 ライフコーチ



宗内 優美香

株式会社With Midwife

進捗



回答数 (回答率)

目標回答数 (2,500件)



2635件 (18.01%)

POINT



ポイント1 「企業のリクルート」

01

協力団体からの紹介

02

“健康経営”テーマでの登壇

03

ローカルネットワークの活用

ポイント2 「助産師のリクルート・育成」

01

既存のネットワークの活用

02

面接では、「なぜ」を重視

03

私たちが大切にしていることの共有

ポイント3 「アンケート回答率」

01

アンケート回答のしやすさを重視

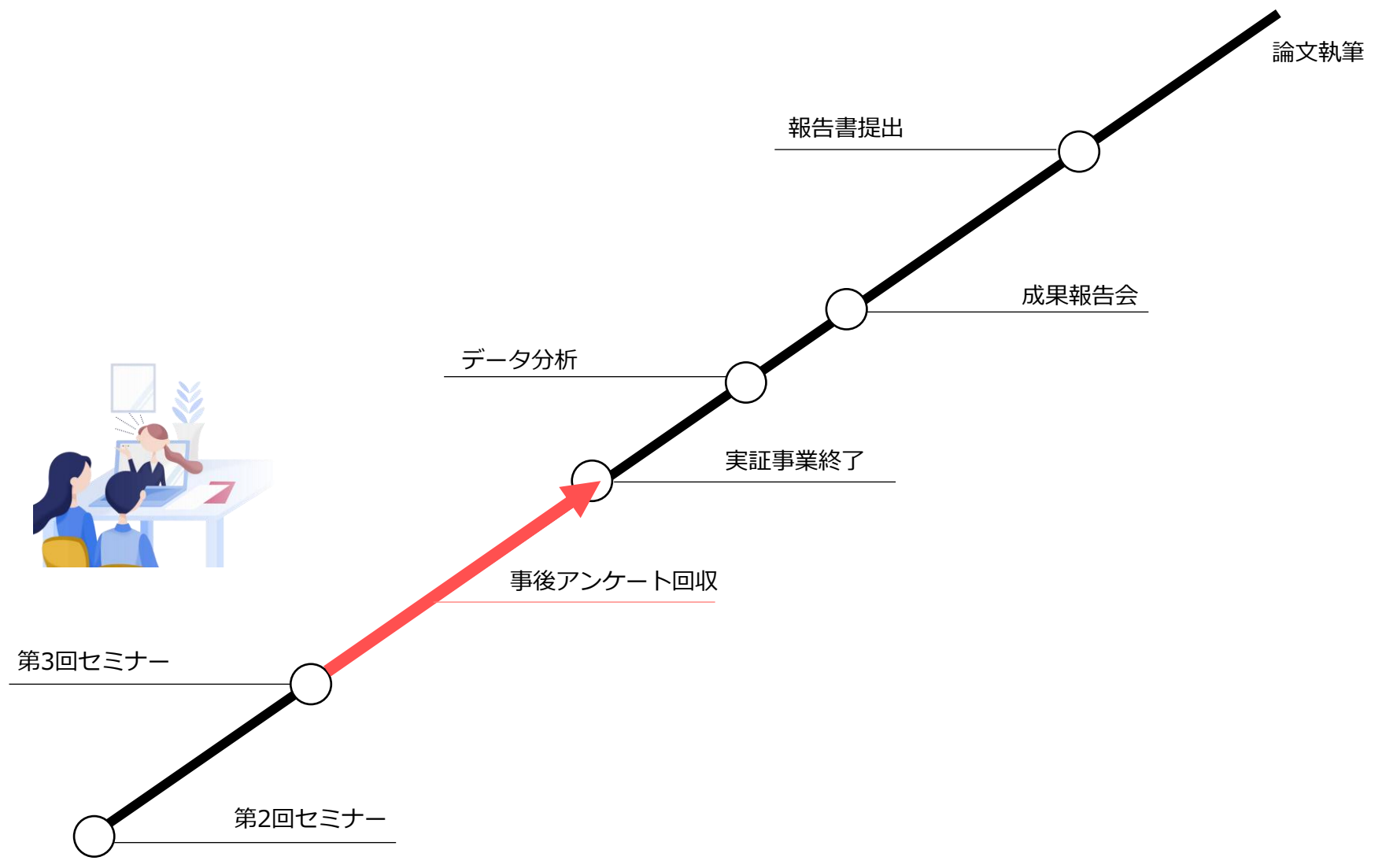
02

1企業ごとのコミュニケーション

03

私たちからのメッセージを直接伝達

今後



THE CARE



The CARE 中間報告資料

**大企業および中小企業の従業員を対象とした
ライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業**

03.

潜在助産師を活用した、地方における育児期の女性の職場復帰を支援する
オンライン相談事業：「The CARE for Community」実証実験（信州エリア）
（代表団体：株式会社With Midwife）



実証事業説明資料

潜在助産師を活用した、地方における 育児期の女性の職場復帰を支援するオンライン相談事業： 「The CARE for Community」実証実験

With Midwife.Inc

2021.11.09



実証内容

潜在助産師を活用した、地方における育児期の女性の職場復帰を支援するオンライン相談事業： 「The CARE for Community」実証実験

事業目標：

- 1) 地方における女性の妊娠・出産等のライフイベントにおける離職の現状把握
- 2) 助産師のオンライン相談サービスの有用性評価
- 3) 収益性を担保するためのサービス展開方法の検証

対象：

長野県在住の育児休業中の女性および家族

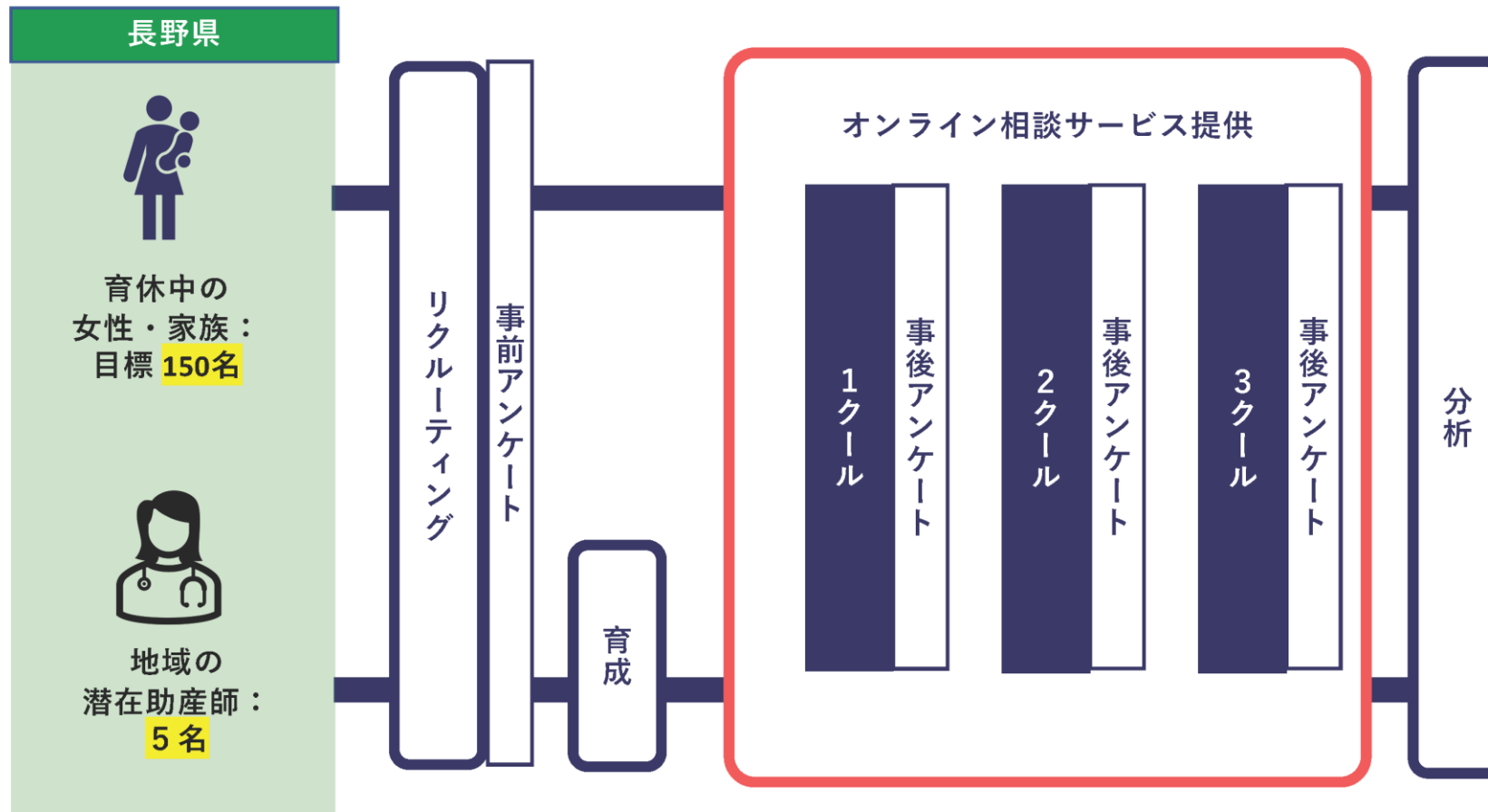
実証内容：

同地域の潜在助産師による24時間365日オンラインシステムを用いた健康と子育て個別相談

評価指標：

- ・ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度（渡井ら：2006年）
- ・職場復帰意欲 など





スケジュール



ブランド名、ロゴ、LPの作成



ひとりじゃないよ。



生き方や働き方の多様化にともない、

育児と仕事にまつわる悩みも

多岐に渡るようになりました。

子育てには正解がないからこそ、

これであってるのか、大丈夫なのか、

不安になることもあります。

そんな気持ちに、子育ての専門家が

寄り添い、お応えします。

実施したこと

地域との連携

くらし・手続き

健康・福祉

子育て・教育

施設案内

松本の魅力

市政情報

このステッカーが目印！



マイナンバーカード が 保険証に

▶ Click

⚠ いざというときに

> 災害・防災情報

> 夜間・休日診療



コロナワクチン



一般社団法人

長野県助産師会

助産師による無料電話相談



0263-31-0015 火・木曜のみ 10:00~16:00



お問い合わせ



HOME

長野県助産師会とは

一般の方へ

助産師の方へ

イベント・研修

活動報告

助産師マップ

地区紹介



会員専用

妊娠・分娩・産後・育児、性教育、更年期

みんな違ってみんな良い
助産師はあなたに
寄り添います

お知らせ

2021年09月21日 [NCPR Sコース開催のお知らせ](#)

[一覧へ](#)

市民の皆様へ医療・健康・福祉の情報提供を行います。

文字サイズ **小** **中** **大**

▶ サイトマップ

▶ 個人情報保護方針



一般社団法人

松本市医師会

Matsumoto City Medical Association



▶ 医療機関検索



▶ 救急当番医情報

▶ お問い合わせ

▶ アクセス

▶ ホーム

▶ 最新情報

▶ 松本市民向け情報

▶ 松本市医師会の紹介

▶ 医師会員ログイン

条件・地図・キーワードからお近くの医療機関を検索
医療機関検索

休日・夜間の市内医療機関診療情報を掲載しています
救急当番医情報

市民の皆様へ医療・健康・福祉の情報提供を行います。

一般社団法人 **松本市医師会** Matsumoto City Medical Association

医療機関検索
緊急当番医情報

スマートフォン
サイトは
こちらから

●健康診断に関して

松本市医師会
検査健診センター



各種健診・検診



各種予防接種



感染症情報



出産・子育て
関連情報

松本市 地域包括ケア
医療介護資源マップ

わたしの
リビングウィル
(事前指示書)

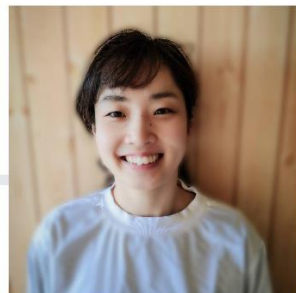


2021年10月25日 **重要なお知らせ**

新型コロナウイルス感染症関連業務の看護職募集 及び研修会について

助産師の選定、教育

サポートミッドウイフ5名選定（応募14名）



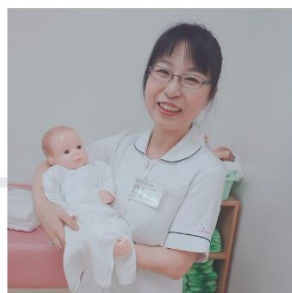
川尻 彩織

助産師 助産院勤務



小林 幸子

助産師

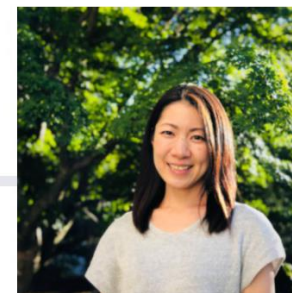


新羽 広恵



本田 有希子

助産師/看護師/保健師



菱沼 さえこ

助産師

育成プログラムの実施

säys

【THINK】				
Schedule	Contents	Topics		
DAY1 10:00 - 11:30 12:30 - 14:00 14:15 - 15:45	1 ビジネススキルを考える			
	1 [says]【THINK】	資格の定義		
	2 [says]【THINK】の目的	資格を持つことの意味		
	3 ビジネスマナー	挨拶		
	4 基本的なPCスキル	報告・連絡・相談	名刺の交換	
		電話対応		
		メールの作成		
		5 ブランディング	基本的なツールの使い方、見せ方	
	2 ライフとキャリアを考える			
	1 女性とキャリア	女性とキャリア		
	2 長時間労働の削減と男性の家庭への参画	職場環境と男性とキャリア		
	3 妊娠に伴う補助	妊婦健診費の助成制度		
		産前休暇	傷病手当	
	4 産科医療保障制度	産科医療保障制度		
		5 出産に伴う補助	出産手当金	
			医療費控除	高額療養費
	6 育児に伴う補助	児童手当		
		産後休暇	育児休業給付金	
	7 不妊治療の補助制度	不妊治療補助制度		
	3 日本のヘルスケア教育を考える			
	1 生理についての悩み	月経前症候群		
月経不順		ピルの使用方法/種類・副作用・価格感		
2 婦人科系がん	子宮頸がん検査			
	子宮頸がんワクチン			
	子宮体がん			
	子宮筋腫、内膜症、ポリープ、腺筋症			
	乳がん検査			
3 更年期	女性更年期障害	萎縮性膣炎		
	男性更年期			
4 日本の性教育*	日本の教育			
5 幼児期教育	子ども自身が身体を守る方法			
6 思春期相談	第二次性徴	こころの変化		

Schedule	Contents	Topics		
DAY2 10:00 - 11:30 12:30 - 14:00 14:15 - 15:00 15:00 - 15:45	1 プレコンセプションケアを考える			
	1 不妊の原因	女性不妊、男性不妊、原因不明		
	2 検査	一般的な検査		
	3 治療と負担	治療のステップアップ	身体への負担	
		生活への影響		
	4 費用	検査費用、治療費用		
	5 妊娠しやすい身体づくり	食生活や運動、日常での注意	漢方について	
		6 民間サービス	フェムテック	
			AMH、精子検査	
	2 子育て環境を考える			
	1 お産施設の特徴	お産施設の特徴		
		2 保健センターの取り組み	保健センターの取り組み	
		3 児童館	児童館	
		4 予防接種	予防接種について	
		5 健診	〇歳児健診について	
		6 先天性風疹症候群	防げる障害、風疹ワクチン打とうね！	
		7 保育施設	保育園、幼稚園、こども園の違い	認可、認可外について
			園を見るときポイント	
	8 保活	保活とは		
	3 産前産後のメンタルヘルスを考える			
	1 データから見るメンタルヘルス	女性の自殺率など		
2 産後うつ		産後うつ		
3 男性の産後うつ		男性の産後うつ		
4 いのちの守り方を考える				
1 災害	地震、水害など			
2 防災物品	妊産婦に知ってもらいたい物品			
3 要援護者	避難の優先度			
4 避難所の決まり	避難所のマニュアル			

対象者のリクルーティング

実施したこと

メディア	長野県松本市「イクジィ」への掲載
	毎日新聞長野紙面への掲載（10月下旬～11月上旬）
松本市	出生届時の連絡
	子育て支援包括センター(4箇所)で設置
	保育園入園・申し込み窓口設置
	子ども福祉課での相談窓口資料設置
	4か月乳幼児健診時のご案内
	10か月乳幼児健診時のご案内
	子育てアプリでの情報発信
	松本市役所育休中の方への発信
	松本市企業への周知
	SNS
SNS広告の実施	
DMなどの個別連絡	
インスタライブの実施	
信州大学	信州大医学部附属病院でのチラシの配布
	信州大医学部附属病院の育休の方へ連絡
	10/25村上先生登壇オンラインイベント
	Jリーグ試合イベントでのチラシ配布
その他	長野県の育児コミュニティーへの依頼
	長野県企業への依頼
	関東経済産業局とのディスカッション
	地元所業施設とのディスカッション



妊産婦の悩み、助産師がいつでも聞きます ベンチャーが11月開始

暮らし・学び・医療 | 速報 | 家族・子育て | 長野

毎日新聞 | 2021/10/28 09:24(最終更新 10/28 09:30) | 有料記事 | 729文字



赤ちゃんの人形を使って、オンラインで育児相談に応じる助産師=With Midwife提供

ひとりじゃないよ——。信州大医学部の「周産期のこころの医学講座」と連携する大阪市のベンチャー企業が、育児休暇中の長野県内在住の母親や家族が助産師に子育ての悩みなどをオンラインで無料相談できるサービスを11月から始める。相談をためらい孤立しがちな妊産婦や家族に寄り添い、丁寧にサポートする。

【坂根真理】

「赤ちゃんが寝ない」「泣きやまない」「とにかく話を聞いてほしい」。24時間いつでも助産師に相談できるサービスを県内で始めるのは「With Midwife」。経済産業省の補助金を活用して提供する。



事業を実施して分かってきたことや課題

① 地域との連携に関して

- 地域のステークホルダー同士のつながりを意識する必要性
- システムではなく、コミュニケーションが重要

②助産師のリクルーティングに関して

- 助産師会との連携の必要性
- 地方における潜在助産師のニーズの再確認

③対象者のリクルーティングに関して

- メディア、SNSでの手法が有効
- 「働く」の地域特性、
より広い対象者からのニーズの発掘



04.

女性の意思決定支援サービスの構築およびライフデザインにまつわる
社会環境整備に向けた実証事業

(代表団体：一般財団法人ウェルネスサポートLab)

1 事業名

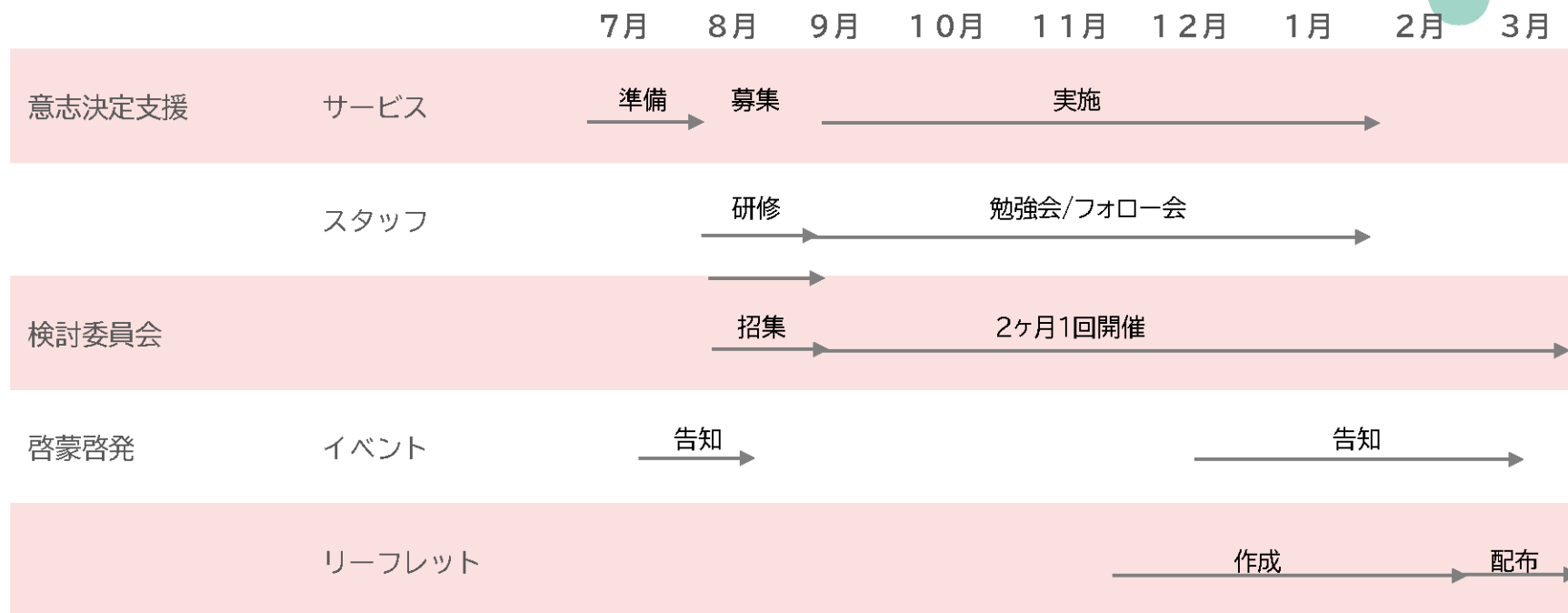
女性の意志決定支援サービスの構築
およびライフデザインにまつわる
社会環境整備に向けた実証事業

一般財団法人ウェルネスサポートLab



2

事業計画



<目的>

- ◆デリケートな女性特有の身心バランスやライフイベントに起因する身心不調や不安をの柔和・改善を行う
- ◆働く地方女性のリアルな「健康×働く」の課題の抽出とニーズの把握とサービス構築に向けての検討
- ◆ 同性間・異性間・世代間の意識ギャップを埋め、エイジレスに働きやすい職場・社会づくり

3 実施内容

① 女性の意志決定支援サービスの提供

～提供前～

- 居住地または勤務地が福岡市内の20～50代の働く女性500名を募集
- 募集時に初診アンケート実施
- かかりつけナース（フレンドナース）2名に研修会
- フレンドナース2名、他7名のアドバイザー（認定専門看護師/助産師/管理栄養士/社会福祉士/健康運動指導士）を対象に研修会

～提供開始後～

- 第一回アンケート実施
- 相談傾向をもとに、連携協定2団体（キャリアコンサルティング、医師による遠隔診療）

② 検討委員会の実施

- 9月7日に第一回目実施
- 教育界1名、経済界2名、医療界1名

③ 啓蒙啓発事業の実施

- 8月12日に実施
- 初診、第一回アンケート結果をリーフレットにまとめる

4 分かってきたこと

① 募集～実施1ヶ月でわかってきたこと

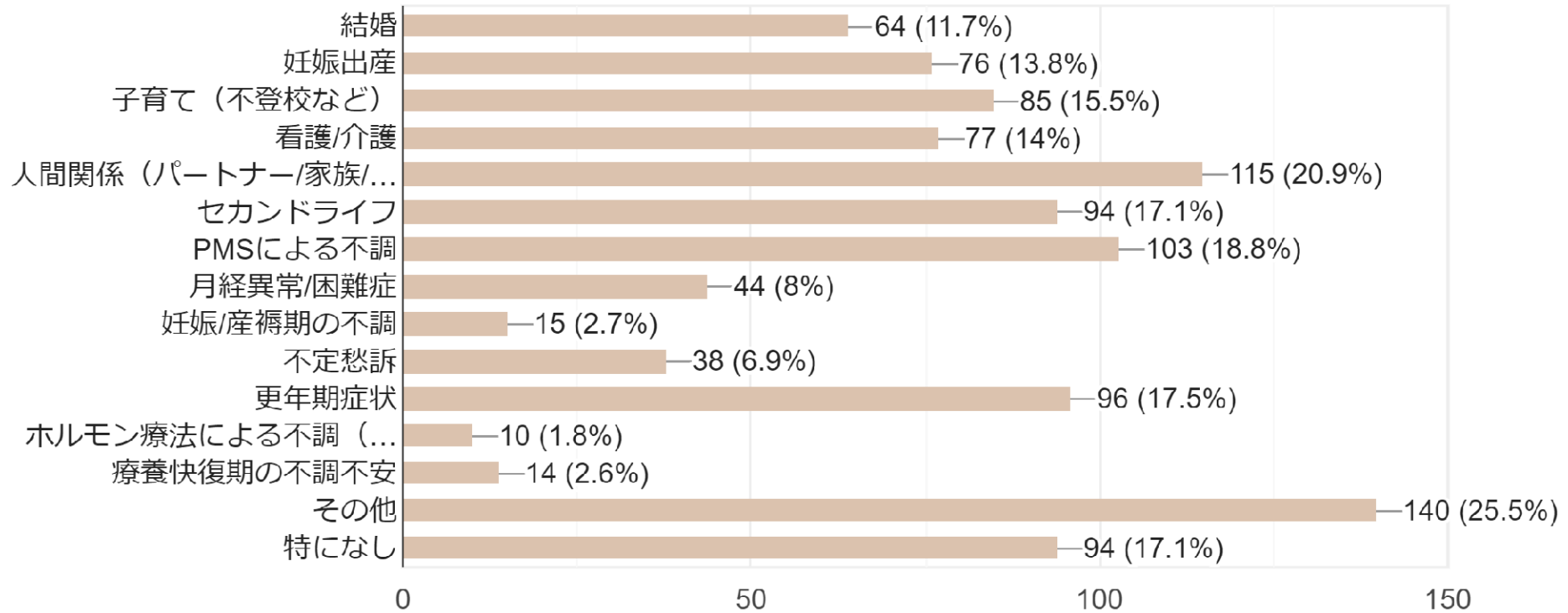
- 定員達成の大きな要因は「匿名性の担保」と「ボヤキつぶやき」「あなたに代わって」「次世代の働く環境を変える」というキーワードによる
- 地方女性のプライベートな課題に対し「秘密性」を求め、「相談」よりは気軽に利用できるものが良い。また「人の役に立ちたい」「知ってほしい・理解してほしい」という想いは強く存在する。
- 全世代のほとんどの女性が「悩み・不安」「女性特有の身心不調」を長期的に継続しながら社会参画すること、暮らすことを日常化しており、「不調＝普通」という概念となり、サポートを求めることをしないている
- 合わせて「働く女性」「パートナー」に対する男性の思う健康状態と実情に大きなギャップが存在する

② まとめ

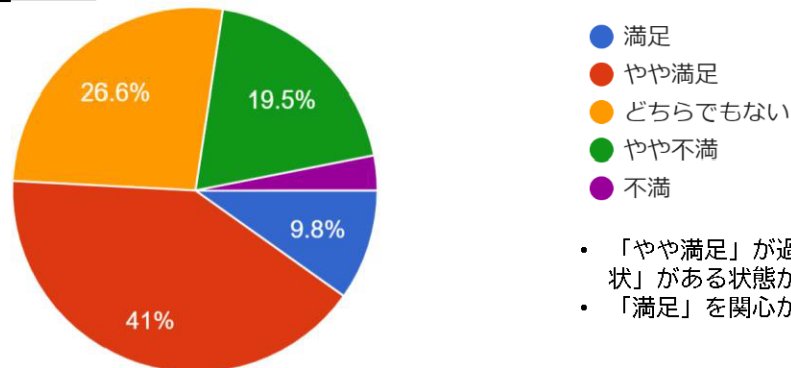
- まずは女性自身が「自身の健康度」を客観的に理解し、「心地よく暮らすこと」また「健やかな自分で社会参画すること」で他人や社会に貢献できることを前向きに感じるための自己啓蒙が必要
- そのうえで、互いを理解し合い、サポートし合う、社会づくりへとつながっていくための社会啓蒙が必要

～現在のお悩み/不安～

- ・ ライフイベントに関する悩みはほぼ同数
- ・ 人間関係に対する悩みが多く、社会健康度の低下が身心健康度の低下へ影響と推測
- ・ PMSなどの生理関連、不定愁訴、更年期症状と女性ホルモンに関する悩みの数値は大きい
- ・ その他の数値も多く、お悩みの複雑化、多様化が推測
- ・ 「特になし」は全体の17%



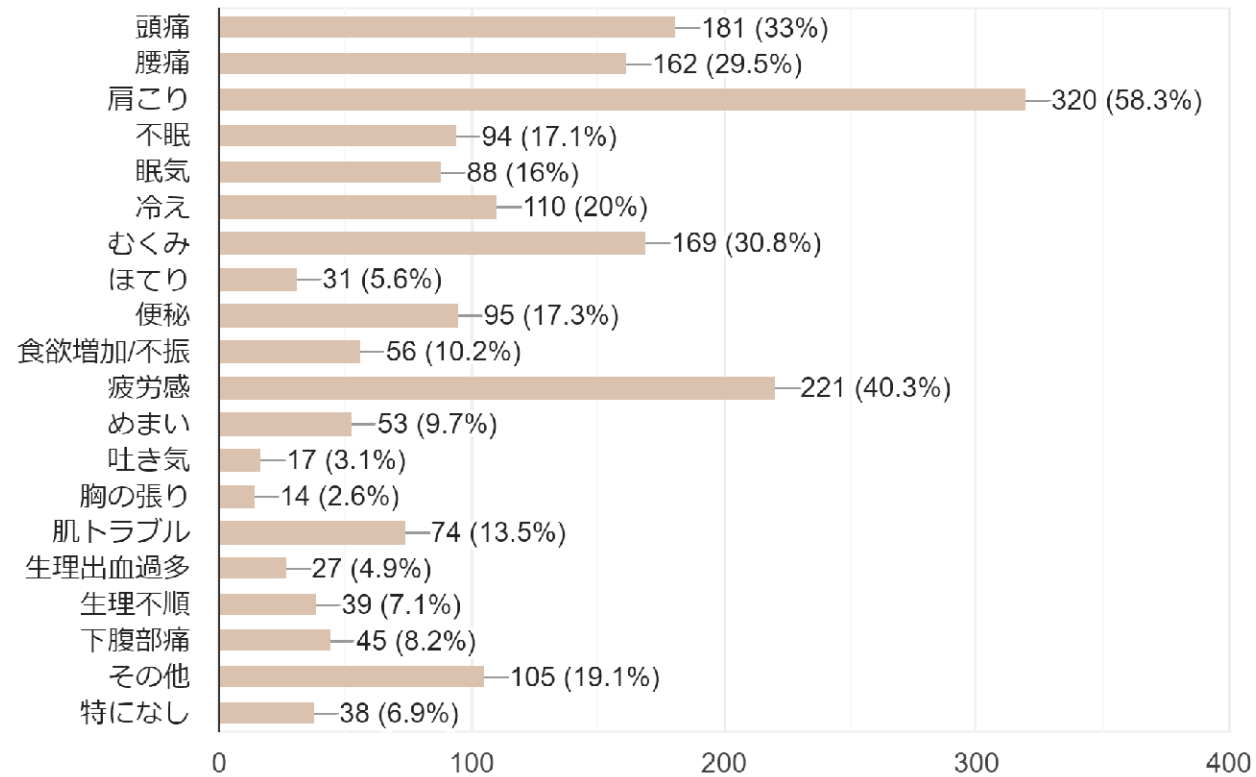
～健康状態の満足度～



- ・ 「やや満足」が過半数近くを占めており、「悩み事」「カラダの症状」「ココロの症状」がある状態が通常である日常が推測される
- ・ 「満足」を関心がない層だと推測すると、「健康状態」に関心がある方が多い

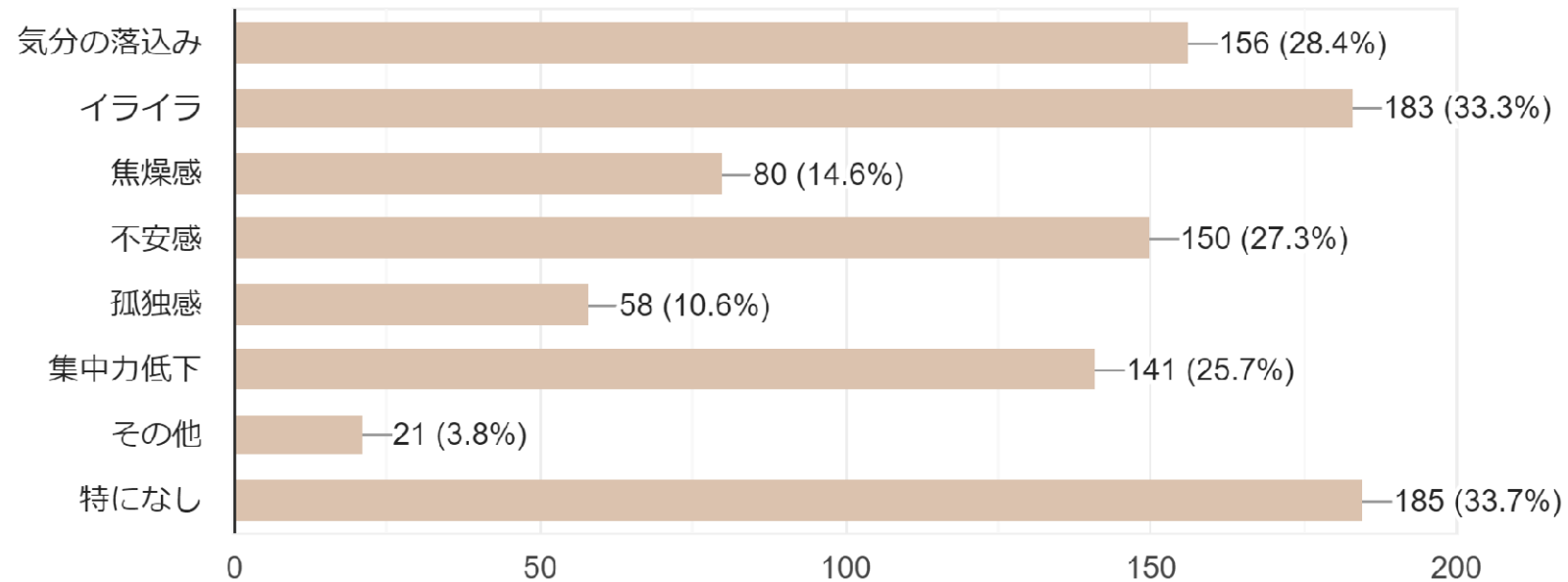
～カラダの症状～

- ・ 肩こり、疲労感、頭痛の数値が高く、原因の特定が難しく、行動継続が必要な不調症状
- ・ 睡眠障害も182と高く、身心バランスの不安定さが推測
- ・ 筋量不足による症状（腰痛/肩こり/冷え/むくみ）の合計780と高値
- ・ 女性ホルモンによる症状（めまい/胸のはり/肌トラブル/生理異常/下腹部痛）の合計は252と中値
- ・ 「特になし」は低値で全体の7%とお悩み「特になし」17%とのギャップが生じている



～ココロの症状～

- 「特になし」は全体の33.7%と高く、お悩み、カラダの症状との関連性を考察する必要がある
- イライラ/落込み/不安感/集中力低下は大差なく多くの方が感じている症状
- 気持ちのムラや浮き沈みの項目がなかったため、以降追加予定



5 今後の課題

① 自己啓蒙について

- 地方女性メンタリティと健康度の関係性の背景がわかるアンケート内容（インタビュー形式なども含む）や集計方法の検討が必要
- そのうえで、メンタリティの充実と生活習慣改善プログラムの企画と試行

② 社会啓蒙について

- パートナーや企業または管理職への理解度を高める機会の創出とエビデンス

6 今後実施すること

① 女性の意志決定支援サービスの提供

- ・未利用者へのアプローチ
- ・利用者への定期伺い
- ・フレンドナース2名、他7名のアドバイザー（認定専門看護師/助産師/管理栄養士/社会福祉士/健康運動指導士）を対象に定期的な研修会や情報共有
- ・利用状況に合わせて「不安不調の改善」を目的とし各種イベントの企画
- ・三回のアンケートとインタビューの実施をもとにサービスの見直し
- ・相談傾向をもとに、連携協定先の検討

② 検討委員会の実施

- ・2021年11月、2022年1月、3月に計3回の実施（1回終了、全4回）
- ・各検討委員会開催前に企業との意見交換を行い、その情報をもって検討委員会で議論

③ 啓蒙啓発事業の実施

- ・11月、2022年1月、3月の残る三回実施
- ・アンケートとは別にインタビュー形式で質的評価を行う
- ・アンケート結果をオンライン、オフライン形式のリーフレット作成

05.

不妊治療患者を対象にした遠隔医療スキームの確立、
および、不妊治療啓発の動画コンテンツ作成
(代表団体：vivola株式会社)

vivola

晩婚化、晩産化の傾向にある人生100年時代のいま、
女性の健康をAIで見守るサービスを提供します

代表取締役CEO
角田夕香里



Agenda

1. 当初の事業計画
2. 事業計画に基づき実施したこと
3. 事業を実施して分かってきたことや課題
4. 今後実施すること

当初の事業計画

啓発コンテンツ

患者向け治療アプリ
cocoromi



企業向け啓発動画
プレニンカツ



診療システム

遠隔診療システム
cocoromi online



1. 啓発コンテンツの制作・導入
2. 遠隔医療スキームの確立

不妊治療と仕事との両立には職場と通院環境の両側面からのサポートが必要

本プロジェクトメンバー

vivola

doctor



齊藤英和先生
生殖医療専門医



前田恵理先生
妊活/不妊の母子保健の研究者



NPOフォレシア



佐藤高輝代表
不妊治療と仕事の両立支援

ライフサカス



西部沙緒里
「UMU」メディア運営

実証実験の場の提供

生殖医療
クリニック

自治体
2か所決定

ウェルネス
コミュニケーションズ
株式会社

東京海上
ホールディングス
←新規参画

※啓発コンテンツと遠隔診療スキームの両プロジェクトメンバーを記載

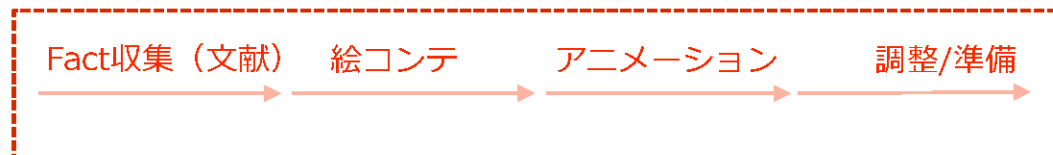
事業計画に基づき実施したこと

予定通り

1. 啓発コンテンツの制作・導入



実施内容



制作コンテンツ

若年層向けプレコンセプションケア編

人事・管理職向けリテラシー編



※協力団体：東京海上ホールディングスが追加で参画

※セミナー実施団体

12/10 資生堂 実施

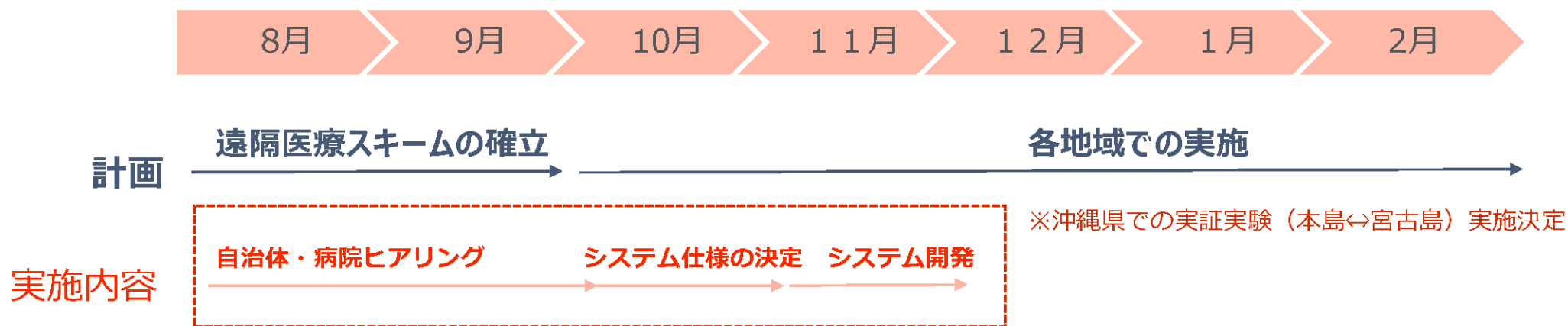
12/17 WCC 企業合同セミナー（20社前後の想定）

日程調整中：東京海上ホールディングス、その他大手2-3社
広島県、今治市、徳島市

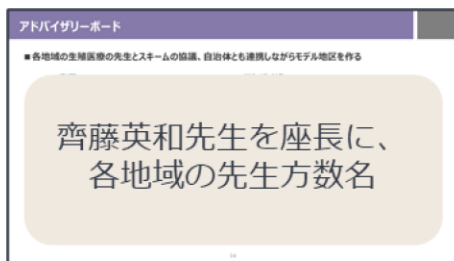
事業計画に基づき実施したこと

遅延中

2. 遠隔医療スキームの確立



アドバイザーボード設置



システム開発着手



実施をして見えてきた課題

1. 啓発コンテンツの制作・導入

- コンテンツ制作については特になし
- 導入にあたっては会社の規模、地域性によって異なるニーズ

対策：

- 大企業向け/中小企業向け（自治体連携）で分けてアレンジする
- 動画＋有識者＋アンケート構成の中で、有識者の選定を実施交渉プロセスに追加

2. 遠隔医療スキームの確立

- 複数のステークホルダーを巻き込むのが難しい
- 病病連携のシステムはセキュリティの観点から電子カルテとの連携はハードルが高い

対策：

- アドバイザリーボードを設置し、地域性を考慮して、専門医の先生から婦人科医を選定いただく
- 診療システムはより独自NWを構築した端末を用意し、簡易的に導入可能なシステムへ

今後実施すること

1. 啓発コンテンツの制作・導入

- コンテンツの制作完了（11月末）
- 実証実験の実施（12-2月末）

※数を増やさず、各企業/地域特性を理解し、
来年の正式ローンチに向けて検証を行う

2. 遠隔医療スキームの確立

- PoCシステムの開発完了（11月末）
- 実証実験の実施（12-2月末）
- 引き続きPoC実施場所の交渉

実証実験の場としてご参加いただける**自治体様、企業様、医療機関様**を募集しております。
お気軽に以下までお問合せください。

お問い合わせ先：contact@vivola.jp

06.

働く女性の健康に対するオンライン支援プログラムの効果検証
(代表団体：株式会社Kids Public)



産婦人科・小児科オンライン

令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業
中間発表資料

株式会社Kids Public

産婦人科オンライン・小児科オンライン サービス紹介

- 産婦人科・小児科に特化したオンライン医療相談
- 病院受診の手前にある不安や孤立にリーチすることを目指す
 - 手薄になりがちに働く女性の健康支援をオンラインでサポート



<事業開始>

- 小児科オンラインは2016年、産婦人科オンラインは2018年事業開始

<サービス概要>

- 産婦人科医、助産師、小児科医が対応
- 主に法人向けへ提供しており、自治体の住民サービスや企業の福利厚生、会員サービスへの付帯として導入

<実績>

- 2021年11月現在、合計80以上の法人に導入
- 2020年に経済産業省「令和2年度補正遠隔健康相談体制強化事業」に採択

働く女性の健康に対する オンライン支援プログラムの効果検証

小児科オンライン

産婦人科オンライン

働く女性への 健康支援プログラム



オンライン相談

- リアルタイムの予約制相談
- いつでも送れるメッセージ相談



産婦人科医と オンラインで定期的にお話

- 産婦人科医と定期的にお話
- 全7回で自分に合った健康情報もらえる



定期的な医療記事配信

- LINEやメールで健康情報を提供
- ヘルスリテラシー向上に貢献



【対象者】

軽～中労働（営業やデスクワーク等）を主とする女性従業員（妊娠中や産休・育休中の女性は除く）

【提供期間】

2021年8月～
2022年2月

事業計画に基づき実施したこと

開始時評価

- ・ 評価用のアンケート作成
- ・ 事業開始時に参加群30名と対照群30名へウェブアンケートを実施
- ・ 両群ともに回答率100%

定期面談用資料作成

- ・ 産婦人科医との定期面談で用いるミニレクチャー用資料を作成
- ・ 20-30代向け：月経、PMS、プレコン、子宮頸がん・乳がん、不妊治療、メンタルヘルス
- ・ 40代以上向け：月経、PMS、プレコン、子宮頸がん・体がん、更年期、メンタルヘルス
- ・ 内容は産婦人科医と産業医が共同で監修

プログラム提供

- ・ 参加群30名に対して支援プログラムの提供開始（8月中旬～）
- ・ 2回目の面談時からミニレクチャーの実施（9月中旬～）
- ・ その他：随時のオンライン医療相談へ対応、医療情報の定期配信（週1以上）

事業を実施してわかってきたことや課題

わかってきたこと

【開始時アンケート（60名）】

- ・ 「性に関するヘルスリテラシー」の教育を受けた経験がある人は23%のみ
- ・ 女性特有の疾患に関する情報を十分に収集、理解、評価、活用できる人は5%のみ
- ・ プレコンセプションケアを「知らないor名前しか知らない」という人が88%
- ・ 婦人科系や泌尿器系の症状で適切に産婦人科を受診できている人は45%のみ
- ・ 月経や婦人科疾患を意識して運動・食事・睡眠を整えられている人は23-40%

【定期面談】

- ・ 10月22日までに計63回実施
- ・ 詳細な問診によって自分自身でも曖昧だった健康課題に気づきやすい
- ・ 会社での研修を受けた人でも新たな情報取得につながっている
- ・ 毎月実施するため医療機関受診後の経過を共有し継続的なサポートが可能

事業を実施してわかってきたことや課題

実施中の課題

【定期面談】

① 予定調整に難航することがあり、参加者によって進みにズレが生じる

→ある程度は仕方ないが「簡便な連絡手段とサポート体制」が重要

② 現行のシステムでは当日の急なキャンセル等に柔軟な対応ができていない

→なるべく減らしてもらえるような工夫とともに専用システム開発が必要か
(自動リマインド機能、自身での簡便な予約変更など)

今後実施すること

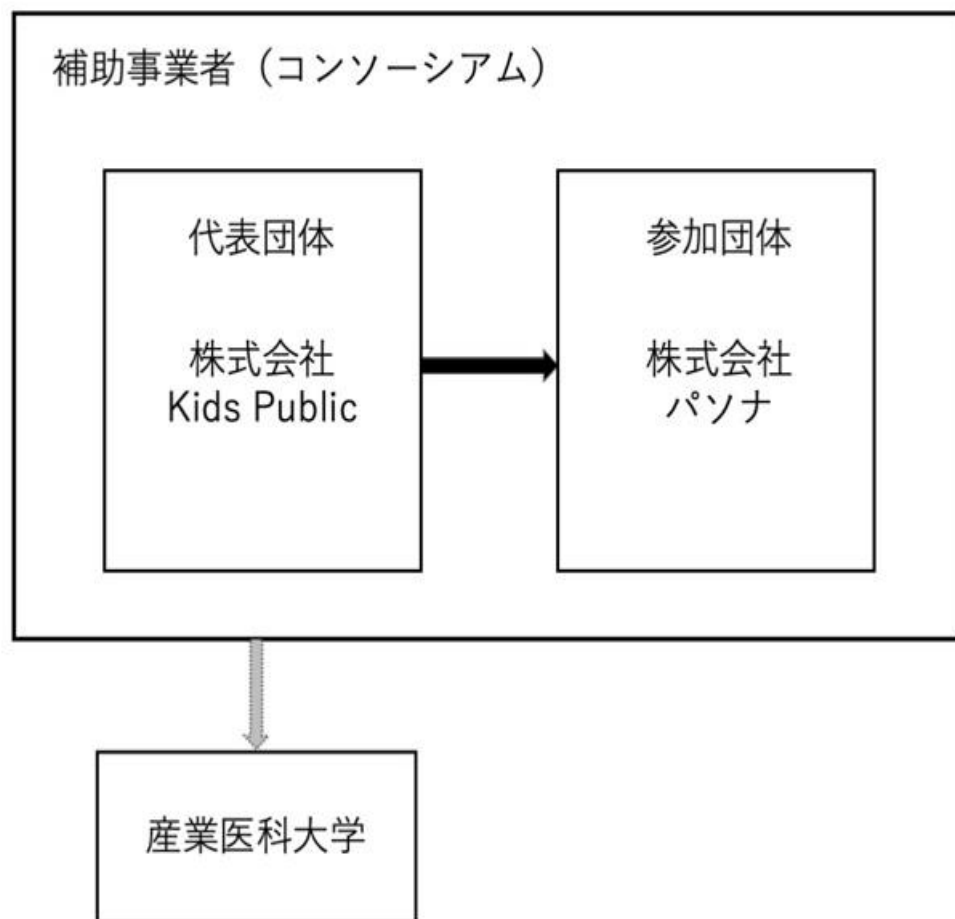
プログラム提供

- ・参加群30名に対して支援プログラムの提供を継続
- ・各種ミニレクチャーの実施
- ・その他：随時のオンライン医療相談へ対応、医療情報の定期配信（週1以上）

終了時評価

- ・2022年2月上旬に実施予定
- ・評価用のアンケートを作成
- ・参加群30名と対照群30名へウェブアンケートを実施

実施体制



————→ 協業関係/補助金活用有

- - - - -> 業務委託/補助金活用有

【株式会社Kids Public】

- ・ サービス（支援プログラム）の提供
- ・ オンラインアンケートの実施
- ・ 得られた結果の分析、評価

【株式会社パソナ】

- ・ 対象者のリクルート
- ・ 対照群のリクルート

【産業医科大学（柴田喜幸 教育教授）】

- ・ 医師向け共有資料の監修
- ・ 評価指標の監修
- ・ 得られた結果の分析へのアドバイス

会社概要

会社名	株式会社Kids Public
所在地	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-8-14 神田新宮嶋ビル4階
設立	2015年 12月
代表者名	橋本 直也（小児科医）
事業内容	インターネットを介した成育医療
従業員数	160名（2020年10月現在）
受賞歴	2016.8 Open Network Lab 12th Batch Demodayオーディエンス賞 2016.11 TechCrunch Tokyo 2016「スタートアップバトル」優勝(114社中) 2017.3 東京都から有限責任監査法人トーマツが委託を受けて運営する 「ASAC Batch3 Demo Day」優勝 2017.9 第11回キッズデザイン賞にて経済産業大臣賞を受賞 2017.11 第6回健康寿命をのばそう！アワードにて厚生労働大臣賞を受賞
問い合わせ先	contact@syounika.jp

07.

産婦人科による働く女性の健康やライフイベントに伴う
悩みや不安に関するオンライン相談事業
(代表団体：医療法人葵鐘会)



産婦人科による働く女性の健康やライフイベントに伴う
悩みや不安に関するオンライン相談事業
中間報告

内容

働く女性に対して、妊娠・出産等のライフイベントと仕事の両立など、ウェルビーイングの実現を支援することで、企業における人材の多様性を高め、中長期的な企業価値向上につなげる。

働く女性支援のニーズは今後さらに高まると予測する。本実証事業を通して、本サービスの有益性、事業としての実現可能性を確認し、中部エリアでの事業拡大、中部エリアから各地域へ横展開していく契機とする。

目的

- ・働く女性のライフイベントに起因する望まない離職の防止
- ・働く女性のウェルビーイングの実現
- ・企業の人材の多様性を高め、中長期的な企業価値向上

実施内容

実施期間

2021年8月1日(月)～10月25日(月)

対応時間

月曜日から土曜日(9時～18時迄) 相談1時間前まで予約受付
1回30分の相談。終了後にアンケート協力

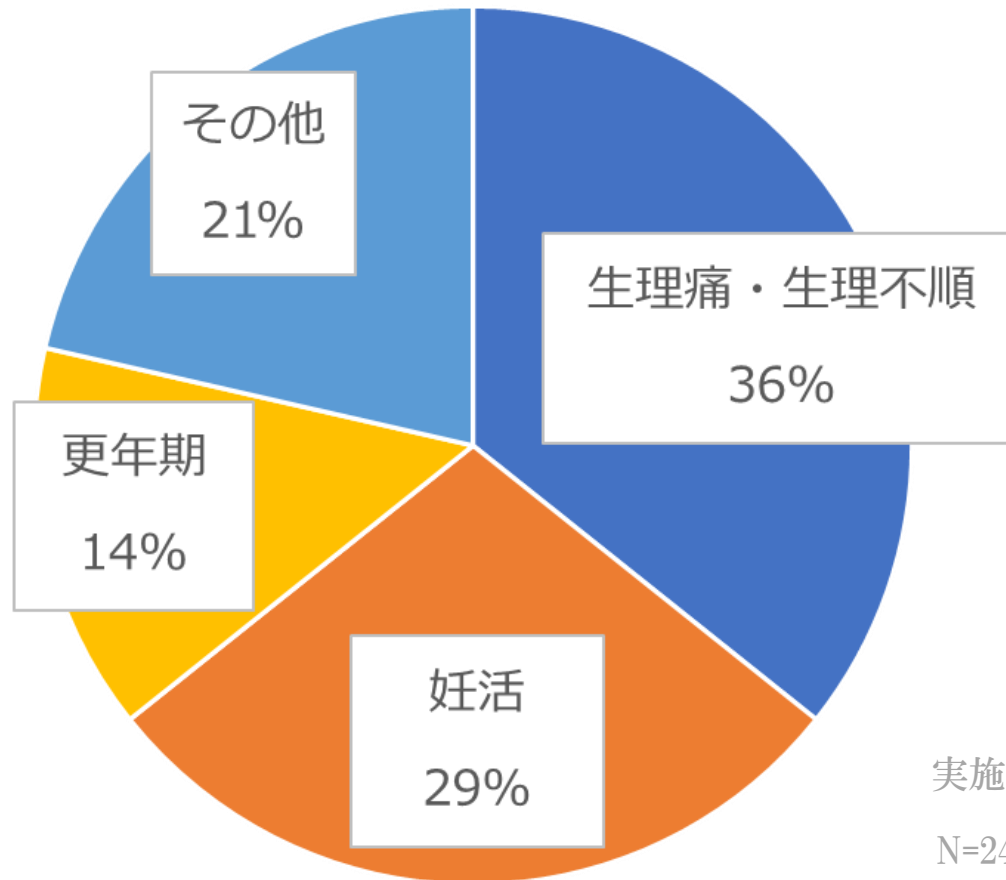
相談件数

月	人数
8月	9名
9月	5名
10月	10名
計	24名

相談者年齢層

年齢層	人数
20代	6名(25%)
30代	10名(42%)
40代	6名(25%)
50代	2名(8%)

相談内容



- カテゴリ
- 生理痛・生理不順
 - 妊活
 - 妊娠中の生活
 - 更年期
 - その他

実施期間8月1日～10月25日

N=24(人)

相談内容

項目	相談内容
<p data-bbox="529 772 749 889">生理痛 生理不順</p>	<ul data-bbox="886 508 2053 1096" style="list-style-type: none">□ 生理前のイライラ・落ち込み・頭痛、生理痛(腹痛)がひどい□ 生理前～生理中の体調不良やメンタルダメージについて適切な対処法□ 他人と比較して出血量の多さが分からない□ おりものが比較的に多い□ 生理の間隔が開いてきた。更年期かどうか□ 不規則な勤務体系により、生理痛はひどくなることはあるのか

相談内容

項目	相談内容
妊活	<ul style="list-style-type: none">□ 不妊治療時のメンタルの保ち方□ 現在の通院病院からの転院について□ クリニックの選び方□ 人工授精から体外受精への移行タイミング□ 肥満度と妊娠率の関係について□ ストレスがどう妊娠率に影響するのか□ 妊活をする上で生活習慣で気を付けること□ 基礎体温の乱れや不正出血について

相談内容

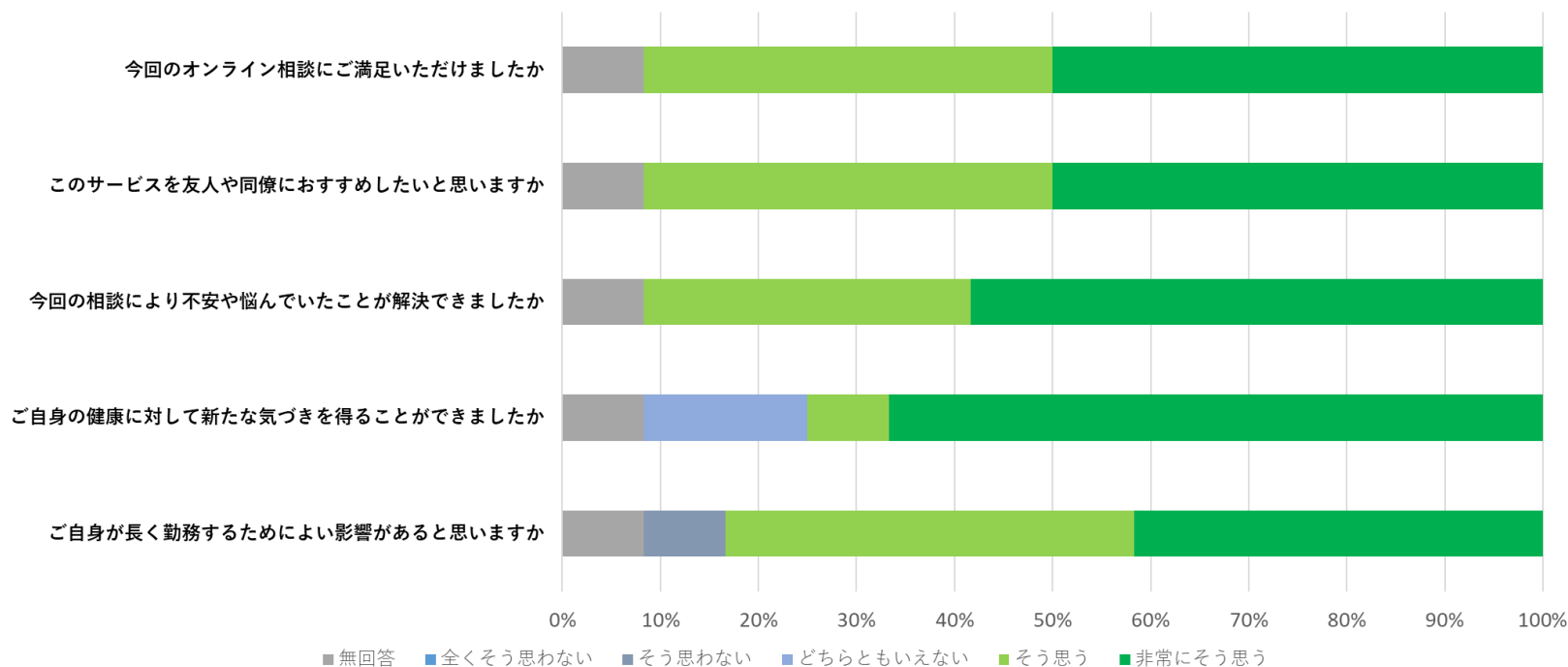
項目	相談内容
更年期	<ul style="list-style-type: none">□ 更年期の症状全般□ 疲れやすく、関節の痛みや気持ちの落ち込み
その他	<ul style="list-style-type: none">□ めまい、だるさについて□ 服用している薬について□ 睡眠の質低下による体調不良□ 子宮内膜症について

サービス満足度

相談への高い満足度

90%以上の利用者がオンライン相談に対して満足しており、不安や悩みが解決したと回答。健康に対する新たな気づきや、長く働く上でどう良い影響があるかと考えるのかなど、最終報告に向けて利用者へ追加でアンケート調査を行っていく。

【2021年8月1日～10月25日】アンケート回答結果



- 相談内容は、相談者別にカルテとして電子記録で管理
- 定例ミーティングにて、相談内容に対する回答について改善点を協議
- 相談のない時間帯は、想定問答を作成
- 医師によるスタッフのためのオンライン勉強会を実施
- 相談件数アップの施策として動画コンテンツ作成

課題と今後に向けて

- 約80%の職員が出向中のため、周知できていない
- 相談に踏み出す手前の方へのアプローチとして、動画コンテンツ配信やオンラインセミナーを検討する
- 体調不良や違和感に対しての不安解消手段として価値を感じてもらえているかの調査実施。
- 相談件数を追うだけでなく、サービス本来の趣旨をどう伝えていくかが重要と考える。
- 産婦人科受診が心理的に敷居が高いという声を、オンラインという気軽さと利便性によって解決するか
- 上記同様調査を行っていく。
- メディア戦略

企業への提案を開始

9月より企業へのオンライン相談サービス提案を開始

- 本サービス導入の提案
- 他社サービスへの付加サービスとしての機能提供
- フェムテック分野でのサービス・プロダクト共同開発模索

テスト導入

5社 ※シャープ様にもご協力いただく予定

サービス導入

2社 ※10月よりサービス提供開始

開発協議中

2社



【本件に関するお問合せ先】

医療法人葵鐘会 経営戦略部

E-mail : prd@kishokai.jp

08.

法人向けオンライン女性健康相談サービス「フェムラインかごしま」実証事業
(代表団体：社会医療法人博愛会 相良病院)

Femline Kagoshima

法人向オンライン女性健康相談サービス

Femline

KAGOSHIMA

中間報告

Femline Kagoshima

医師による法人向けオンライン健康相談サービス

POINT

1 医師が相談対応を行う

POINT

2 匿名利用で気軽に相談できる体制

POINT

3 女性従業員だけでなく、経営者・管理責任者・
同僚男性にも課題喚起や情報提供を行う



乳腺外科

乳房の症状

女性泌尿器科

排尿・骨盤臓器脱
などの悩み

産科・婦人科

女性特有の悩み
不妊の悩み

美容外科
美容皮膚科

肌のトラブル
美容の悩み

- 1 WEBプラットフォームの構築／コンテンツ、インターフェース、ロゴ作成、システム構築
- 2 企業への協力依頼／5社 従業員数6,300人（うち女性従業員数3,800人）
- 3 アンケート設計／事前意識調査（オンライン・オフライン併用） 管理職向け・女性従業員向け
- 4 印刷物制作／案内パンフ（A5・三つ折り、女性従業員向け）、管理職・女性従業員向けアンケート



- 5 医師向けガイドライン制作／遠隔健康医療相談及び操作マニュアル作成、医師へのレクチャー実施
- 6 サービス開始／協力企業へ案内・訪問・各種印刷物引渡し。ローンチ10月11日。プレスリリース。
URL <https://femline.jp/public/>

1 事前アンケート 回収状況 管理職者：168名 女性従業員：743名（10月25日現在・オンラインのみ）

○共通

- ・「フェムテック」の認知はほぼ無し
- ・ライフステージごとの健康課題への理解を深める社内研修の必要性（男女）

※事前アンケート最終締め切り 11月中旬

○管理職

- ・男性管理職の女性従業員への関わり方や必要なサポートの仕方がわからない

○女性従業員

- ・女性特有の健康の悩みには個人差があり、女性同士でも理解を得られない
- ・深刻な悩みを抱えている女性従業員がいる
- ・若年女性従業員の健康リテラシー向上の必要性
- ・加齢や更年期に対する心理的な悩み、不安への対応の必要性（今回のサービスで対応不可）

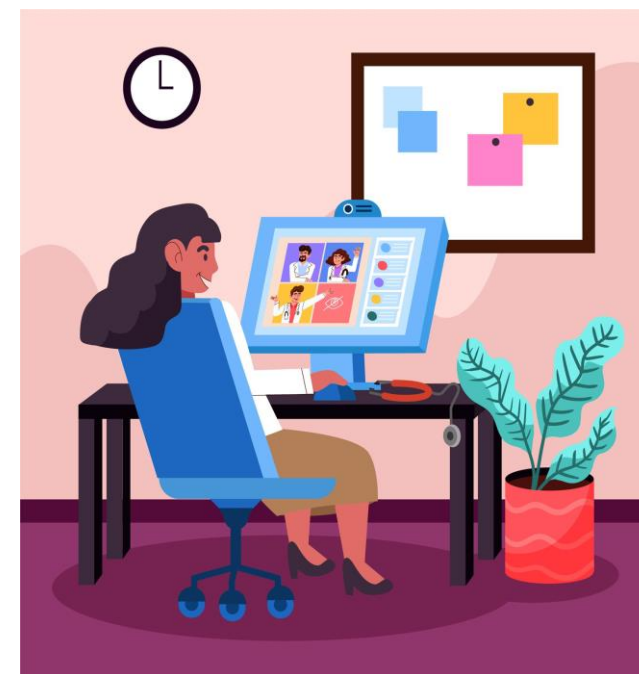
2 相談者／婦人科5名、美容皮膚科3名、女性泌尿器科2名（10月25日現在）

- ・遠隔健康医療相談サービスの範囲を利用者に十分に伝えにくい
- ・遠隔健康医療相談の範囲や役割の正しい理解を得られなければ、サービスの信頼確保、品質の担保ができない
- ・女性自身の健康リテラシーや健康管理能力の向上の必要性

3 フェムテックサービスの需要と運営体制、その他

- ・一定の需要があり、法人のサービス導入の可能性もある。課題は収益化、品質担保、遠隔健康医療相談サービスの範囲策定（行政ガイドライン）
- ・上記に伴う相談対応者（医師あるいは医療専門職）の拡充、連携、研修のあり方

- 1 WEBシステム、フローの問題確認、運営体制の強化
- 2 事前アンケートの集計・分析、協力企業や医師へのフィードバック、ヒアリング
- 3 利用者アンケートの集計・分析、協力企業や医師へのフィードバック、ヒアリング
- 4 医療情報の編集、医師への監修依頼
- 5 協力企業拡大（サービス利用者の拡大）の検討
- 6 サービスの事業収益化方法の協議



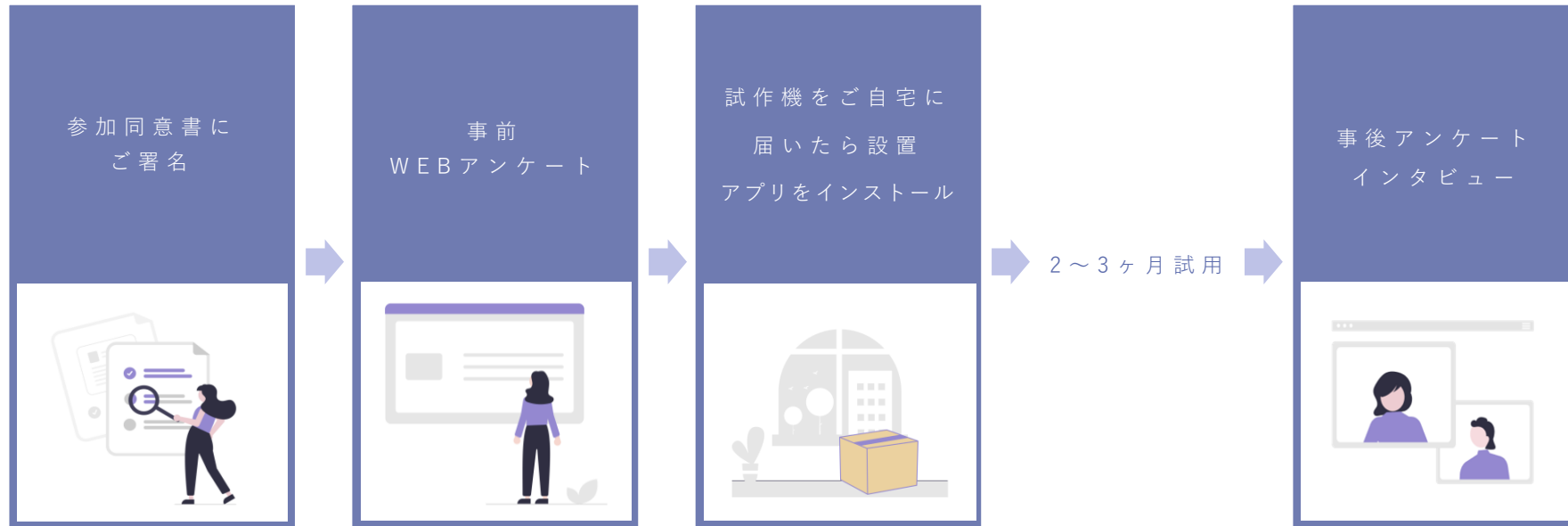
09.

生理用品の計量管理による生理周期の把握とデータを活用した健康課題の解決
(代表団体：シャープ株式会社)

生理用品の計量管理による 生理周期の把握とデータを活用した健康課題の解決



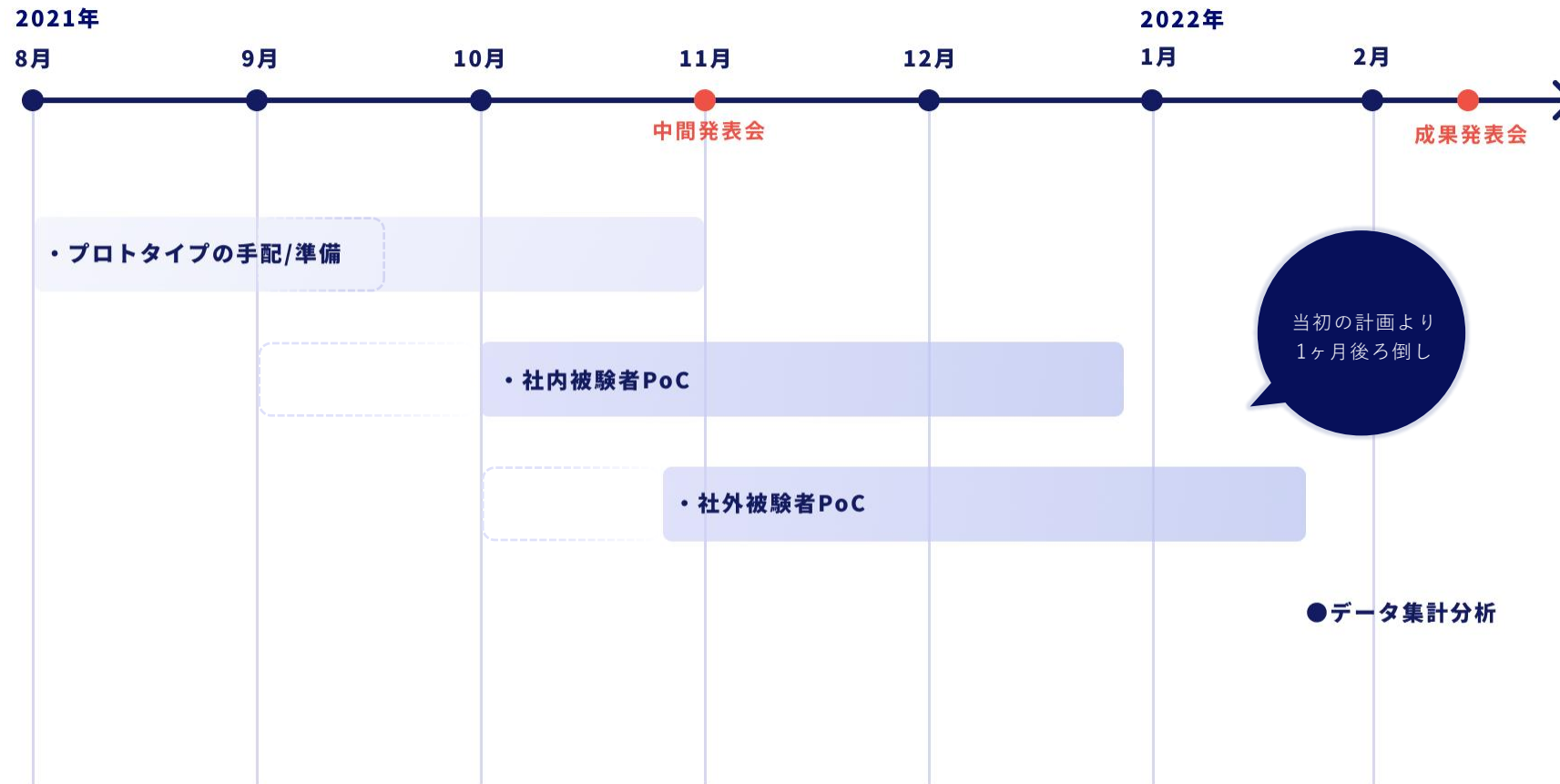
実証事業の概要



事業目的

- ① プロダクト利用の効果測定
 - ・在庫管理や生理周期の記録に関する負担や不安の軽減
 - ・生理や用品に関する意識の変化
- ② サービスの価値向上検討

スケジュール



8月～10月実施したこと

モノづくり

本体ブラッシュアップ

アプリブラッシュアップ

実験運営

被験者募集

運営に必要な契約検討

サービス検討

関係事業者様ヒアリング

ものづくりのブラッシュアップ

アプリプロトタイプ



IoT収納ケース 試作機



社内女性従業員のフィードバックを元にブラッシュアップ



収納ケースの清潔感を向上させた素材に変更
収納ボックスを取り外し、手元で生理用品を収納する

実証事業運営の準備が完了

実験の流れの詳細設計



配布資料・梱包の設計



被験者募集



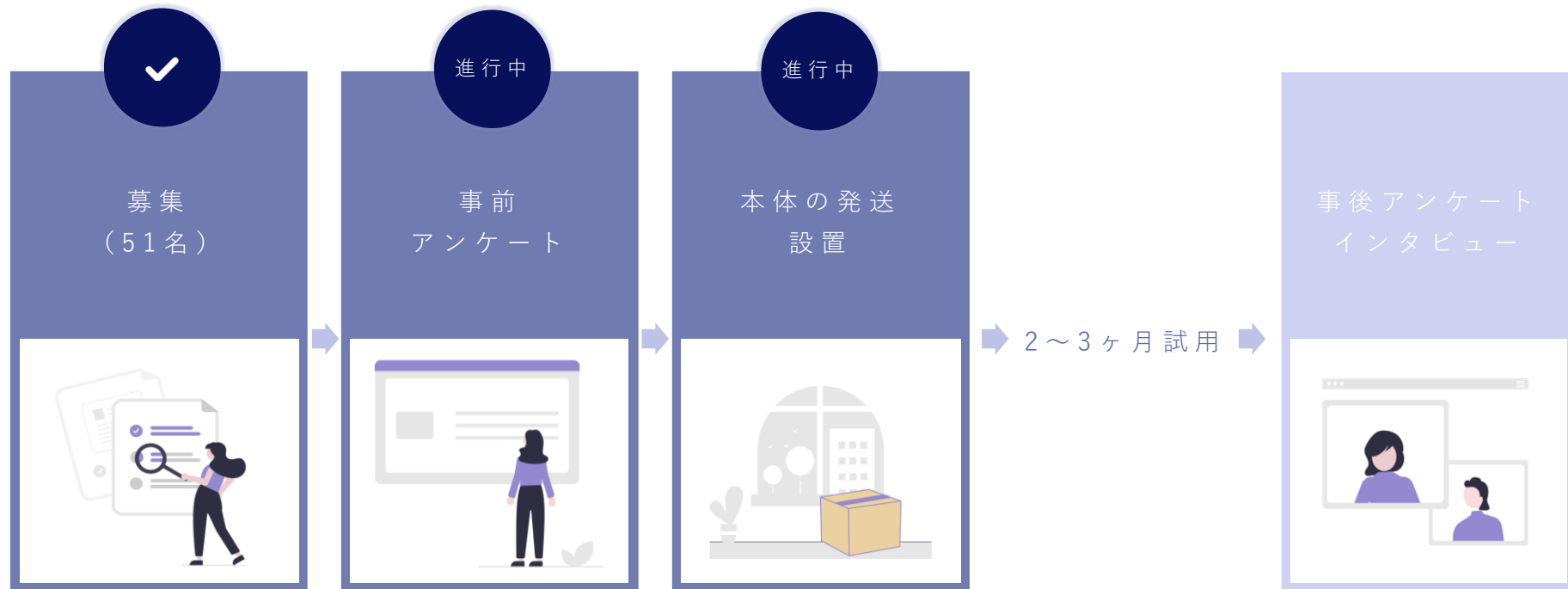
参加同意書の法務審査



運営委託会社契約



実証事業運営の進捗状況



気付き

アンケート
から

生理の状況と生理用品の
使い方は想像より人それぞれ

在庫管理と自動周期記録への
ポジティブなフィードバック

募集状況
から

年代別の反響の違い

男性を通じた案内の難しさ

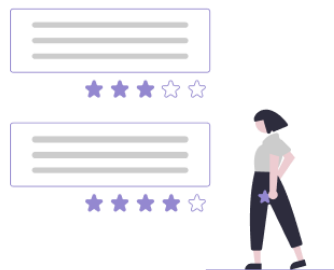
他事業者様
ヒアリング
から

情報と知見の共有の重要性

連携の重要性

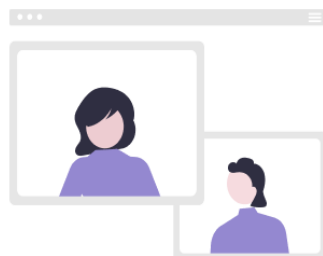
効果測定の実施

ユーザーアンケート



- ・負担や不安軽減の効果測定
- ・意識と行動の変化

リモートインタビュー



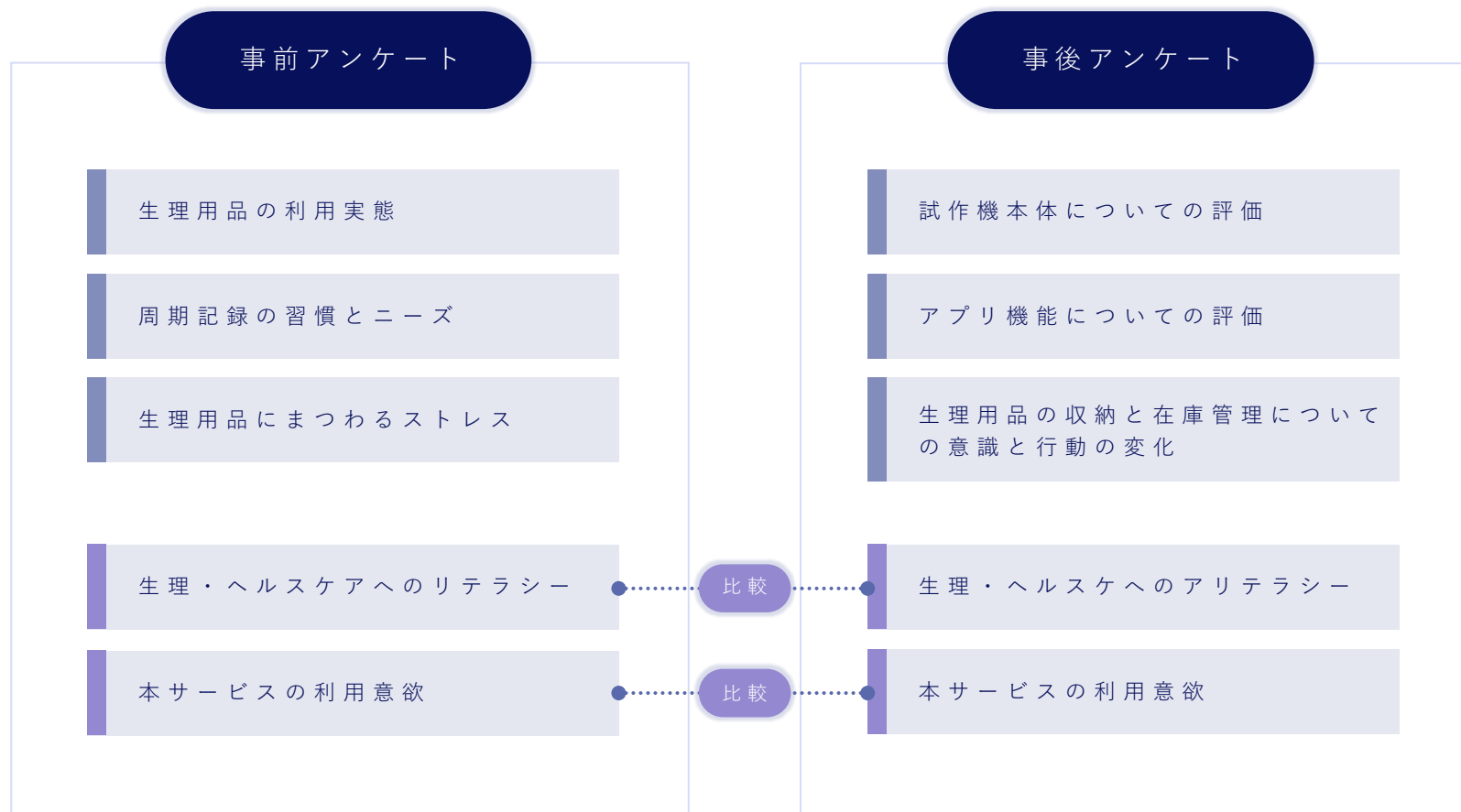
- ・女性被験者の心理や感情、意見を深く聞き出す

計量データ分析



- ・生理用品利用実態の分析
- ・アルゴリズムの検証

効果測定アンケート



SHARP

Be Original.

10.

働く更年期女性がキャリアをあきらめないためのヘルスリテラシー向上・相談窓口事業
(代表団体：株式会社 ジョコネ。)

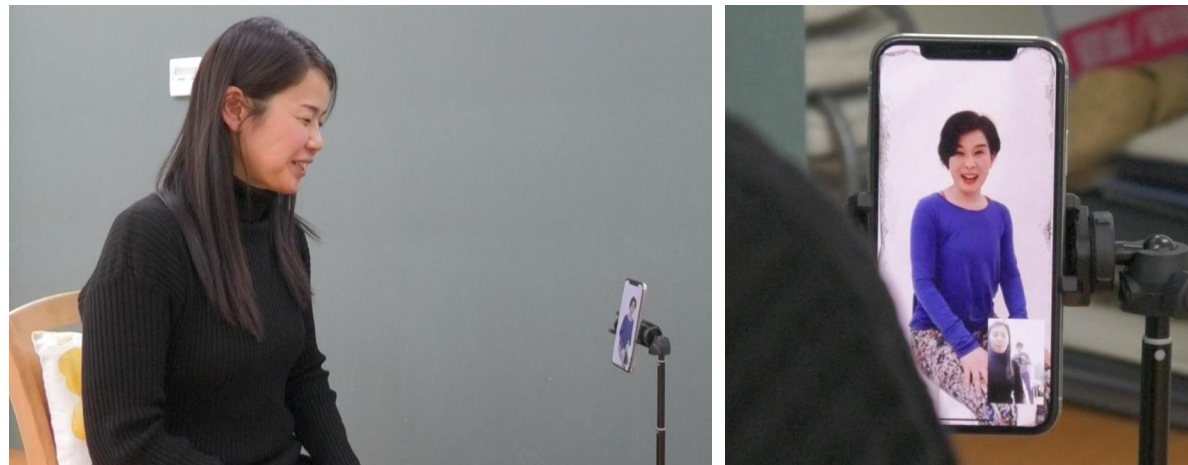
**働く更年期女性が
キャリアをあきらめないための
ヘルスリテラシー向上・
相談窓口事業**

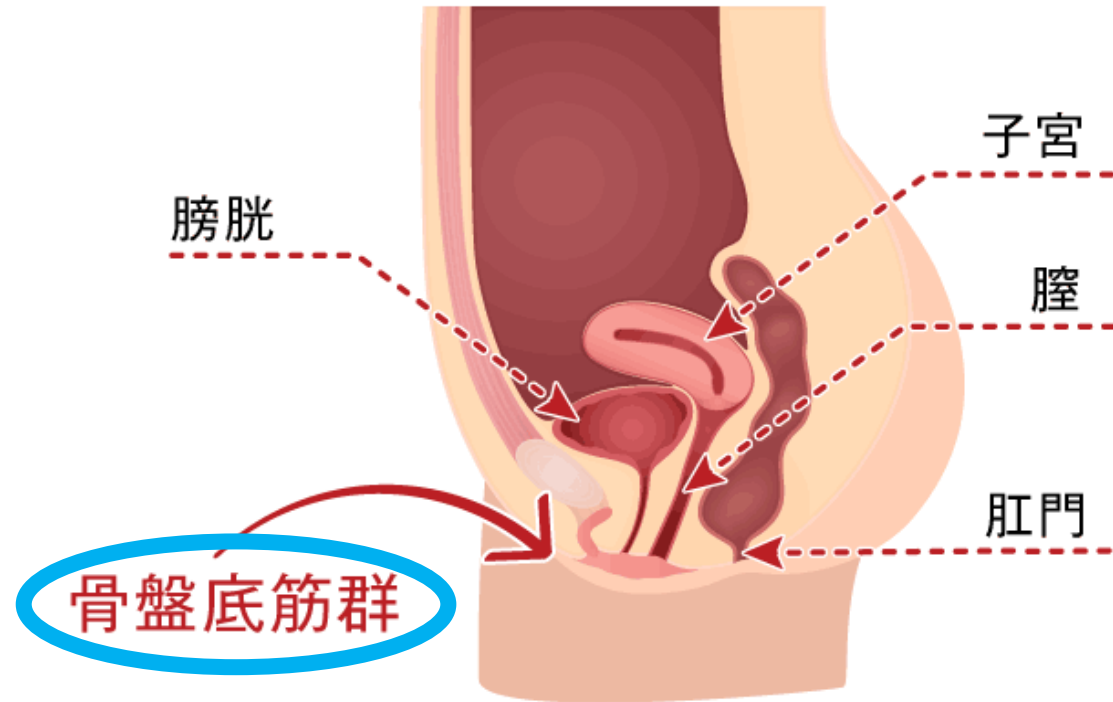
**代表団体 株式会社ジョコネ。
北 奈央子**

Mission

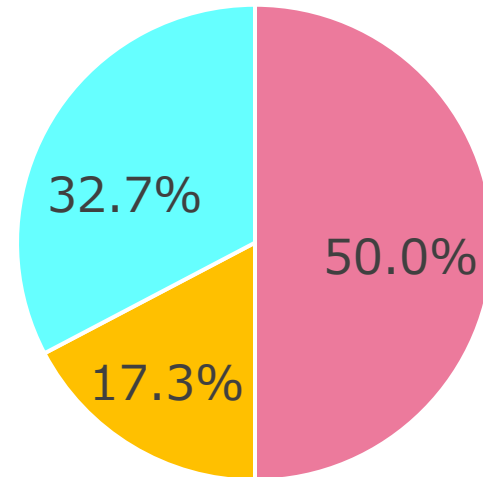
女性がヘルスリテラシー高く
生きられる社会の実現を目指す

オンライン骨盤底筋トレーニング 底トレ®





半数の女性が更年期症状で 昇進を辞退したことがある



- 辞退したことがある
- 辞退しようと思ったことがある
- 辞退しようと思ったことはない

実施内容概要

目的：以下の事業を通して、働く女性自身と職場の周囲のヘルスリテラシーの向上、そして仕事のパフォーマンスやモチベーションの向上度合を検証する



女性の健康と更年期に関するセミナーによる ヘルスリテラシーの向上

- 更年期女性とその周囲が知っておくべき内容に関するセミナー
- 2回程度を予定
- 内容（案）
 - 女性ホルモンと更年期の概要と起こりうる症状
 - 更年期かもと思った際に利用できる対応方法
 - 職場でのコミュニケーション

女性に寄り添うカウンセラーを中心とした 更年期女性のための相談窓口

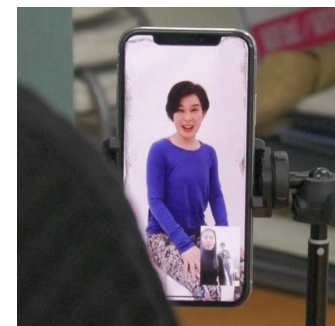


助産師



メノポーズカウンセラー

解決策案



3か月ほど実施

- 運動指導（パーソナル、グループ）
- 東洋医学的セルフケア指導（漢方含む）
- カウンセリング（パーソナル、グループ）



実施概要：セミナー①

- タイトル：「わかる,カラダ,かわる。働く女性の持続可能なボディメイク」
- 実施日時：9月17日（金）19時～20時30分
- 形式：オンライン+1か月間のアーカイブ配信
- 案内方法：国内大手企業の全社員へのメールに流す仕組みを使い、10万人以上に告知
- 申込者数：520名程度（リアルタイム参加300名超）
- カウンセリング希望者数：60名超→実際の予約40名+

実施概要：セミナー②

- タイトル：「働く女性の健康デザイン」
- 実施日時：10月12日（火）19時～20時30分
- 形式：オンライン+1か月間のアーカイブ配信
- 案内方法：国内大手企業の全社員へのメールに流す仕組みを使い、10万人以上に告知
- 申込者数：200名程度（リアルタイム参加120名超）
- カウンセリング希望者数：20名→実際の予約10名+

実施概要：カウンセリング

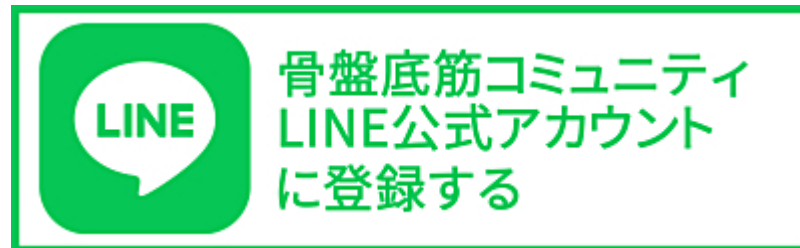
- オンラインで45分間1対1のカウンセリング
- カウンセラー3名（うち2名はセミナー登壇者）
- 予定数50名に対し、現時点で55名の予約
- 進捗率6割時点で予約後キャンセルはゼロ
- 9割がた改善策を選択、人気のあるものは定員に達した
- オンライン接続にとまどう人が2割ほど・・・

セミナーからの学び

- 準備が前もって必要であったが、全社員に告知されるメールプラットフォームの活用が大きかった（社内で活動実績をもち、ノウハウがあった）
- 告知に「更年期」という言葉は避けたのが功を奏した？
- セミナー内容としては、具体的な方法や事例への関心が高かった。
- セミナーに登壇したカウンセラーへの予約が多かった（作戦成功）
- セミナー参加（カウンセリング非該当者も含む）から実際にアクションをする人は1-2割程度

どうぞよろしくお願いいたします

お問い合わせなど：
株式会社ジョコネ。 北 奈央子
<kita@joconne.com>



11.

生命をつなぐ 世代をつなぐ 医療をつなぐ 診療支援システム開発
(代表団体：株式会社シンフォニア)

生命をつなぐ・世代をつなぐ 医療をつなぐ診療支援システム

～ 女性が輝きつづける社会のために ～



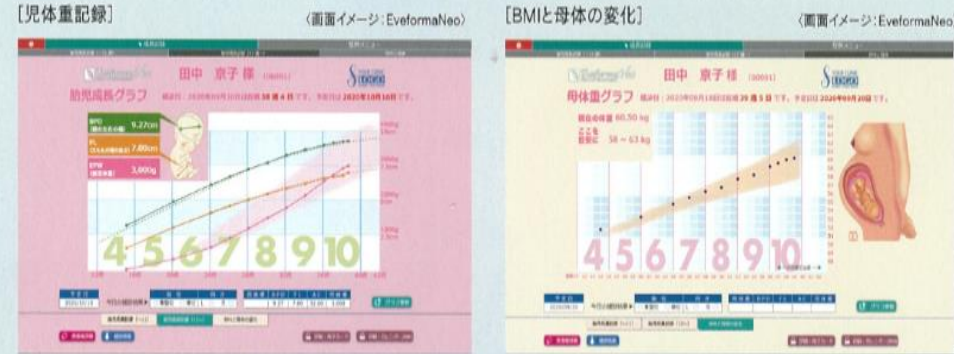
～女性が輝きつづける社会のために私たちができること～

- 産婦人科の医療を通して、妊娠・出産に直面する妊産婦様へ出産への希望や幸福感を追求できる支援を行います。
- 不妊治療に臨む方へ、より深い理解と治療に前向きに臨める支援を行います。
- 核家族化する社会の中で、出産・育児に悩むお母さんへの早期支援に着手できる仕組みを作ります。

機能2 ▶ 児体重 & 母体重グラフ

赤ちゃんの成長を
グラフ化

女性が見ることに着目
色味・デザインにも
こだわりました



お母さんの体重を
グラフ化

- ▶ 入力された健診結果は、患者説明用として瞬時にグラフ化されます。児体重計算は東大式・阪大式・日超医式から選択可能。
- ▶ 母体重はBMIグラフとイラストで表示されます。胎児の向き(6パターン)も反映され、アドバイスしやすくなります。

機能3 ▶ ママ & ベビーカード



健診ごとにカードにして
成長アルバムを作成

- ▶ オリジナルアルバムの制作も可能です。貴院のブランド作りにお役立てください。

成長を見守ることで妊娠・出産に前向きになり、より充実した幸福感を感じることができます



妊婦健診時の、赤ちゃんの成長やお母さんの身体の変化を可視化、妊娠時における不安感を解消し赤ちゃんの成長を見守ることで、より充実した幸福感を感じることができるよう仕様となっています。日本国内150院以上の産婦人科クリニックへ導入しています。

女性が輝きつづける社会のために

システムの改良を行います

- ① 電子カルテとの連携機能追加
- ② 不妊治療に関する症例の追加
- ③ EPDS (エジンバラ産後うつ病質問票) テスト機能搭載

① 電子カルテとの連携機能追加

電子カルテとの連携機能を搭載することで、カルテ内の診療情報の可視化が可能に、また、診療説明の時間短縮により、妊産婦や患者様の時間的制約を軽減するとともに、医療従事者の負担も軽減可能となります。



●電子カルテ連携機能搭載分

- ・株式会社ミトラ様
- ・株式会社ニューウェーブ様
- ・株式会社マックスシステム様

上記3社の電子カルテとの連携機能は搭載済
今後、クライアントのご希望により追加予定

② 不妊治療に関する症例の追加

妊娠を望む女性の3人に1人が不妊治療を受けているとされています。
 解明されていない点も多く、精神的苦痛や経済的負担も伴うため治療からの離脱や
 治療にかかる時間的負担のための離職も多く見られます。

原因や治療方法をイラストや動画で可視化することで、より理解を深め前向きに治療に
 取り組むための支援を行います。

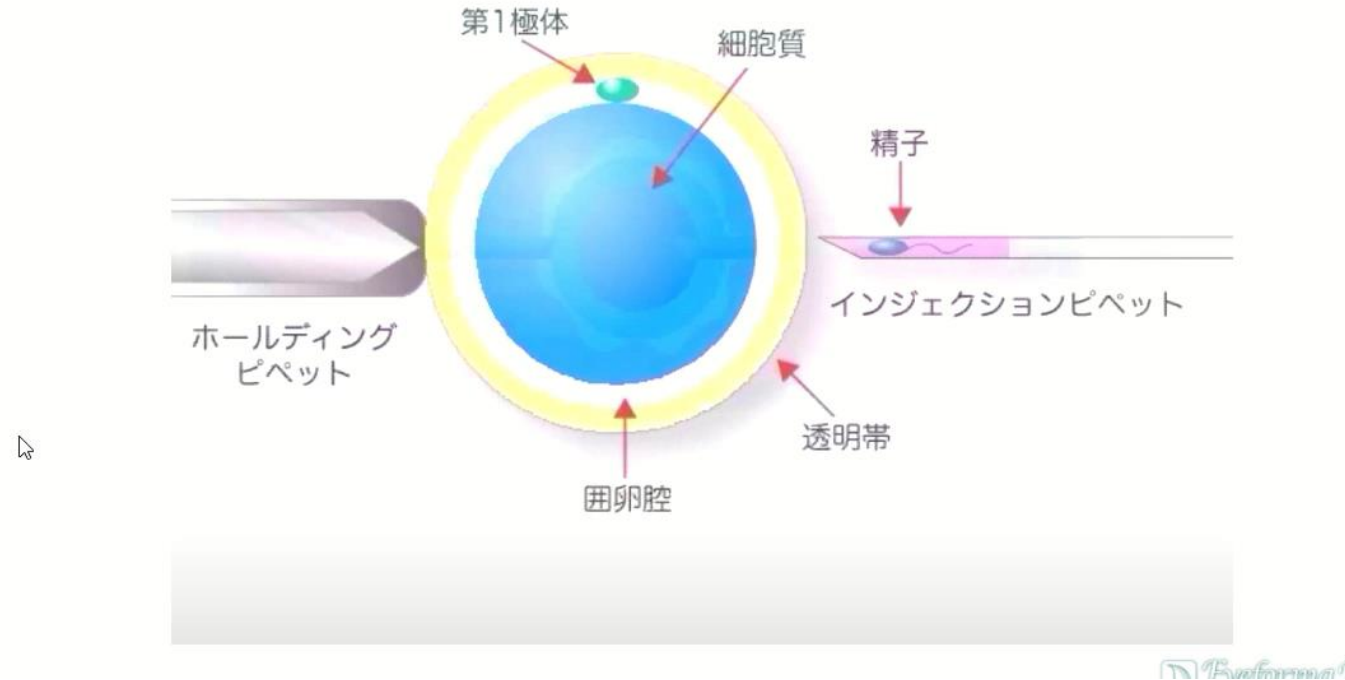
不妊			症例リスト 表示 / 非表示
妊娠のしくみ	卵巣過剰刺激症候群	人工授精 (AIH)	
排卵の力とメカニズム	多嚢胞性卵巣症候群	高度生殖医療	
正常ホルモンの変化	不妊の調べ方と治療	体外受精-胚移植	
不妊の原因	不妊症の一般検査	受精方法	
不妊の因子	検査の時期	顕微授精 (ICSI)	
不妊の因子 (女性側)	ホルモン負荷テスト	子宮奇形	
不妊の因子 (男性側)	卵管造影	子宮後屈	
妊娠の4つの力	フーナーテスト	子宮筋腫	
子宮について	タイミング指導	卵巣嚢腫	
男性側の力	排卵誘発	子宮内膜症	
抗精子抗体	採卵		

不妊治療に特化した症例の追加を行いました

[関連する症例へリンク](#)

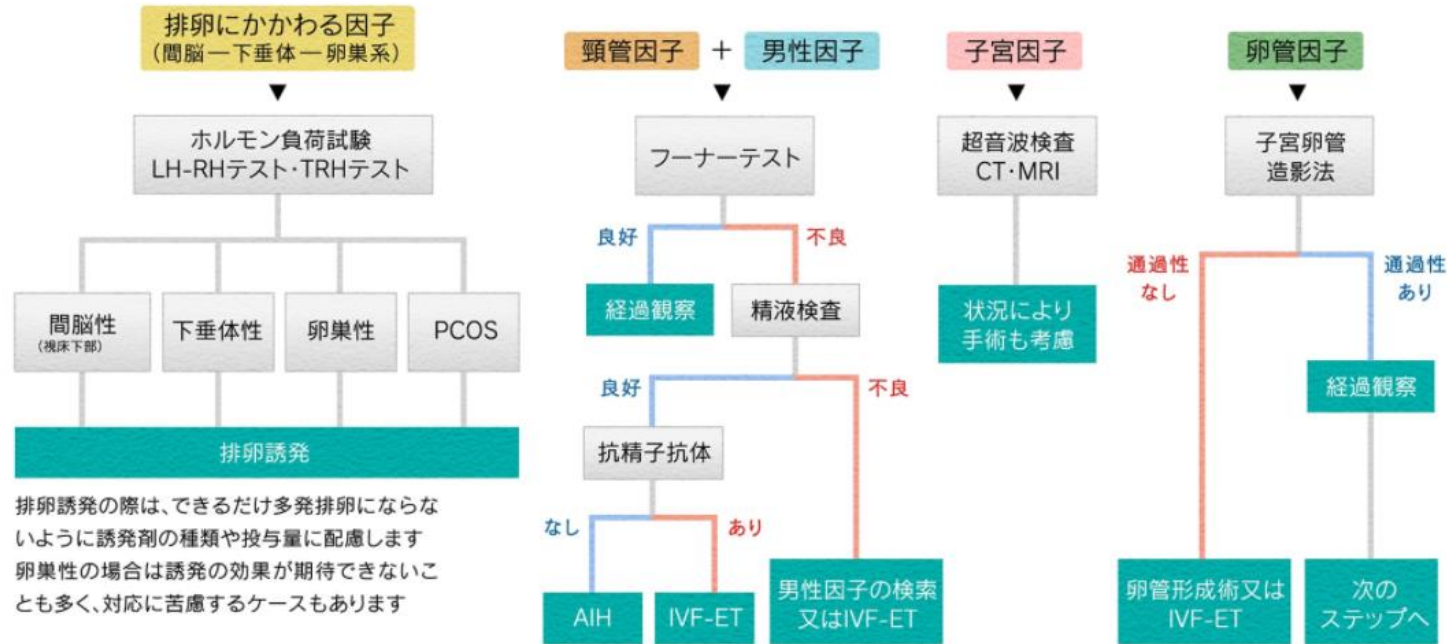
顕微授精 [ICSI]

男性の精液の状態が非常に悪い場合に行われる受精法です



**CGやイラストを使い
わかりやすく可視化しています**

不妊の調べ方と治療



**治療方法を体系的に図示することで
治療方法や治療経過の理解につながります**

③ EPDS(エジンバラうつ病質問票) テスト機能追加

EPDSは産後うつ病のスクリーニング票として英国で開発されました。出産前後は、ホルモンバランスの乱れや生活の変化に対する不安感や疲労感から、情緒不安定に陥ることも少なくありません。このような症状の早期発見につなげるため、健診時に実施できるように搭載します。点数も自動計算される設計とし、医療従事者の負担も軽減されます。

健診時に使用する画面上にEPDSのSTARTボタンを挿入
気になる症状を発見した際は、すぐにEPDSの検査指示が出せます

妊婦管理 患者様一覧

妊娠調査結果 紹介状発行 助産録発行 出生届発行 おめでとうカード 出生記録カード エコー台紙 **EPDS Start**

表示行数: 100

<input type="checkbox"/>	全チェック	件数: 1152	インデックス	患者様名	ふりがな	分娩予定日	出産経験	分娩予約	転院	マーク	紹介	助産	出生	EPDS
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	成長記録	10105	中井 智美	なかい ともみ	2021/04/17	P	R	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	2
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	成長記録	10132	廣門 舞	ひろかど まい	2020/08/24	P	R	<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	2
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	成長記録	10558	藤井 桂子	ふじい けいこ	2021/06/22	P	R	<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	成長記録	10641	江前 彩乃	えのまえ あやの	2020/08/13	P	R	<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	成長記録	10775	土肥 香苗	どいかなえ	2021/07/19	P	R	<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	成長記録	10881	伊藤 愛	いとう めぐみ	2021/11/10	P	R	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	成長記録	10886	竹内 尚子	たけうち なおこ	2021/06/10	P	R	<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	成長記録	10961	田中 芳恵	たなか よしえ	2021/09/20	P	R	<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/>	◇ 詳細	成長記録	11034	齊藤 恵美子	さいとう えみこ	2020/12/20	P	R	<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1

EPDSの検査指示は自動的に
タブレット端末に送られます

EPDSアンケートの
登録があります

登録を確認

EPDS アンケート

中井 智美 様

10105

▶ 実行 × キャンセル

過去7日間にあなたが感じられたことに最も近い答えをタップしてください。

Q1. 笑うことができたし、物事のおもしろい面もわかった。

いつもと同様にできた

あまりできなかった

明らかにできなかった

全くできなかった

戻る 次へ

10問の設問の回答の入力が終わると
回答データが自動的に
Eveformaに戻ってきます

中井 智美 様

お疲れ様でした。これで終了です。
終了ボタンを押すと、
係の者がご案内いたします。

終了

EyeformaNeo

EPDS 患者様一覧

合計 20件

新規 インデックス

表示行数: 10

回数	記入日	状況	インデックス	患者様名	出産日	EPDS値 (点数)										合計	備考	詳細
3	2021/10/25	完了	10105	中井 智美	2021/04/17	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	16		
1	2021/10/21	完了	11034	真藤 恵美子	2020/12/20	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	9		
1	2021/10/21 (登録日)	回答中	00006	テスト2	2021/12/14													
1	2021/10/21 (登録日)	回答中	00004	テスト	2021/11/10													
3	2021/10/21	完了	00005	テスト	2022/03/01	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	10	aaa	
2	2021/10/21	完了	00005	テスト	2022/03/01	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	10		
1	2021/10/15	完了	00005	テスト	2022/03/01	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	9		
1	2021/10/15	完了	11253	前原 千壽	2020/09/26	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	10	あま あま	

検索 削除

検査指示後の未実施分の管理ができます

妊産婦さまからお預かりした
回答データは全て蓄積されます
個別の検索もできるので
経過観察や実施日の管理等が
可能です

EyeformaNeo

EPDS 検索結果リスト表示

合計 3件

新規 インデックス 10105

表示行数: 10

回数	記入日	状況	インデックス	患者様名	出産日	EPDS値 (点数)										合計	備考	詳細
3	2021/10/25	完了	10105	中井 智美	2021/04/17	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	16		
2	2021/10/15	完了	10105	中井 智美	2021/04/17	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	21		
1	2021/10/14	完了	10105	中井 智美	2021/04/17	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	20		

患者様一覧 削除

名前検索ができます

●Eveforma改良を通して見えてきた課題

▽EPDSについて

- ・ EPDSのテスト実施後の症状に応じた、適切な医療機関への紹介
- ・ 産後、乳児を抱えての医療機関受診までのサポート体制

●今後本事業において実施すること

- ・ 弊社クライアント協力院へのアップデート
- ・ 導入院への検証作業

● 本事業終了後の展開計画


- ① 産婦人科に特化して構築してきた診療支援システムの他診療科へも展開します。
- ② 他診療科医への拡大と並行して、スマートフォンのアプリと連携させることで診療情報の閲覧を院外でも可能なものとし、家族間でも共有可能なものとなり、治療内容への理解やモチベーションアップにつなげます。
- ③ クラウドシステムなどを利用して、地域内のクリニック等での情報の共有化ができるシステムを構築することにより、正確な診療情報の取得、診療や検査にかかる時間の短縮を図ります。患者様だけでなく、医療従事者の方の負担も軽減します。

医療とITをつなぐことで
社会全体のウェルビーイングに寄与します



12.

妊活・不妊治療と仕事の両立を支援する妊活サポート事業
(代表団体：株式会社 ステルラ)



**令和3年度「フェムテック等サポートサービス
実証事業費補助金」
中間報告会**

株式会社ステララ 2021/11/09

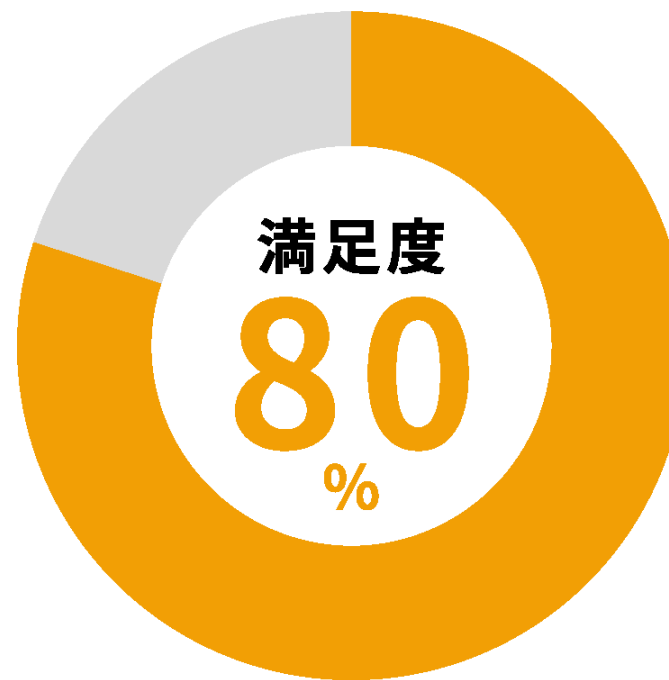
① 当初の事業計画

1. 企業（従業員）向け「妊活と仕事の両立セミナー」の実施
2. 企業（従業員）向け「妊活と仕事の両立パンフレット」の作成
3. e-Learning動画の作成、導入
4. 妊活、不妊治療、卵子凍結のカウンセリング、相談の実施

②事業計画に基づき実施したこと

1.企業（従業員）向け「妊活と仕事の両立セミナー」の実施

- 参加：15社
- コメント：
 - 個人差があること、周囲に伝えづらい場面もあるなどあらためて認識いたしました。
 - 会社的にはまだ今回のテーマのような取り組みは出来ておらず、良い人材を確保するためにも大事な事だとは感じています。



②事業計画に基づき実施したこと

2.企業（従業員）向け「妊活と仕事の両立パンフレット」の作成

- 各企業へ配布（300部）
- 医療機関への設置（100部）
- イベント出展時に配布（300部）

パンフレットを希望の方は以下にご連絡ください。

info@sutelura.jp



②事業計画に基づき実施したこと

3.e-Learning動画の作成、導入

→当初計画より遅延。Zoomでの録画共有などでも十分対応できる可能性。企業のニーズをヒアリング中。

4.妊活、不妊治療、卵子凍結のカウンセリング、相談の実施

→予定通り進捗。

③ 事業を実施して分かってきたことや課題

- **企業担当者への情報提供から理解促進へ**

妊活・不妊治療は自身が経験していないと必要な知識も乏しく、理解も難しい。その為まずは妊活・不妊治療支援の必要性を知ってもらうことが大切。

- **妊活・不妊治療の課題が社内で浮き彫りになっていない**

妊活・不妊治療はプライベートな問題の為、社内での支援や制度設計の必要性が担当者まで伝わっていない。

→どのような支援が必要か明確にさせるためのサポートも弊社で行っていきたい。

- **人事の課題は妊活・不妊治療支援だけではない**

支援が必要なものは妊活・不妊治療だけではなく、育休・介護支援や、メンタルの不調による休職支援など、様々な分野で幅広く支援が必要なため、制度設計のバランスに悩んでいるという課題も浮き彫りに。

④ 今後実施すること

1. 第2回 人事担当者向けセミナーの実施
2. パンフレットの無償提供など、興味をもってもらう
施策の実施
3. 専門家相談を利用した従業員の満足度の見える化

13.

妊活・不妊治療と仕事の両立を支援する妊活サポート事業
(代表団体：株式会社 TRULY)

信じられる、美しさを。

TRULY

中間報告会 経済産業省 令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業」
更年期ケアの重要性を可視化し、社会へ啓蒙@渋谷区@神戸市 自治体連携

TRULY Inc.

2021.11

TRULY's VALUE

TRULY

Mission

閉ざされた悩みに向き合い、男女が理解し合える社会へ。

Mission

Vision

Value

「信じられる情報と、安心できる寄りどころを。」

TRULYは、更年期の先まで、
どこよりも寄り添う、フェムテックカンパニーです。

「我慢せず、理解がすすみ、結果キャリアをあきらめない」

「更年期の対策行動」を、「ピンクリボン」のようなオープンアクションへ！

女性個人の変容

女性の女性ホルモンの変動、心身に起こりやすい変化を知り、自身の健康状態を理解し、正しいケア&対策する

社会の変容

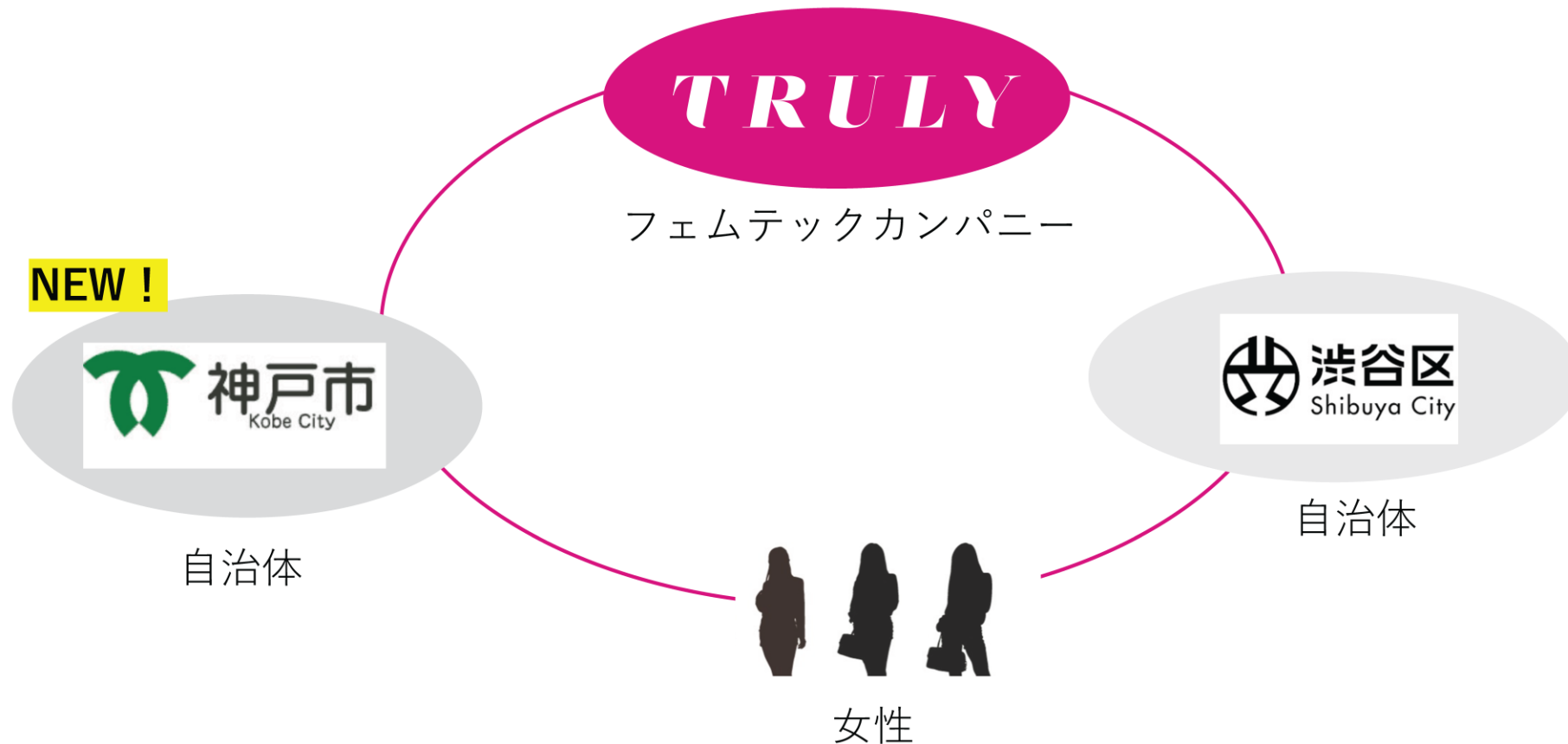
男性や企業を含む社会全体で、更年期を新たなケア分野として正しく向き合い、タブー視せず、理解し合おう

働く女性のウェルビーイングの向上

「更年期の理解促進に加え、対処方法を知り、対策アクションを起こす」

TRULYが展開している、法人向けサービス活用を通して、
渋谷区民&神戸市民モニターの実証実験

東京と地方都市の違い、男女の認識の違いを可視化



渋谷区が経済産業省の事業としてすでに採択を受けている株式会社TRULYとの「働く女性の健康課題を解決するためにフェムテックを活用する実証実験」について、連携協定の項目である“実証実験の支援”の観点から、神戸市でも実証実験参画をさせていただくことになりました。これらサービスの体験を通して、本サービス自体の効果検証・働く女性の健康課題を明確にし、今後の環境整備などに役立てていくための実証実験としていきたいと考えています。

神戸市 新産業課 担当 武田さま

現状

- ①更年期や自身の体調について、アンケートを実施する上での項目や指標の設計方法が難しかった。
- ②自治体との連携によるサービス提供となり、慣れるまでオペレーションコストや、運営側のシステム部分の改良が必要となった。
サービスの改善、改良のきっかけにもつなげた。
- ③アンケート回収率を上げるための工夫やリマインド設計をフレキシブルにする必要があった。

今後の課題

- ①実証実験の結果を効果的に発信する場の設計や、関心をもってもらうための工夫
- ②結果のフィードバックやそれによって次のアクションにつげる設計の構築
- ③結果を踏まえた上での自治体との連携方法の模索

1) 渋谷区&神戸市でTRULYのサービスを利用

渋谷区&神戸市のモニター会員30~50代の女性にTRULYのサービスを活用。(チャット相談・動画セミナー)

2) 利用者に対して、定量・定性調査を実施

利用後、アンケートで「①知識や身体の変化」「②生活への変化」「③プレゼンティズム指標」をヒアリング。

目的：健康不安を相談したり、対策につながったりする事によって、医学的に計測しにくい、心身の状態の改善につながっている事を可視化。

その結果、生産性を測る指標である「女性のプレゼンティズム」への影響を可視化する。

3) 2)の調査結果を専門家(医者)に評価

調査結果を医師やキャリアの専門家とともに分析し、客観的な評価を検証する。

4) 成果をシンポジウム形式で発信

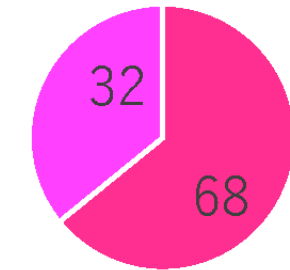
更年期とキャリアの関係を可視化する。更年期で女性がキャリアを諦めていることなどを顕在化させることも狙いとしている。

2021年10月末

1) 女性 100名の申込

2) 事前アンケート実施&サービス利用中

渋谷区 68名 神戸市 32名

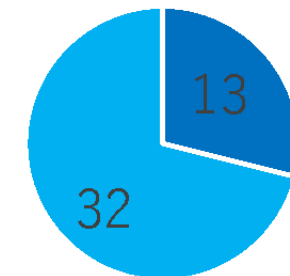


アンケート回収率
83%

■ 渋谷 ■ 神戸

1) 男性 45名

2) 男女の健康意思に対する アンケート実施



アンケート回収率
86%

■ 渋谷 ■ 神戸

VISION会議で世の中に啓蒙&発信

TRULY

実証実験の結果から見えた現状、課題、成果をもとに「2030年に向けて、どんな社会にしていきたいか？」

医師&ウェルビーイング専門家×自治体×スタートアップ (TRULY)

立場の異なるメンバーで議論してそれを2030年の日本あるべき姿としてVISIONに掲げる

2022年1月開催予定

医師&ウェルビーイング

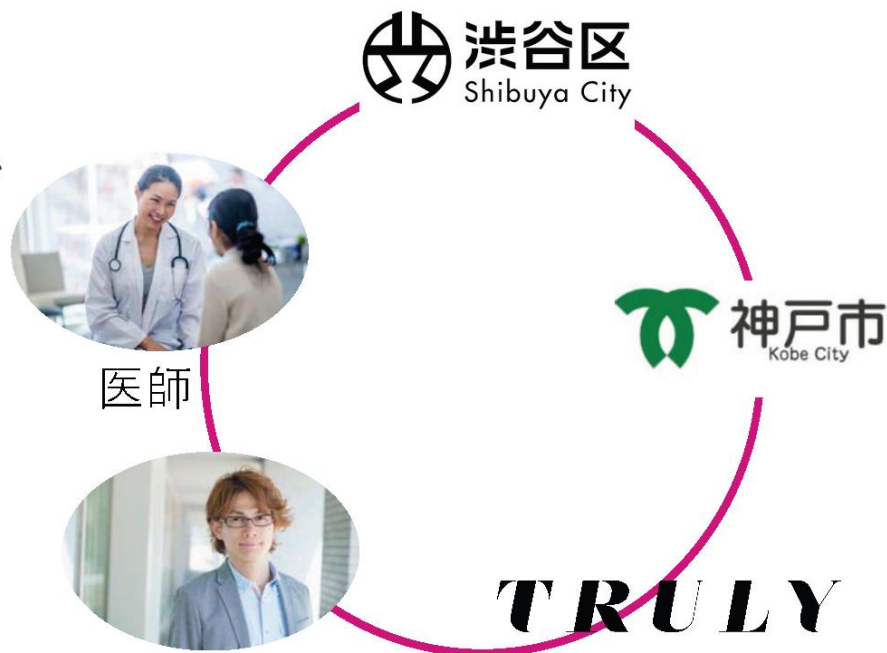
×

自治体

×

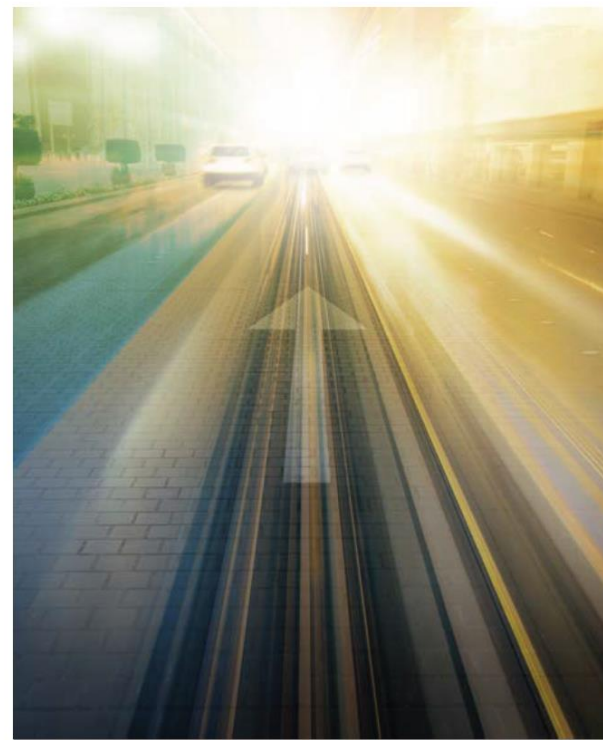
スタートアップ

VISIONを語り
広くの中へ発信



2030年に向けて

更年期でも男女が働きやすい未来実現



14.

女性のライフプランとキャリアの両立支援事業
(代表団体：株式会社ninpath)

子どもを望む、
ひとりひとりの道しるべ

ninpath

採択事業名

女性の ライフプランとキャリアの 両立支援事業

株式会社ninpath

中間報告

Strictly Confidential©ninpath.com



現在の日本

- 不妊治療は「最後の手段」
- 心身および経済的負担が大きく、高齢になるほど妊娠確率は低下

必要なこと

現時点の子供を望むか否かに関わらず、**ライフプランニング**が必要

- 妊孕性等を把握
- ライフプランを検討
- 将来を見据えた行動

求められること

- 不妊治療と仕事の**両立**
- 離職や雇用形態の変更を伴わない**就労環境の整備**
- 従業員に対するキャリア両立に関する**啓蒙活動**

1

for 中小企業

従業員ケアについて
社内整備の機会を提供

社内整備コンサルティング

利用可能な社内制度

- リモートワーク環境
- 休暇体制
- フレックス制度、時短勤務 など

担当者研修

不妊の知識

- 社会背景
- 企業と個人の課題 など

2

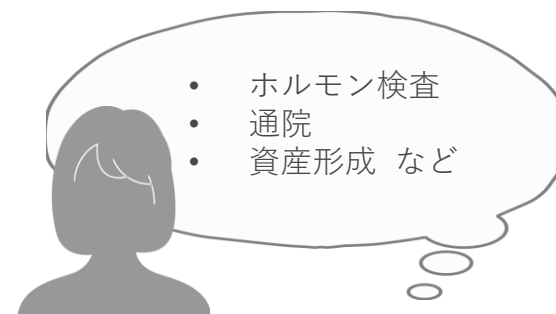
for 従業員

女性のライフイベント・キャリアへの
理解、その行動機会の提供

女性のライフイベント・キャリアへの理解の共有



女性のライフプランニングを促す機会の提供・支援



STEP

1

- ・ 中小企業へアプローチ
- ・ 実施計画策定支援
- ・ 助成金サポート



STEP

2

- ・ 計画に基づいた制度設計
- ・ 制度導入
- ・ セミナー実施
- ・ (AMH検査)

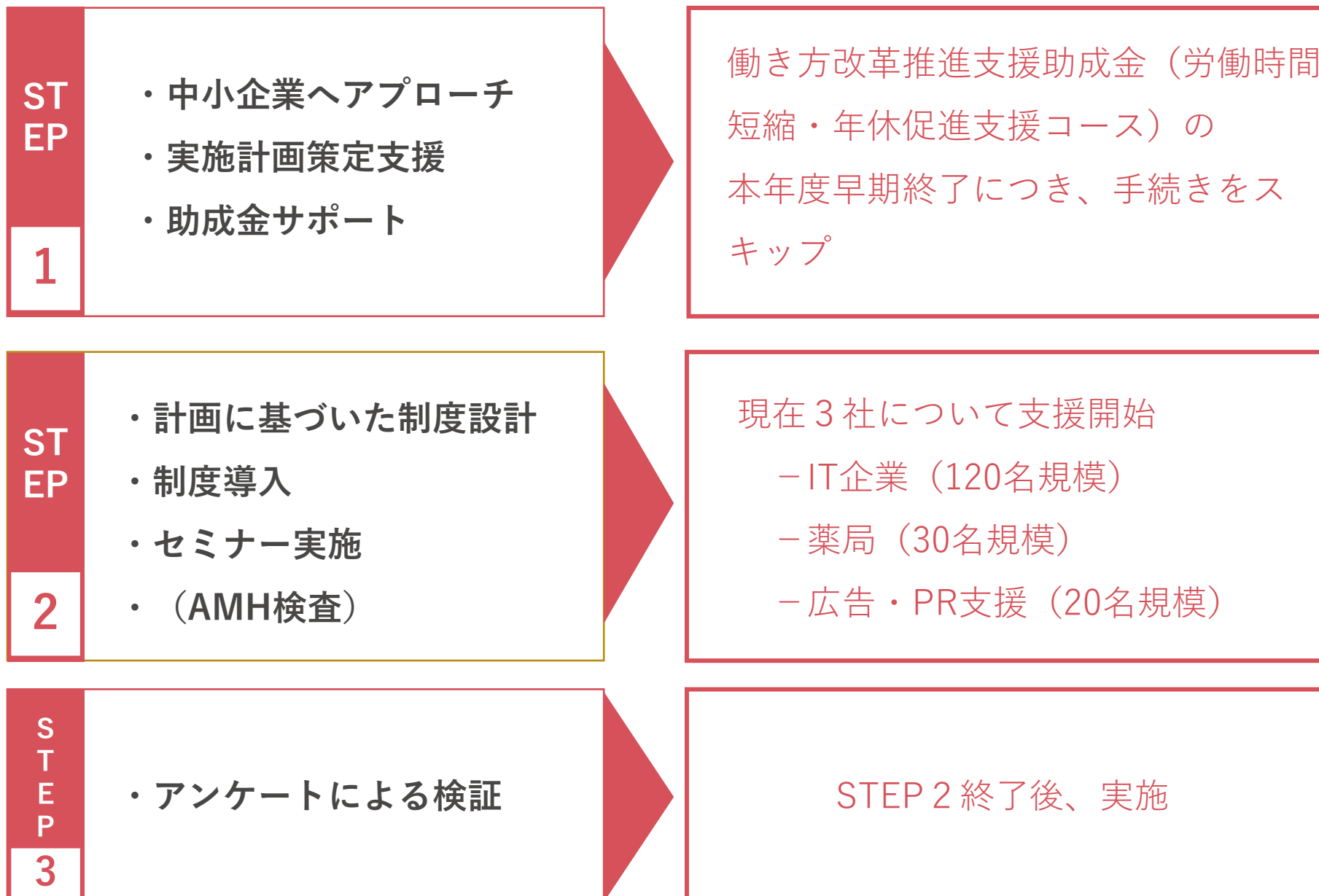


STEP

3

- ・ アンケートによる検証





助成金について

- ・ 助成金をきっかけに両立支援を前向きに検討する企業が多い
- ・ 認知度が低い（特に不妊治療休暇等でも活用可能という点）
- ・ 申請受理の評価観点がまだ統一されていない印象

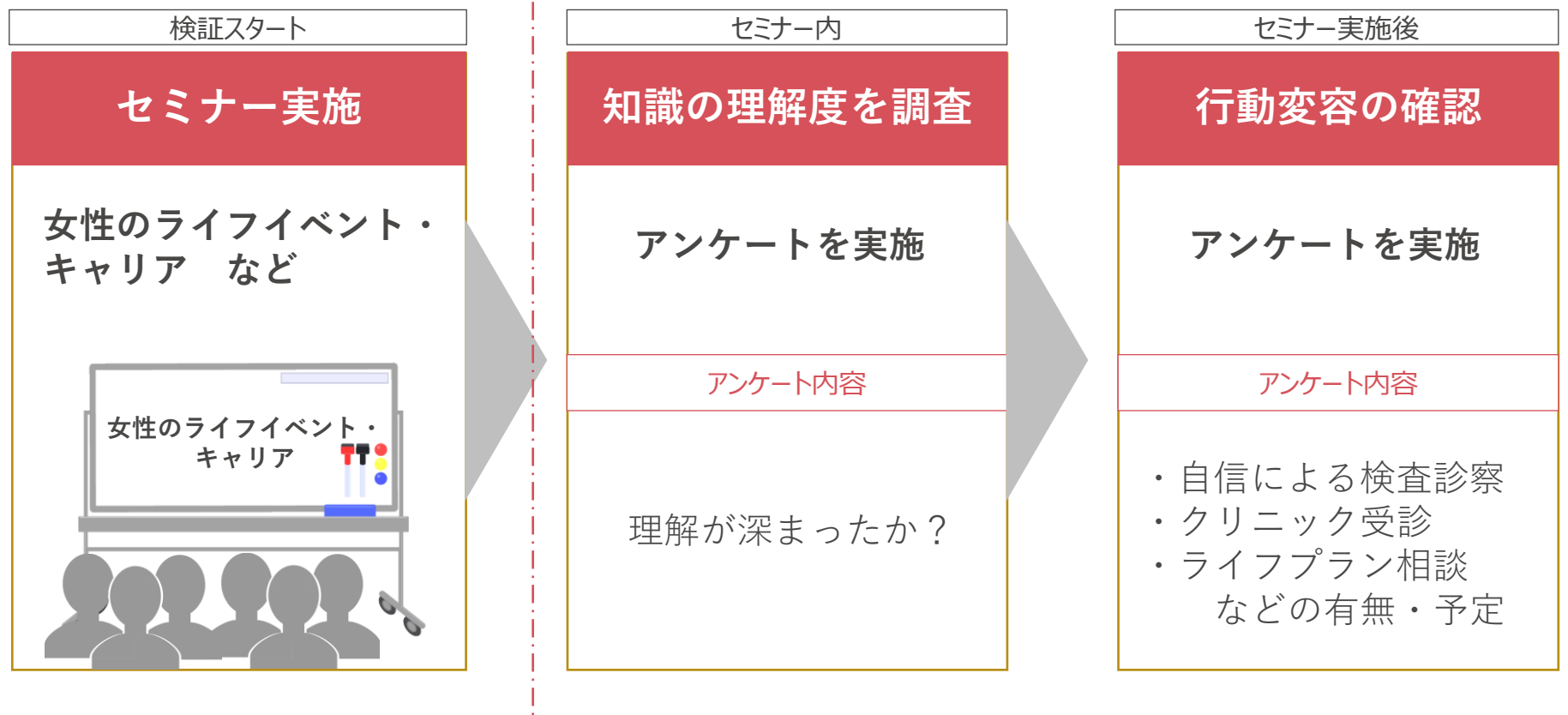
中小企業における不妊治療支援

- ・ 経営者の考え方によって大きく左右される
- ・ 自身や従業員に当事者や経験者がいると必要性を強く感じている
- ・ 「子どもを望まない」ことを選択した従業員への配慮
- ・ 業態や規模によって制度導入のハードルが様々（不妊治療以前の課題も）

検証

女性のライフイベントに関する理解が深まり、行動変容を促すことができたか

測定方法・順序



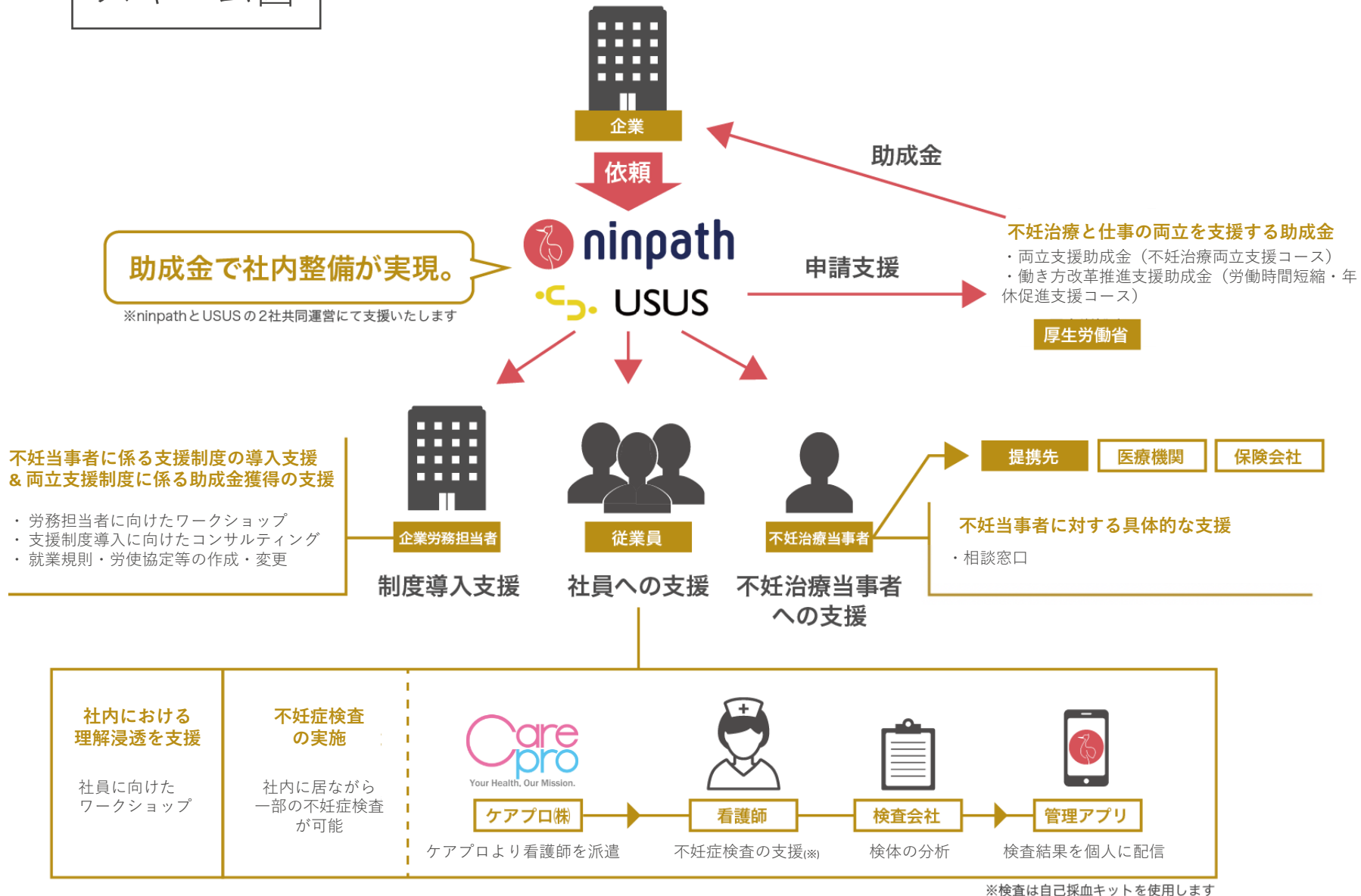


子どもを望む、ひとりひとりの道しるべ

- **会社名** 株式会社 ninpath
- **代表者** 代表取締役 神田 大輔
- **住所** 東京都港区新橋 1-12-9 7F
- **設立** 2020年3月
- **沿革**
2019 年より ninpath を開発
2020 年 3 月 株式会社 ninpath 創業、Web アプリ版を提供開始
2020 年 12 月 Android 版、iOS 版を提供開始
- **サービス** 『不妊治療可視化アプリ』 - 不妊治療の治療記録・管理・比較
『キャリア両立支援』 - 不妊治療と両立を支援する人材紹介サービス

【お問い合わせ窓口】 ninpath運営事務局 info@ninpath.co.jp

スキーム図



不妊治療退職による経済損失は 1,345 億円

不妊治療と仕事の両立支援

は重要な課題

不妊当事者のうち 6人に1人が退職(女性は4人に1人)

近年、晩婚化等を背景に不妊治療を受ける夫婦は約 5.5 組に1組。不妊治療経験者のうち 6 人に 1 人(女性は 4 人に 1 人)が仕事と両立できずに退職に至っており、不妊治療と仕事の両立支援は重要な課題。

不妊治療のために仕事を辞める「不妊退職」による国内の経済損失額が 1345 億 3363 万円と試算。(NPO法人Fine)

安定的な労働者雇用のために

職場環境づくりが求められている

企業にとっては不妊治療と両立できる環境づくりが急務

不妊治療中の従業員が働きやすいよう支援制度を設け、また不妊当事者に対して職場の理解を深める必要あり。

すでに大企業では離職理由として問題視しており環境整備に取り組んでいる。

国が助成金を設け

企業を支援

不妊治療と仕事の両立を支援する助成金「両立支援等助成金」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11909000/000764627.pdf>

対象

不妊治療のために利用可能な休暇制度・両立支援制度について環境整備に取り組み、休暇制度・両立支援制度を利用させた中小企業事業主に 28.5 万円<最大 36 万円>を助成。

- ① 不妊治療のための休暇制度(特定目的・多目的とも可)
- ② 所定外労働制限制度 ③ 時差出勤制度
- ④ 短時間勤務制度 ⑤ フレックスタイム制 ⑥ テレワーク

初婚の晩婚化

夫婦の初婚年齢は 夫:31.2 歳・妻:29.6 歳

2019 年の婚姻件数は 598,965 組(7 年ぶり増も令和婚に起因)

初婚の妻の年齢ピークは 20 年間 25 歳と変わらないが、

20 歳代前半の割合が減り、初婚年齢も遅くなっている。 ※総務省「2019 年の人口動態統計月報年計(概数)」

出産年齢
の高齢化

第 1 子出生時の母の平均年齢は 30.7 歳(5 年連続)

出生数を母の年齢(5 歳階級)別にみても、すべての年齢階級において前年より減少。

母の年齢が 40 歳以上の出生数は 5 万 840 人で、このうち第 1 子は 1 万 8,378 人。

40 歳以上の出生に占める第 1 子の割合は 36.1%。 ※厚生労働省「2019 年の人口動態統計」

出生率の低下

2019 年の出生率 1.36

出生数も右肩下がりて過去最少の 86 万 5234 人。特に 25 ~39 歳の落ち込みが大きい。

団塊ジュニア世代が 40 代後半に入り、出産期の人口自体も減っている。

※厚生労働省「2019 年の人口動態統計」

不妊治療
の現在

夫婦 18.2%5.5 組に 1 組が治療を行い 16 人に 1 人が体外受精児

個人差はあるものの、一般的には 30 歳を過ぎると自然妊娠する力は下がり始めると言われるが、晩婚化の影響もあり、5.5 組に 1 組の夫婦が不妊治療を行っている。

2017 年に誕生した 5 万 6 千人の子どものうち、16 人に 1 人が体外受精児とされる。

※2015 年「国立社会保障・人口問題研究所の調査」 ※日本産科婦人科学会

一人ひとりの身体に合わせた

治療が必要
+
時間と年齢が制限

医療機関を選ぶ基準がなく
暗中模索の中で

選択を迫られる

第三者機関がチェックした
医療機関の治療成績等の

公正な情報公開はない
(不要な治療のおそれ)

身体的負担

- 1ヶ月に3~6回の受診
- 痛みを伴う検査
- 体外受精は連日の採血+排卵手術等が必要
- 周期中、多い場合は毎日の自己注射
- 薬剤等の副作用

精神的負担

- 必ず妊娠できるわけではない
- ホルモンの影響や不安
- 自己否定感と多大なストレス
- 抑うつ状態になる可能性
- 周囲の無理解やプレッシャー

経済的負担

<高額な治療費>
平均費用 **134.2万円**

- 治療費総額 100万~200万円が24%
- 体外受精、顕微授精は1回で約50万円
- 経済的理由で躊躇・延期・断念が54%
- 女性の4人に1人が「不妊退職」
- 不妊退職による経済的損失は約1345億円

時間的負担

<長期的な治療>
平均通院期間**29.2ヶ月**

- 検査・通院時間の確保が必要
- 突発的な通院などでスケジュールが読めない
- 妊活期間が長くなる傾向
- 掛けた時間と比例する結果が生じるわけではない

15.

個人・企業のヘルスリテラシー向上と日本の8割の雇用を支える
ローカル経済圏でのフェムテック普及展開の仕組みの構築に向けた実証事業
(代表団体：株式会社 陽と人)



未来のわたしに
今のわたしが
できること



**個人・企業のヘルスリテラシー向上と日本の8割の雇用を支えるローカル経済圏での
フェムテック普及展開の仕組みの構築に向けた実証事業**

株式会社陽と人（ひとびと） 福島県国見町

デリケートゾーンケアブランド『明日 わたしは柿の木にのぼる』





柿にまつわる古来の知恵に着目した、デリケートゾーンのケアブランド

「明日 わたしは柿の木にのぼる」は、柿にまつわる古来の知恵に着目したデリケートゾーンケアブランドです。福島県国見町のあんぽ柿製造工程で廃棄されていた柿の皮から抽出した成分を活用することで、地域の持続的な発展も目指しています。



寝不足、不規則な食生活、疲労、免疫力の低下など、私たちの生活の乱れによって、デリケートゾーンの菌のバランスが崩れ、それがおりものの異常やかゆみなど、デリケートゾーンに症状としてあらわれます。そのため、**デリケートゾーンは「自分の心とカラダを知るバロメーター」**になります。

1日10秒でもデリケートゾーンケアを通して、全ての女性をご自身をいたわるきっかけになりますように。



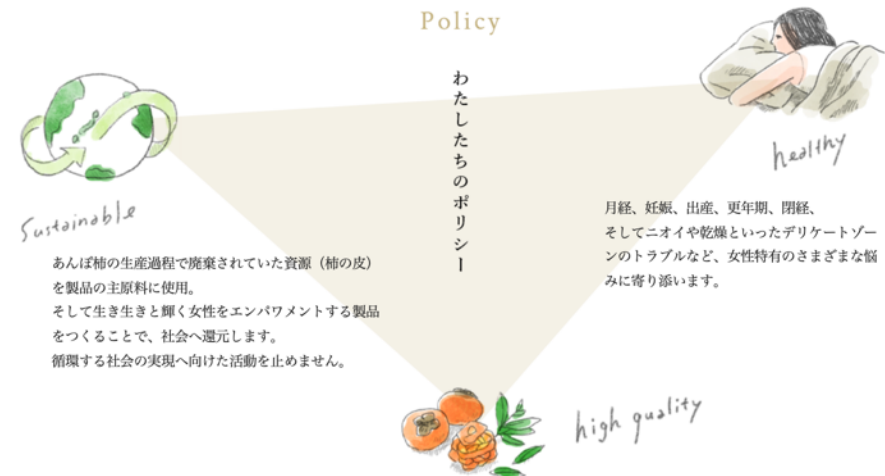
心も、カラダも、生き方も、これまで歩んできた道のりが、今のわたしを構成している。わたしが選んだものすべてが、未来のわたしをつくっていく。

人生は選択が続くけれど、いつも「正解」なんてだせるわけがない。失敗だつてご愛嬌。つまずいたら、立ち上がればいい。

疲れてしまつたら、休めばいい。

どんな時も、わたしらしく。わたしはわたしを、愛しつづけていたい。自然体でいられれば、毎日を笑顔で過ごせるから。

前を向いて、空を見上げて、木にのぼる自由が、わたしにはある。



石油系界面活性剤をはじめ、防腐剤や鉱物油も無添加。
厳選した植物由来成分*を用いたシンプルな処方にごこだわり、国内工場で製造を行っています。



- 「ヘルスリテラシー」「フェムテック」。昨今よく耳にする言葉です。本当はこれらは、私たちが健康な毎日を過ごすために誰しも必要不可欠な概念ですが、体調を崩してから問題意識を持って知る、地方ではタブー視されていてそもそも言葉も認知されていないなど、どうしても日常の中で自分ごとにできないため、情報へのアクセスができなかったり、正しい知識を知る機会に出会えなかったりしている現状があります。そう、「一部の関心のある方」しか知らないし、アクセスしようと思えないのです。
- 私たちは、この状況を改善したいです。**都会も地方も大企業も中小企業も、日本の全ての人たちが女性の身体に関する正しい知識を持った上で、自分で選択できる、パートナーと話せる、身体を害さないで仕事ができる、そんな社会をつくりたい。**
- そして、デリケートゾーンケアブランド（『明日 わたしは柿の木にのぼる』）という導入ハードルが高くない「日常のケア」製品を持っているからこそ届けやすい情報もあると思います。また、福島という地方に根付いた企業だからこそ地方で連携して取り組むことができる環境があると思います。
- だから、私たちがこれらに取り組むべきだと考えています。

ヘルスリテラシーにアクセスすべき女性が
知らない現状の改善

東京と地方の情報・製品・サービス
アクセス格差改善

Concept: 未来のわたしに今のわたしができること

※コンテンツには「ヘルスリテラシー」や「フェムテック」という言葉は使用しない。
マジメ一本ではなく、遊びを入れた「楽しい」「面白い」「ワクワク」を入れ込む。

知る・興味を持つ



- フェムテックに関心がなくても日常生活で知ってもらえるよう、日用品店舗や生活関連施設との連携した取組の実施。エステ、マッサージなど、未病者が利用する施設との連携した取組の実施。など
- 上記のような施設でお客様にヘルスリテラシー向上に資する情報をお伝えできるように、店舗人材育成プログラムの制作。
- 「明日 わたしは柿の木にのぼる」で培った知見やデータも活かして、女性の身体と心にまつわる科学的根拠に基づいた基礎情報を小冊子（無料配布）として作成。
- 企業への福利厚生として製品の導入。

学ぶ・行動する



- 「明日 わたしは柿の木にのぼる」で培った知見・データや企業とのネットワークを活かして、働く女性のヘルスリテラシーに関する講座・研修プログラムを制作。「講座・研修」は「つまらない」「面倒くさい」という印象が強いため、思わず笑ってしまったり「よし、やってみよう」と思えるようなワクワクする新たな仕掛けを実施予定。

【例】

身体を知る

- ・ 女性ホルモンなど女性特有の特徴を学ぶ
- ・ 女性特有のライフイベントを学ぶ
- ・ 仕事への影響を把握する
- ・ 日々の仕事への影響を把握する
- ・ 長期的なキャリア形成への影響を把握する

自分に合った方法を取り入れる

- ・ヘルスリテラシー向上を図る

- キャリアコンサルタントの方々と普及にあたっての連携を構築。

地方での仕組みづくり



- 単に単発のイベントやムーブメントのみではなく、長期的に地方で女性活躍を推進するためのフェムテック活用を「仕組み」としてどう構築していくことができるか、が大切。これが移住促進にも資する。
- そのため、福島県をはじめとした地方での「仕組み」づくりとしてできることを、金融機関、メディア、自治体、地元企業の皆様と意見交換を実施する。
- 短期的には、意見交換と各種イベント等での連携を検討中。



生理の回数って増えてるの?!

月経カップってなに?!

想像以上に働く女性も男性も

生物学的女性の働く上での「ヘルスリテラシー」に関する知識を知らない。

生物学的女性の「キャリア」と「身体の仕組み」が教育上紐づいていない日本。

更年期って誰でもくるの?!

男性上司の理解を得られない

①既存のフェムテックサービスとの連携

②小冊子の配布や各種イベントでの連携

③講座・研修プログラムの試行的導入

④地方での女性活躍・それを踏まえた移住促進施策の仕組み構築における連携

「明日 わたしは柿の木にのぼる」
instagram



まずは意見交換からでもご連絡お待ちしております。

info@hito-bito.jp

16.

自治体と連携した

1. 妊活・不妊治療の当事者向けサポート
2. 妊活・不妊治療を支える周囲のサポート啓蒙
(代表団体：株式会社ファミワン)

自治体や企業のみなさまと連携し
フェムテックを活用して働く女性の健康を
サポートし就業継続を支える実証事業

famione

株式会社ファミワン

会社概要

社名	株式会社ファミワン
URL	https://famione.com
住所	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-14-6-5F
設立	2015年6月1日
事業内容	インターネットコンテンツの企画、開発、運営及びコンサルティング
従業員数	30名（業務委託やアルバイト含む）
代表	代表取締役 石川 勇介
略歴	2006年3月慶應義塾大学経済学部卒業。飲食系ベンチャー企業のチャイナクイック、ERPパッケージベンダーのワークスアプリケーションズを経て、ヘルスケアビジネスを行うエムスリーに2015年5月末まで勤務。コンシューマー向け新規事業「AskDoctors評価・開発支援サービス」の担当として社長直下で企画、営業、運用まで全て実施。広告代理店とも連携し、花王、サントリー、森永乳業、ベネッセなど大手企業の商品認定を行い、TVCM、新聞雑誌、店頭による展開などを推進。その後、私生活における約一年間の妊活で強く感じた課題を解決するため、2015年6月にファミワンを創業。妊活・不妊領域に特化し、コミュニティ、メディア、イベント開催など啓蒙を含め展開中。

掲載実績例

日本経済新聞

フジサンケイ ビジネスアイ

赤ちゃんが欲しい

WOMAN EXPO TOKYO 2016 N IDEA

PRESIDENT WOMAN Online
よりよく働く、生きる、輝く！ 女性の応援サイト

ウートピ wotopi

美ST

TC TechCrunch

BIZ&TECH Terminal
installing insights

M mamanoko

Open Network Lab

Morning Pitch

サービスの紹介

LINEを活用した妊活・不妊治療のパーソナルサポートを
不妊症看護認定看護師や心理士などの専門家チームと提供



妊活LINEサポート ファミワン

不妊症看護認定看護師、臨床心理士、助産師、培養士、ピアカウンセラーなど
妊活の専門家がLINEを使って、妊活をサポートします。

- 登録ユーザー
2万人
突破
※2020年11月現在
- 次もアドバイスを
受けたいと
93%の
ユーザーが回答
※2020年11月現在
- 医療機関・企業・
行政へ
15社
提供・連携
※2020年11月現在

妊活専門家による
無料サポートを受けてみる

LINE いますぐLINEで無料相談



10:25 アドバイス
https://famione-...in.freemoveapp.com
famione
病院選び相談
(不妊症看護認定看護師)

病院選びのご相談ありがとうございます。
いくつかの病院を挙げてさせていただきます。あくまで目安ですので、あげた病院に必ず行かなければならないわけではありません。決めるのはお2人です。お2人が大切にされるポイント、優先順位に沿って、決められるといいですね。2人にとって1番の病院を見つけることが何より大切になります。
「あの時この病院に行っておけばよかった」と思わないために、「この病院に行ってきた」と思えるような病院と出会えると良いですね。
【悩んでいるとき】、【決められないとき】に役立ちそうな【決めることのコツ】をお伝えします。よろしければご質問なりご自身にあてはめてお考えになってみてくださいね。
【決めることのコツ】

主な提供、研究など

小田急電鉄、mixi等への
企業の従業員向け福利厚生への提供



小田急電鉄の駅現業（監督者層）に向けた講演

当日の講演の様子



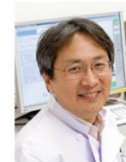
東京大学等との
多施設共同の臨床研究の実施



スタッフ紹介
大須賀 稯 Yutaka Osuga



プロフィールと略歴



専門分野 生殖内分泌
出身大学 東京大学
卒業年度 昭和60年
出身地 大阪府

保険契約者や新婚夫婦への
妊活サポートの提供

CONTACT / お問い合わせ

← WORKSHOP LIST

■8月12日TRUNK(SHOW)■ 今から考える自分の身体。妊活について正しく知ろう

週末開催 午前スタート 午後スタート 有料 健康 夫婦生活 ライフデザイン

開催期間 : 2018.06.23 (Sat) ~ 2018.08.12 (Sun)
開催場所 : TRUNK(HOTEL)
定員 : 20名
参加費 : 4,000円/名
応募締切 : 開催日の2日前まで

フジテレビにて放送された
テレビドラマの医療監修

隣の家は青く見える

どんな夫婦も、
悩みを隠して、
笑っている。

毎週木曜夜10時放送 Every Thursday 10:00 P.M.

フジテレビ

妊活カップル

五十嵐奈々 五十嵐大器

— 一家の購入を機に妊活をスタートした夫婦 —

AGENDA

① 当初の事業計画

② 事業計画に基づき実施したこと

③ 事業を実施して分かってきたことや課題

④ 今後実施すること

実証実験の概要

自治体や企業と連携することにより、
幅広い妊活・不妊治療の負担軽減に向けたサポートを実施

16	自治体と連携した 1. 妊活・不妊治療の当事者向けサポート 2. 妊活・不妊治療を支える周囲のサポート啓蒙							
	テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
実施体制	代表団体	株式会社 ファミワン					実証地域	全国
	参加団体	-						
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県横須賀市 (株)Public dots & Company 		<ul style="list-style-type: none"> 東京都杉並区 群馬県邑楽町 				
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 当事者および家族やパートナー 妊活前のカップル 同僚、上司等 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> LINEを使った妊活・不妊治療相談の提供 妊活をしている方、不妊治療を受ける方、これから妊活をしようと考えている方など当事者をサポートするセミナーを自治体と連携して実施 				

実証実験の内容とポイント

今回、LINE妊活サポートと様々な観点でのセミナーを通して妊活における「当事者」と「社会全体」への働きかけを検証

LINE妊活サポート

→妊活や不妊治療を受けているカップル、月経や更年期などの困りごとを抱えている女性へサポートを行っています。また、男性や支える立場からの利用も可能です。本実証実験では全5回のセミナー参加者へ有料プランを無料で提供いたします。

自治体と連携する一般の方向けセミナー

→様々な状況下におかれている方に対して、啓発の意味も込めた全5回のセミナーを開催します。A~Eは現時点の予定。

- A.現在、未来の妊活当事者に対する、仕事と両立する観点からもサポートするセミナー。
- B.管理職、職場の方向け妊活する人を取り囲む方、サポートする側へのセミナー。
- C.子どもや保護者の方への性教育を通し、自分の身体を守ることや妊娠妊活の知識を学ぶセミナー
- D.更年期を軸とし、女性にも男性にも起こりうる身体や心の変化についてのセミナー。
- E.生理の際に起こるトラブルのセルフチェックや対処法など女性の困りごとについてのセミナー。

自治体担当者とのワークショップ(ファミワン導入新規開拓)

→妊活・不妊治療支援に関する施策を進めるにあたっての自治体課題を参加者同士でシェアし合い、テクノロジー（フェムテック）や民間のチカラを活用して、働く女性の支援や、仕事との両立支援などをサポートするワークショップを開催します。

実証実験のスケジュール

セミナーとワークショップを並行で進行し、
参加者/利用者が実証実験を経てどう変化したかを集計し検証

	セミナー+サービス提供	ワークショップ
2021年		
7月	<ul style="list-style-type: none">・セミナー企画	
8月	<ul style="list-style-type: none">・セミナー告知開始 A,B,C	<ul style="list-style-type: none">・ Public dots & Company による公募告知開始・公募開始
9月	<ul style="list-style-type: none">・セミナー開催 A・セミナー告知開催 D,E	<ul style="list-style-type: none">・公募締め切り
10月	<ul style="list-style-type: none">・セミナー開催 B,C・セミナー参加経由ファミワン	<ul style="list-style-type: none">・自治体選定
11月	<ul style="list-style-type: none">利用者アンケート A・セミナー開催 D,E	<ul style="list-style-type: none">・ワークショップ開催
12月	<ul style="list-style-type: none">・セミナー参加経由ファミワン	
2022年		
1月	<ul style="list-style-type: none">利用者アンケート B,C・セミナー参加経由ファミワン	<ul style="list-style-type: none">・ワークショップ後アンケート
2月	<ul style="list-style-type: none">利用者アンケート D,E	

※セミナーは全5回開催を予定
※セミナー参加には直後、セミナー経由ファミワン利用者は二ヶ月後にアンケートを配信

AGENDA

- ① 当初の事業計画
- ② 事業計画に基づき実施したこと
- ③ 事業を実施して分かってきたことや課題
- ④ 今後実施すること

AGENDA

①当初の事業計画

②事業計画に基づき実施したこと

- ・開催日時や登壇者などの企画確定
- ・告知用チラシなどの制作と告知
- ・セミナーの開催

③事業を実施して分かってきたことや課題

④今後実施すること

開催日時や登壇者などの企画確定

プロジェクト全体、全5回の各セミナー、ワークショップのそれぞれの企画を確定し、制作物着手

この事業は経済産業省の「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」に採択されています 

行政課題解決セミナー

フェムテックで行政課題を解決する
妊活とヘルスケアセミナー

自治体 × フェムテック

街ぐるみの健康課題解決

月経、妊活、更年期、性教育。これらは性別、年齢にかかわらず誰もが当事者になる課題で、誰もがサポート者になることができます。正しく知ることは自分を含む自分の大切な人を守ることに繋がります。

わたしたちファミワンは、課題の根本解決に必要な知識・情報に誰でもすぐにアクセスでき、安心して健やかに暮らせる社会にしたいと考えています。

01 10/11 12:00 - 13:00
「知る」の第一歩へ
「生理の課題」解決ヒント
月経トラブルの知識を学び、自分自身の健康を見つめ直す。生活習慣の改善や受診など、適切な対処方法を知って行動できる。

02 10/25 12:00 - 13:00
男女の「更年期」
本当に必要なサポート&資源は？
身体と心、両方の視点から更年期の知識を学ぶ。数年後の生活をイメージし、今から準備できることを考える。

03 11/8 12:00 - 13:00
妊活を知る
他人事から自分事へ
妊活・不妊治療の基礎知識を理解し、妊活、出産、育児と同様にライフプランの1つとして考えられるようになる。

04 11/22 月 12:00 - 13:00
管理職向け！
組織のヘルスサポート基礎知識
更年期や月経というプライベートでセンシティブな問題の基礎知識を理解する。相談しやすい関係性を作るために、当事者の困りごとやコミュニケーションの取り方を知る。

05 12/6 12:00 - 13:00
子どもの権利を守るまっすぐり
やさしい性教育
からだごころ、両方の側面から性教育を考える。子どもや大切な人と一緒に話せる、性教育の重要なトピックを理解する。

この事業は経済産業省の「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」に採択されています 

講師・VTR出演

10/11, 11/8, 12/6
西岡 有可 先生
不妊症看護認定看護師 (株式会社ファミワ)

10/25, 11/22, 12/6
戸田 さやか 先生
公認心理師・臨床心理士 (株式会社ファミワ)

10/11 VTR出演
宋 美玄 医師
丸の内森レディースクリニック院長

10/25 VTR出演
宗田 聡 医師
広尾レディース院長、茨城県立医療大学客員教授、東京慈恵会医科大学講師 (非常勤)

11/8 VTR出演
松本 玲央奈 医師
松本レディース リプロダクションオフィス 院長

セミナー概要

●場所 オンライン開催

●参加費 無料

ご予約はこちら

下記のウェブサイトまたはQRコードから参加の申込み

<https://form.run/@femtech-seminar>

オンラインセミナー参加方法

STEP1 申込受付のメールを受信
開催前日までに、受講の手順とともにZOOM URLをメールでご案内します。
※前日の17時までに届かない場合は、セミナー直前にZoomアプリをインストールしてください

STEP2 (当日) 受講に必要な機器を準備
オンラインセミナーには講師のPC画面を共有する形で開催いたします。受講に必要なPC・スマートフォン・タブレット端末やイヤホン等をご準備ください。

STEP3 (当日) オンラインセミナーに参加
申込受付メールに記載されたZOOM URLをクリック。またはWebブラウザのアドレスバーにコピー&ペーストしてください。
Zoomのシステムがログインログが表示されたら[ZOOMミーティングを開く]をクリックしてください。ダイヤログが表示されない場合は、画面左上の指示に従い[ZOOMをダウンロードして実行]を選択してください。

セミナーに関するお問い合わせ：株式会社ファミワ <https://famione.co.jp/contact/>
住所：〒150-0002東京都渋谷区渋谷2-14-6 南青山事務所 〒107-0062東京都港区虎ノ門3-6 南青山Hビル7F 東京営業部
※本事業は2020年に発着・開設が立ち上がり、働き方改革推進が主眼点となり、将来的に実施を行っています

famione

開催日時や登壇者などの企画確定

セミナー開催に向けてVTR登壇を依頼する医師の決定と
クリニックなどでの事前撮影の実施

松本 玲央奈 医師



宗田 聡 医師



宋 美玄 医師



告知用チラシなどの制作と告知

Public dots & Company社の「逆プロポ」を活用したワークショップに関するプレスリリースを配信

famione

報道関係各位

2021年8月6日
株式会社ファミワン

官民共創マッチングプラットフォーム「逆プロポ」を活用した自治体との共創フェムテックを用いて、妊活×まちづくりで暮らしやすい/働きやすい街をともに考える公募を開始

「子どもを願うすべての人によりよい、幸せな人生を歩める社会をつくる」をビジョンに掲げ、LINEを活用した妊活コンシェルジュサービス「famione(ファミワン)」<https://jp.famione.com/>を提供する株式会社ファミワン(本社:東京都渋谷区、代表取締役:石川 勇介、以下当社)は株式会社Public dots & Company(本社:東京都渋谷区、代表取締役:伊藤 大貴、以下「PdC」)と株式会社スカラ(本社:東京都渋谷区、代表取締役:榎野 憲克、以下「スカラ」)が提供する、官民共創マッチングプラットフォーム「逆プロポ」を活用して、フェムテックを用いて、妊活×まちづくりで暮らしやすい/働きやすい街をともに考える自治体の逆公募を開始しました。
プロジェクト詳細ページ:<https://gvaku-propo.com/project/project006>

「逆プロポ」とは、企業が関心のある社会課題を提示し、それに対して自治体が課題解決のための企画やアイデアを提案する共創サービスとなっており、アイデアを出す側と選ぶ側を従来と逆転させた画期的な仕組みです。「逆プロポ」サービスの第4弾のプロジェクトとなる本件は、地域課題や住民との接点を持つ地方自治体と連携して、昨今の社会課題となっている妊活や不妊治療に取り組む方への支援を進めるため、PdCとスカラが全国の自治体との間に入って公募するものです。当社としては、経済産業省による令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」の採択をうけ、間接補助事業として実施いたします。



■官民共創マッチングプラットフォーム「逆プロポ」応募概要



妊活×まちづくりの視点で、暮らしやすい/働きやすい街を一緒に考えたい

■ 逆公募実施の背景

妊活・不妊治療支援の保険適用拡大や、子ども庁の創設などが議論され、わが国での少子化対策、子ども・家族支援がさらに前進するトレンドにあります。これまで妊活・不妊治療においては家庭の経済的負担の問題や、地域医療の問題などがハードルとなり、一人ひとりの希望を阻害したり、自治体が進めようとする施策の課題となってきました。

ファミワンでは、最新の情報通信テクノロジーと、不妊症看護認定看護師や臨床心理士などの専門性を有する人材のアナログ性を掛け合わせて、オンラインでの妊活コンシェルジュ事業などのサービスを展開してきました。

今回、自治体とファミワンの協働により、それぞれが持つ知見や情報、公共性を生かして、働く女性の支援や仕事との両立を推進し、妊活×まちづくりの視点で、暮らしやすく、働きやすい地域づくりを一緒に考えます。



■ 照会先・提出先
「逆プロポ」事務局 株式会社 Public dots & Company メールアドレス ppc@publicdots.com

■ プロジェクト詳細・応募ページ
<https://gvaku-propo.com/project/project006>

告知用チラシなどの制作と告知

本補助金採択事業に関するプロジェクト全体についての プレスリリースの配信

famione

報道関係各位

2021年10月6日
株式会社ファミワン

経産省「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」採択事業 フェムテックを活用して働く女性の健康を支援するため 自治体や企業と「妊活とヘルスケアプロジェクト」を開始

「子どもを願うすべての人によりよい、幸せな人生を歩める社会をつくる」をビジョンに掲げ、LINEを活用した妊活コンシェルジュサービス「famione(ファミワン)」<https://jp.famione.com/>を提供する株式会社ファミワン(本社:東京都渋谷区、代表取締役:石川 勇介、以下当社)は、経済産業省 令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」における補助事業者として採択されたことをお知らせいたします。

PwCコンサルティング合同会社(東京都千代田区、代表執行役 CEO:大竹 伸明)が経済産業省からの採択を受け、令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」を活用し、実証事業を実施するフェムテック企業、導入企業、医療機関、自治体等からなる連携体等による補助事業者の公募を、2021年4月28日から5月28日まで行っていました。

外部有識者による審査委員会での審査を経て、応募総数81事業中20事業が決定し、その中にファミワンの「自治体と連携した1.妊活・不妊治療の当事者向けサポート 2.妊活・不妊治療を支える周囲のサポート啓蒙」が採択されています。

この事業は経済産業省の「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」に採択されています

行政課題解決セミナー

フェムテックで行政課題を解決する
妊活とヘルスケアプロジェクト

自治体・企業 × フェムテック

オンラインセミナー開催、プレミアムプラン提供、ワークショップ開催を無料で実施

講師・VTR出演

西岡 有可	戸田 さやか	宋 美玄	宗田 聡	松本 玲央奈
-------	--------	------	------	--------

famione 株式会社ファミワン <https://famione.com/local/>

フェムテックを活用して、働く女性の健康をサポートし就業継続を支える

【実証事業の背景】

企業価値の向上を実現するにあたっては、ダイバーシティ経営などの手法を用い、女性を含む多様な人材の活躍を実現していくことが求められています。妊婦・出産や女性特有の体調の変化など、女性がライフステージに応じて直面する課題のキャリアへのインパクトは大きく、例えば厚生労働省の平成29年度の調査*1によると、不妊治療をしている・したことがある女性のうち、不妊治療と仕事を両立できず、離職した・雇用形態を変えた、または不妊治療をやめた人の割合は42.8%となっています。

女性が望むキャリア形成や職場での活躍を実現するためには、これらのライフイベントを迎えながらも、個々が希望する形に可能な限り近づけていくための工夫が必要となります。その具体的な方法のひとつとして期待されているのが「フェムテック」の活用です。

【実証事業の概要】

実証事業において経済産業省から交付される補助金は、フェムテックなどの製品・サービスを活用し、フェムテックを提供する企業、導入する企業、医療機関、自治体などが、個別にまたは連携して実施する、妊婦・出産などのライフイベントと仕事の両立やヘルスリテラシーの向上など、個人のウェルビーイング実現に向けた事業について、その経費の一部を補助するものです。

*経済産業省 2021年4月28日

フェムテックを活用して、働く女性の健康をサポートし就業継続を支える仕組み作りを応援します！

<https://www.meti.go.jp/press/2021/04/20210428003/20210428003.html>

*PwCコンサルティング合同会社 2021年4月28日

経済産業省 令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」における補助事業者の公募開始について

<https://www.pwc.com/jp/ja/news-room/femtech-public-offer.html>

ファミワンによる採択事業の概要

妊活とヘルスケアプロジェクト

自治体・企業 × フェムテック

街ぐるみの健康課題解決

01 10/11 12:00-13:00
「知る」の第一歩へ
「生理の課題」解決ヒント
月経、妊活、更年期、性教育。これらは性別、年齢にかかわらず誰もが当事者になる課題で、誰もがサポートになることができます。正しく知ることは自分を含む自分の大切な人を守ることに繋がります。
わたしたちファミワンは、課題の根本解決に必要な知識・情報を誰でもすぐにアクセスでき、安心で軽やかに暮らせる社会にしたいと考えています。

02 10/25 12:00-13:00
女性の「更年期」
本日に必要なサポートと資源？
身体と心、両方の視点から更年期の知識を学ぶ。更年期の生活をイメージし、今から準備できることを知る。
本日に必要なサポートと資源を知る。

03 11/8 12:00-13:00
妊活を知る
他人事から自分事へ
妊活・不妊治療の基礎知識を理解し、妊婦、組織、育児と関係するライフイベントの1つとして考えられるようになる。

04 11/22 12:00-13:00
管理職向け！
組織のヘルスサポート基礎知識
更年期や月経などのライフイベントでメンタルや肉体的基礎知識を深める。組織内やしやすい環境を作るために、管理者の知識やコミュニケーションの取り方を知る。

05 12/6 12:00-13:00
子どもの権利を守れるまらづくり
やさしい性教育
からだのしくみや生理や月経から性教育を考える。子どもや大切な人と一緒に、性教育の重要性を知り、実践する。

講師・VTR出演
西岡 有可
戸田 さやか
宋 美玄
宗田 聡
松本 玲央奈

セミナー講師紹介

講師・VTR出演

10/11, 11/8, 12/6
西岡 有可 先生
不妊症看護認定看護師 産科産科フェリス学院

10/25, 11/22, 12/6
戸田 さやか 先生
公認心理師・臨床心理士 株式会社ファミワン

10/11 VTR出演
宋 美玄 医師
大の内の高レディスクリニック 院長

10/25 VTR出演
宗田 聡 医師
公認心理師・臨床心理士、茨城県立医療大学客員教授、東京慈恵会医科大学講師 (産科)

11/8 VTR出演
松本 玲央奈 医師
松本レディーズ リプロダクティブクリニック 院長

セミナー概要

- 場所 オンライン開催
- 参加費 無料

ご予約はこちら

下記ウェブサイトまたはQRコードから参加の申込み

<https://form.run/@femtech-seminar>

妊活コンシェルジュ「famione(ファミワン)」サービス内容

LINEを活用し、専門家のサポートをいつでも気軽に匿名で受けることが可能に

妊活コンシェルジュ「ファミワン」(<https://jp.famione.com/>)は、妊活に取り組むすべての方を支える、LINEを活用したパーソナルサポートサービスです。不妊症看護認定看護師や臨床心理士、培養士など、多くの専門家によるアドバイスを受けることができ、妊活を意識し始めたばかりのタイミングから、病院選びや治療中までのあらゆる過程をサポートしています。

2018年9月より、法人や自治体向けに提供を開始。小田急電鉄やミキシグループでの福利厚生導入、ソニー、全日本空輸株式会社(ANA)、伊藤忠労働組合などへのセミナー、そして、神奈川県横須賀市や東京都杉並区、群馬県邑楽町への「妊活LINEサポート事業」を提供しています。

*本サービスは医療行為ではないため、診断や処方はいりません。

<会社情報>

株式会社ファミワン

所在地 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-14-6 西田ビル5F

代表者 代表取締役 石川 勇介

設立日 2015年6月1日

URL <https://famione.co.jp/>

- ▼ サービス紹介サイト <https://jp.famione.com/>
- ▼ 自治体向けサポート案内サイト <https://famione.com/local/>
- ▼ 企業の福利厚生サポート案内サイト <https://famione.com/benefit/>

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社ファミワン 広報担当 Mail: info@famione.com TEL:080-2243-6995

セミナー開催

予定通り10/11に第一回、10/25に第二回を開催
(2021/11/5現在)



AGENDA

- ① 当初の事業計画
- ② 事業計画に基づき実施したこと
- ③ 事業を実施して分かってきたことや課題
- ④ 今後実施すること

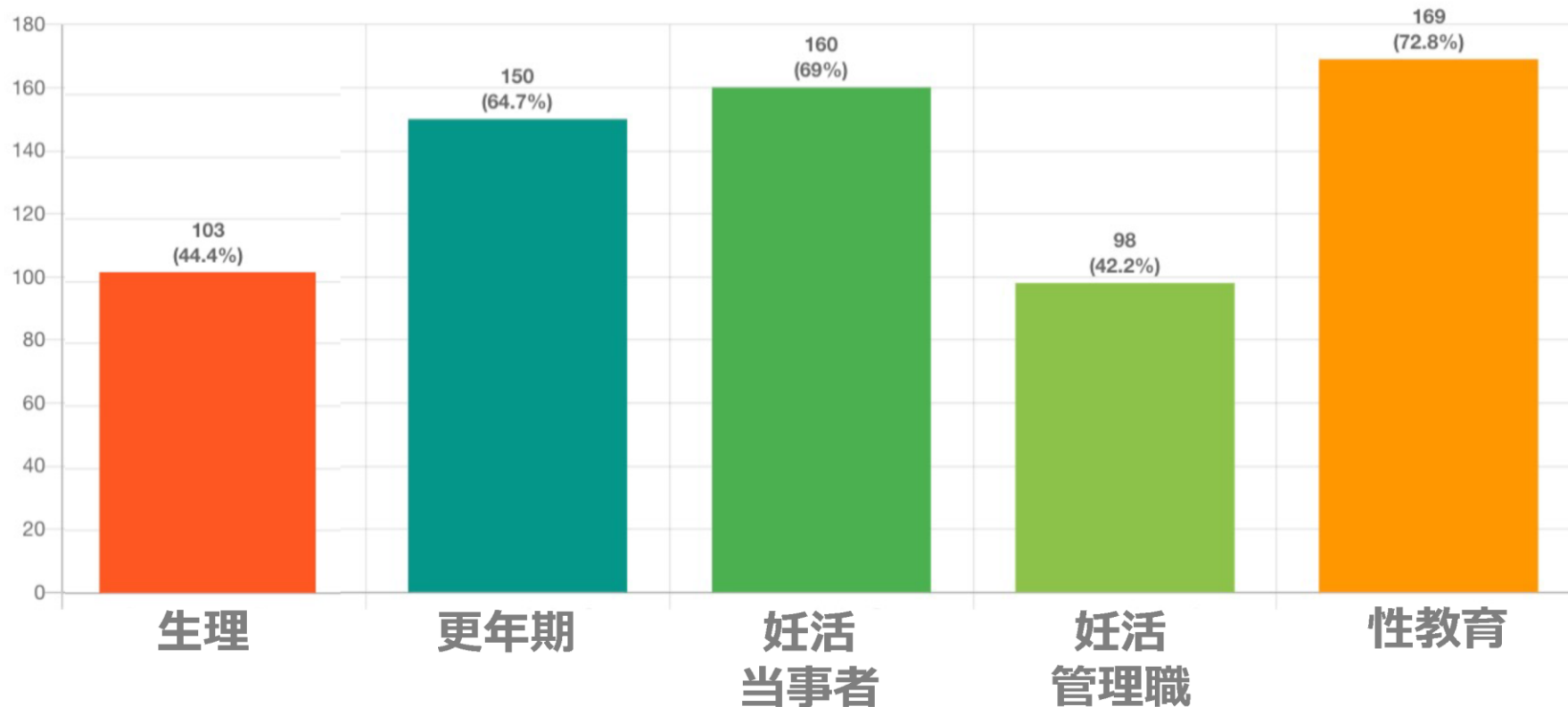
AGENDA

- ① 当初の事業計画
- ② 事業計画に基づき実施したこと
- ③ 事業を実施して分かってきたことや課題
 - ・ 五回のセミナーの申込状況
 - ・ 申込のあった自治体の全国分布
 - ・ 本事業の個別連携先自治体
 - ・ LINEサポートの登録数
 - ・ 「逆プロポ」ワークショップの開催
- ④ 今後実施すること

全五回のセミナー申込状況

生理・更年期・性教育・妊活当事者・妊活支援者と
それぞれバランス良く申込みあり

回答数: 232

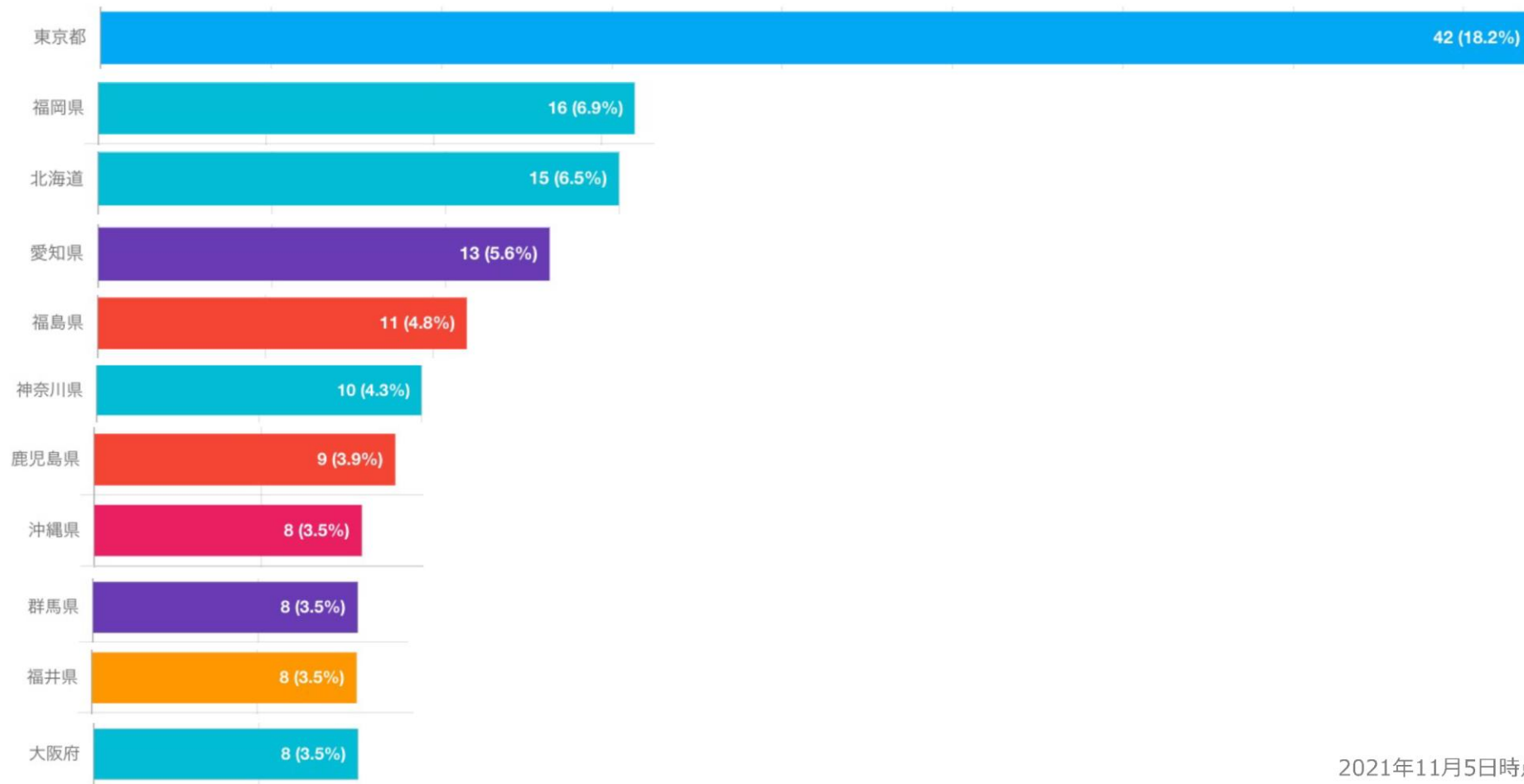


2021年11月5日時点

CONFIDENTIAL

申込のあった自治体の全国分布

全国42都道府県から参加申込があり、自治体職員の参加だけでなく、一般や議員の方も参加



2021年11月5日時点

CONFIDENTIAL

本事業の個別連携先自治体

広島県三原市が協力団体となり、個別の連携を開始

経産省「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」採択事業
広島県三原市と連携して、お住いの方やお勤めの方向けに
「子育て支援」・「女性活躍」の取り組みを開始します



X famione X



経済産業省



三原市にお住まい、または三原市で勤務されているみなさまへ

妊活とヘルスケアセミナー

妊活・不妊治療の基礎知識から、
更年期や月経のヘルスケアサポートまで不妊治療の専門家がお話します。



○妊活オンラインセミナー 『妊活を知る 他人事から自分事へ』

- (1) 日時 11月8日(月) 12時~13時(全国対象)
12月11日(土) 13時30分~14時30分(三原市独自開催)
- (2) 対象 どなたでも参加できます
- (3) 講師 不妊症看護認定看護師 西岡 有可さん
VTR出演 松本レディース リプロダクションオフィス院長
松本 玲央奈医師
- (4) 参加費 無料



講師：西岡有可



講師：松本医師

○女性活躍オンラインセミナー 『組織のヘルスサポート基礎知識』

- (1) 日時 11月22日(月) 12時~13時(全国対象)
12月13日(月) 18時30分~19時30分(三原市独自開催)
- (2) 対象 管理職向け
- (3) 講師 公認心理師/臨床心理士 戸田 さやかさん
- (4) 参加費 無料



講師：戸田さやか

LINEサポートの登録数

コード提示がセミナーの中での画面提示のみであり
参加者自身に相談ニーズが高くないためLINE登録数は少ない

この事業は経済産業省の「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」に採択されています

講師・VTR出演

10/11、11/8、12/6
西岡 有可 先生
不妊治療認定看護師 (株式会社ファミワン)

10/25、11/22、12/6
戸田 さやか 先生
公認心理師・臨床心理士 (株式会社ファミワン)

10/11 VTR出演
宋 美玄 医師
丸の内の森レディースクリニック院長

10/25 VTR出演
宗田 聡 医師
広尾レディース院長、茨城県立医科大学客員教授、
東京慈恵会医科大学講師 (非常勤)

11/8 VTR出演
松本 玲央奈 医師
松本レディース リプロダクションオフィス 院長

セミナー概要

●場所 オンライン開催

●参加費 無料

ご参加はこちら

上記のウェブサイトまたはQRコードから参加の申込み

<https://form.run/@femtech-seminar>

オンラインセミナー参加方法

STEP 1 申込受付のメールを受信
開催前日までに、受講の手順とともにZOOM URLをメールにてご案内します。
※前日の17時までに届かない場合は、セミナー窓口までお問い合わせください。
※無料のZoomアプリをインストールしてください。

STEP 2 (当日) 受講に必要な機器を準備
オンラインセミナーには講師のPC画面を共有する形で開催いたします。受講に必要なPC・スマートフォン・タブレット端末やイヤホン等をご準備ください。

STEP 3 (当日) オンラインセミナーに参加
申込受付メールに記載されたZOOM URLをクリックしてください。
※Zoomのシステムタイムログが表示されたら「Zoomミーティングに参加」をクリックしてください。タイムログが表示されない場合は、画面上の指示に従い「Zoomをダウンロードして実行」を選択してください。

セミナーに関するお問い合わせ：株式会社ファミワン <https://famione.co.jp/contact/>

住所：〒150-0002東京都渋谷区渋谷2-14-6 南青山事務所：〒107-0062東京都港区南青山7-3-6 南青山HYビル7F 営業課
※提携事業部は2020年に常務取締役が設立し社長秘書が兼任し、働き、交流する取り組みに対し、活発的な支援を行っています

famione

プレミアムプラン(通常月額 3,980円で専門家に個別で相談可能)が無料で使える特別コードをセミナーの最後にお伝えしますので、ぜひご参加ください。※二ヶ月間有効



告知チラシ上でも
裏面での掲載のみなので
そもそも認知されていない
可能性あり

「逆プロポ」ワークショップの開催

約30名の応募があり、全国から職員・議員が参加



逆プロポ
TOP ニュース プロジェクト一覧 導入事例 FAQ 官民共創資料DL お問い合わせ

妊活xまちづくりの視点で、暮らしやすい/働きやすい街を一緒に考えたい
株式会社ファミワン

妊活 × まちづくり

暮らしやすい
働きやすい街
を一緒に考えたい

famione

社名
株式会社ファミワン

自治体職員と妊活支援に取り組む
フェムテック企業が
を通して、働く女性
との周立支援とい
関して、解決できる
働いて考えるプロジェクト

ダウンロード
お申し込み

開催日時

令和3年10月27日(水) 15時～17時

プログラム

- 地方創生につながる妊活・不妊治療の政策動向について
- 「フェムテック」の自治体活用事例の紹介
- ワークショップ
- 主催会社「株式会社ファミワン」の事業紹介
- 質疑応答

ワークショップ参加者の声

なかなか他市町村と話す機会がなく、ワークショップがあつという間に時間が過ぎました。都の事例などを知ることができ、県全体で取り組んでいくことで産みたい人が産むために必要な情報にたどり着きやすくなるよう考えていきたいです。

結局、顔見知りの間柄では相談しにくい内容であり、職場として職員の妊活等の実情を把握することは極めて困難と思うので、外部相談窓口が望ましい。

他自治体の方も同じようなことで悩まれていることがわかったことはよかったです。

このような機会がなければ話すことのなかった人たちと意見交換を行うことができた。

不妊治療の保険適用化などの政策動向について知りたくて参加しましたが、その点あまり触れられていなかったもので、少し残念でした。妊活や不妊治療への助成等を行うにも、国の政策が固まらないと難しい点があるので、その情報を必要とする自治体は多いのではないのでしょうか。

AGENDA

- ① 当初の事業計画
- ② 事業計画に基づき実施したこと
- ③ 事業を実施して分かってきたことや課題
- ④ 今後実施すること

セミナー開催や自治体連携などを実施

全5回の中での未開催分のセミナー開催と各種アンケート集計、そして今年度・来年度に関する自治体打ち合わせ等を実施

この事業は経済産業省の「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」に採択されています 

行政課題解決セミナー

フェムテックで行政課題を解決する 妊活とヘルスケアセミナー

自治体 × フェムテック

01 10/11 12:00 - 13:00

「知る」の第一歩へ 「生理の課題」解決ヒント

月経トラブルの知識を学び、自分自身の健康を見つめ直す。生活習慣の改善や受診など、適切な対処方法を知って行動できる。

講師 不妊症看護認定看護師 西岡 有可 先生
VTR 出演 丸の内森レディースクリニック院長 宋 美玄 先生

02 10/25 12:00 - 13:00

街ぐるみの健康課題解決

月経、妊活、更年期、性教育。これらは性別、年齢にかかわらず誰もが当事者になる課題で、誰もがサポートになることができます。正しく知ることは自分を含む自分の大切な人を守ることに繋がります。

わたしたちファミワンは、課題の根本解決に必要な知識・情報に誰でもすぐにアクセスでき、安心で軽やかに暮らせる社会にしたいと考えています。

講師 公認心理師・臨床心理士 戸田 さやか 先生
VTR 出演 広尾レディース院長、茨城県立医療大学客員教授、東京慈恵会医科大学講師(非常勤) 宗田 聡 先生

03 11/8 12:00 - 13:00

男女の「更年期」 本当に必要なサポート&資源は?

身体と心。両方の観点から更年期の知識を学ぶ。数年後の生活をイメージし、今から準備できることを考える。

講師 公認心理師・臨床心理士 戸田 さやか 先生
VTR 出演 広尾レディース院長、茨城県立医療大学客員教授、東京慈恵会医科大学講師(非常勤) 宗田 聡 先生

04 11/22 12:00 - 13:00

妊活を知る 他人事から自分事へ

妊活・不妊治療の基礎知識を理解し、妊娠、出産、育児と同様にライフプランの1つとして考えられるようになる。

講師 不妊症看護認定看護師 西岡 有可 先生
VTR 出演 松本玲央奈 先生

05 12/6 12:00 - 13:00

管理職向け! 組織のヘルスサポート基礎知識

更年期や月経といったプライベートでセンシティブな問題の基礎知識を理解する。相談されやすい関係性を作るために、当事者の困難さやコミュニケーションの取り方を知る。

講師 公認心理師・臨床心理士 戸田 さやか 先生

06 12/6 12:00 - 13:00

子どもの権利を守るまじづくり やさしい性教育

からだどころ、両方の側面から性教育を考える。子どもや大切な人と一緒に話せる。性教育の重要なトピックを理解する。

講師 公認心理師・臨床心理士 戸田 さやか 先生
不妊症看護認定看護師 西岡 有可 先生

この事業は経済産業省の「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」に採択されています 

講師・VTR出演

 10/11, 11/8, 12/6 西岡 有可 先生 不妊症看護認定看護師 (株式会社ファミワ)	 10/25, 11/22, 12/6 戸田 さやか 先生 公認心理師・臨床心理士 (株式会社ファミワ)
 10/11 VTR出演 宋 美玄 医師 丸の内森レディースクリニック院長	 10/25 VTR出演 宗田 聡 医師 広尾レディース院長、茨城県立医療大学客員教授、東京慈恵会医科大学講師(非常勤)
 11/8 VTR出演 松本 玲央奈 医師 松本レディース リプロダクションオフィス 院長	

セミナー概要

- 場所 オンライン開催
- 参加費 無料

ご予約はこちら

下記のウェブサイトまたはQRコードから参加の申込み

<https://form.run/@femtech-seminar>

プレミアムプラン(通常月額3,980円)で専門家に個別で相談可能)が無料で使える特別コードをセミナーの最後にお伝えしますので、ぜひご参加ください。※2ヶ月間有効

オンラインセミナー参加方法

STEP 1 申込受付のメールを受信	STEP 2 (当日) 受講に必要な機器を準備	STEP 3 (当日) オンラインセミナーに参加
------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------

セミナーに関するお問い合わせ：株式会社ファミワ <https://famione.co.jp/contact/>
住所：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-14-6 南青山ビル 7F 7-3-6 南青山LHYビル7F 受付係 宗田 聡
※提携事業は2020年に常務取締役が設立した社会起業家として「働き、交流する取り組み」に対し、社会的に貢献を行っています

famione

みなさまからのご連絡お待ちしております

フェムテックを活用して社会を変えていくために
弊社一社でできることは限界があります。

この実証実験期間も、それ以降も、
多くの自治体・企業と協業できればと考えています。

子どもを願うすべての人によりそい
幸せな人生を歩める社会をつくる

famione



問い合わせ先

株式会社ファミワン
代表取締役 石川勇介

080-2243-6995

y-ishikawa@famione.com

17.

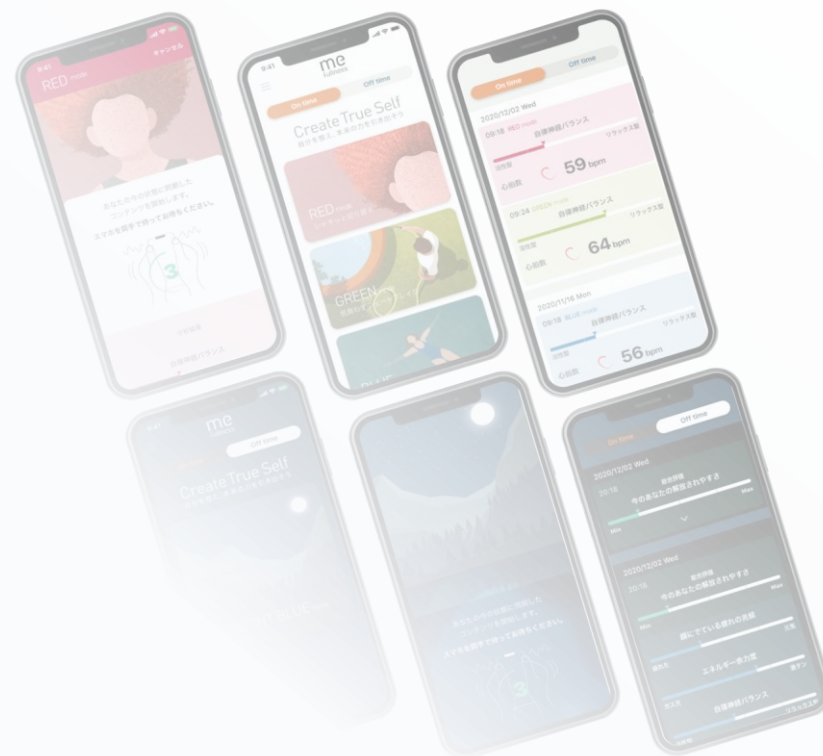
日常生活の中で簡便に自身の疲労度・ストレスレベルを可視化し、リアルタイムで感覚刺激を通じた解決を行うアプリ「me-fullness」による、働く女性の疲労・ストレス緩和ソリューションの実証事業
(代表団体：株式会社 ポーラ・オルビスホールディングス)

令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」

**日常生活の中で簡便に自身の疲労度・ストレスレベルを可視化し
リアルタイムで感覚刺激を通じた解決を行うアプリ「me-fullness」による
働く女性の疲労・ストレス緩和ソリューションの実証事業**

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ポーラ化成工業株式会社

me-fullness



解決したい課題： ストレス・疲労により自身の能力を十分に発揮できない

[ミーフルネス]

me-fullness

me-fullness : 自分自身が満たされている状態の造語

心が満たされている状態 (mind-fullness)
かつ、体が満たされている状態 (body-fullness)

顔分析で自分を知る技術

動画と肌アンケートから
自分の状態を知る



五感で心と体を満たす技術

触覚や音、アートで
心安らぐ体験など



個対応の体験へ

アプリに統合



オンタイムモード



オフタイムモード



©2021 ポーラ化成工業

徳島市の働く女性を対象に、me-fullness の効果検証



【試験対象者】

ストレスや疲労を感じている20-50代の働く女性

【被験者数】

約60名

【試験デザイン】

介入試験（「me-fullness」を約1ヶ月間、使用したときの効果を検証）

【評価項目】

抗疲労学会ガイドラインで示されている疲労評価方法を参考に設定

【試験実施場所】

徳島県徳島市

【試験実施期間】

2021年11月中旬～12月下旬（予定）

※試験終了後、参加者へのヒアリング実施

当初の事業計画と進捗

2021年 9月：試験計画策定
：試験に関する倫理委員会の開催・承認取得

10月：被験者募集・スクリーニング

完了

被験者計59名確定
(約半数は市役所職員)

11月：試験開始

12月：試験終了、以降データ解析・ヒアリング

2022年 2月：本実証試験の結果まとめ・報告

2021年9月30日

働く女性の活躍推進に向けた連携協定を締結 ポーラ・オルビスホールディングス×徳島市 第一弾 me-fullness プロジェクト

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、代表取締役社長:鈴木 郷史)と徳島市(市長:内藤 佐和子)は、2021年9月29日に働く女性の活躍推進に向けた連携協定を締結しました。第一弾として、経産省補助事業に採択された^{※1}心と体を満たす“me-fullness(ミーフルネス)”プロジェクト^{※2}の実証事業を徳島市で実施します。

※1 「心と体を満たす“me-fullness”プロジェクトが経産省補助事業に採択」(2021年7月21日) http://www.pola-om.co.jp/pdf/release_20210721.pdf

※2 「ポーラ化成、ウェルネステックプロジェクト“me-fullness”をスタート」(2021年7月2日) http://www.pola-om.co.jp/pdf/release_20210702.pdf



横浜の会場と徳島市役所をウェブ会議システムで結び調印式を実施
(左から順に、小沼敏郎(me-fullness 特別顧問)、末延則子(ポーラ・オルビスHD 執行役員)、内藤佐和子(徳島市長)、高木博代(阿波女あきんど塾^{※4}リーダー)、本川智紀(me-fullness ファウンダー)、加藤明美(me-fullness コファウンダー))

“me-fullness”の経産省補助事業採択をきっかけに「働く女性の課題解決」に向け連携を開始

経済産業省 令和3年度「フェムテック^{※3}等サポートサービス実証事業費補助事業」においてポーラ・オルビスホールディングスの“me-fullness”プロジェクトが採択されたことをきっかけに、ポーラ・オルビスホールディングスと徳島市は、連携協定を締結することとなりました。化粧品会社として多くの女性従業員の活躍のもと、長年にわたり女性の美に貢献し、さらに化粧品の枠を超えて心と体を満たすことを目指すポーラ・オルビスグループの方針に、「女性活躍推進」に注力する徳島市が賛同し、連携に至りました。連携の第一弾として、徳島市の働く女性を対象に me-fullness アプリの実証事業を「阿波女あきんど塾^{※4}」と連携して行います。その後も、徳島市の企業や起業家と女性活躍推進に向けた事業開発検討を継続的に行います。

※3 フェムテック(FemTech)とは、Female(女性)とTechnology(テクノロジー)を合わせた造語。女性が抱える課題をテクノロジーで解決する製品やサービスのこと。

※4 徳島市と協働で地域経済の活性化を目指した女性経営者の集い。 <https://www.awonma-akindo.com/>

<実施してわかってきたこと>

徳島市、阿波女あきんど塾、本補助事業をきっかけに繋がった方々とのディスカッションから様々な気づきを獲得

(一部例)

- ユーザーがログを見れる方が、アプリの継続利用につながる
- オフタイムモードは入眠シーン以外のシーンにも活用可能



アプリ改修で反映中。改修版アプリで実証試験を実施予定

- 「働く女性」だけでなく、「産前産後ママ」にとっても有用なアプリになる可能性がある



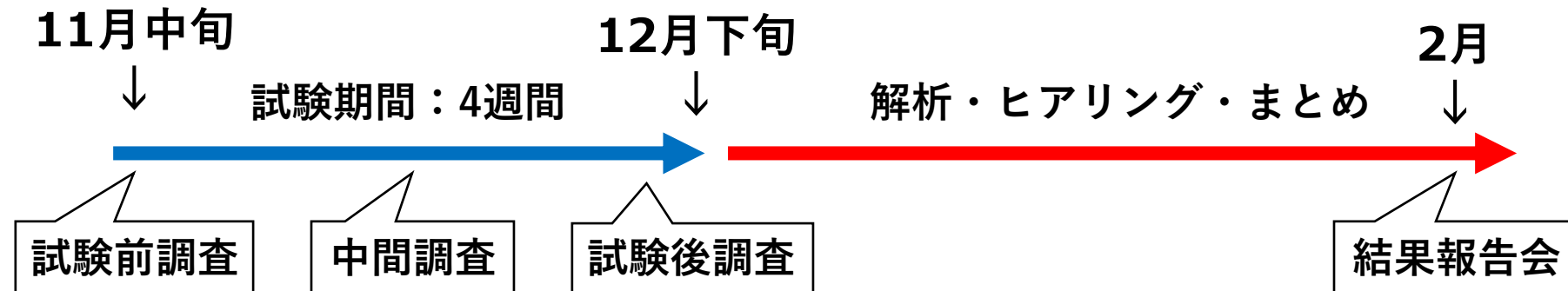
事業会社様と連携により検証予定

今後実施すること

2021年 11月中旬：試験開始

12月下旬：試験終了 → 以降データ解析・ヒアリング

2022年 2月：本実証試験の結果まとめ・報告

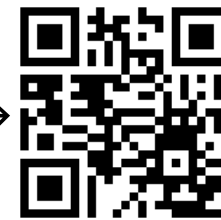




公式HP →



Youtube →



連携・活用・取材など、お気軽にご連絡下さい → (株)ポーラ・オルビスホールディングス 錦織 s_nishikori@po-holdings.co.jp

18.

女性社員が入社からリタイアまでいきいきと働ける環境を実現する
健康課題改善プラットフォーム事業
(代表団体：丸紅株式会社)

令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」実証事業

入社からリタイアまでいきいきと働ける環境を実現する
女性の健康課題改善総合サービス事業

中間報告会 (2021.11.9)

(おさらい:再掲)事業概要

働く女性と企業を総合的にサポートする女性の健康課題改善サービス

入社からリタイアまでいきいきと働ける環境を実現する女性の健康課題改善総合サービス

働く女性が様々なライフステージにおいて向き合う健康課題を総合的にカバーし
社内啓蒙～個人への処方までを一気通貫で行える福利厚生サービスをご提供します！



月経ソリューション

生理痛・PMSの改善に向けた低用量ピル処方による働きやすさ・生産性向上支援

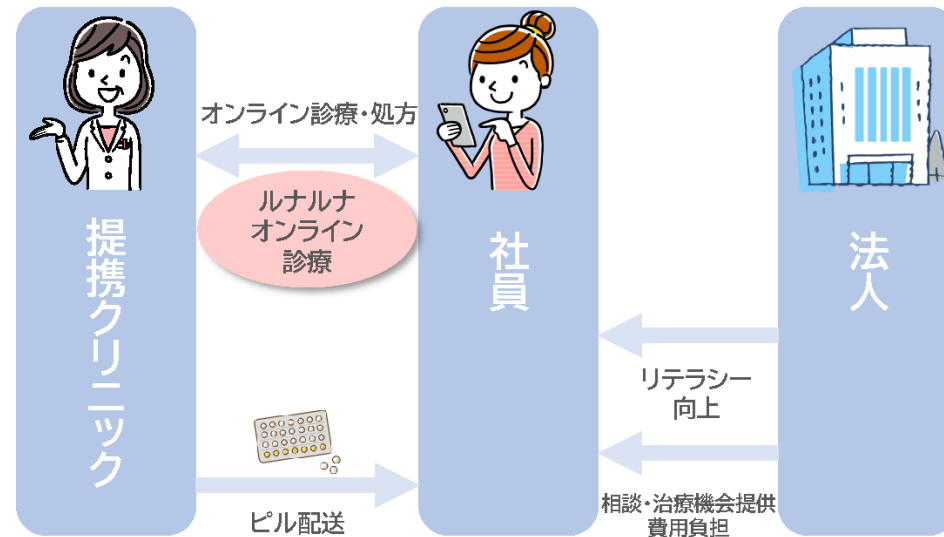
生理痛・月経随伴症状(PMS)で仕事に影響を受けつつも通院の時間が限られている社員に対して
オンラインピル外来サービスを提供し、労働損失削減と社員のQoL向上を促進

課題

- PMSの重度社員:約**2%**、中度社員:約**17.5%**
- PMSにおける年間労働損失**4,911**億円(試算)
- 日本の低用量ピルの普及率**2.9%**(フランス33.1%、英国26.1%、カナダ28.5%、米国13.7%)

サービス内容/導入効果

- 月経・女性ホルモンに関するセミナー
… 会社全体のリテラシー向上
- オンライン診療・相談
… 婦人科受診のハードル低下
- 低用量ピル処方
… PMS改善による健康状態/QoL向上
- **優秀な女性人材の活躍、企業の生産性向上**



妊活ソリューション

妊活に関わる社内リテラシー向上とオンライン相談による働きやすさ・キャリアプラン支援

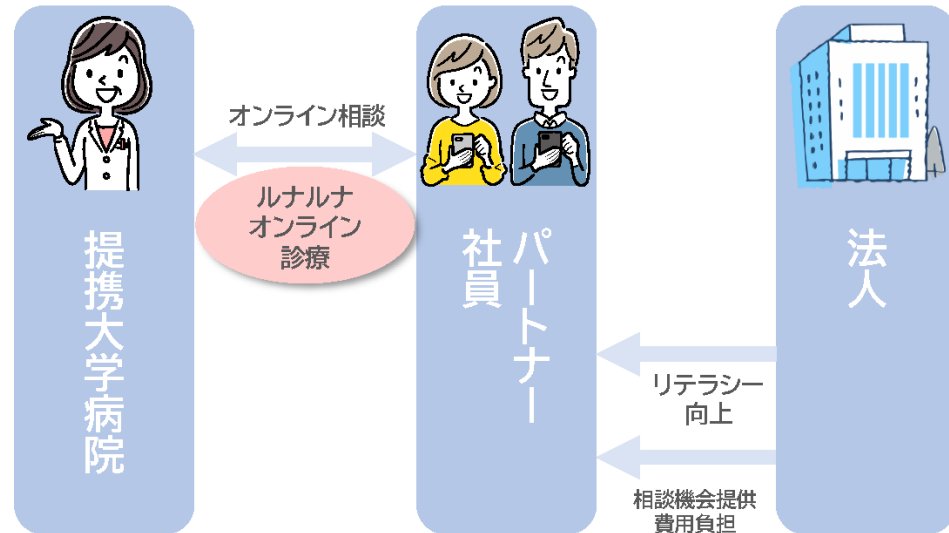
キャリアプラン・ライフプランに大きな影響を与える妊娠・出産について、社内のリテラシーを高めるとともに、個々人の事情・悩みとよりよいキャリア形成について、社員とパートナーにオンライン相談の機会を提供

課題

- 妊娠をきっかけに企業の離職経験のある女性 **61%**
- 不妊治療と仕事の両立が困難と考える女性 **83%**
- 不妊治療を理由に離職経験のある女性 **23%**

サービス内容/導入効果

- 妊活に関するセミナー
… 妊娠についての早めの知識獲得
同僚/上司/部下のリテラシー向上
- オンライン相談
… 個々人の事情によりそった悩みの解消
将来設計のサポート
- 妊娠/出産と仕事を両立しやすい職場環境の整備
ライフプラン/キャリアの早期構築のキッカケ提供



更年期ソリューション

更年期症状に関わる社内リテラシー向上と薬剤処方による働きやすさ・キャリア積み重ね支援

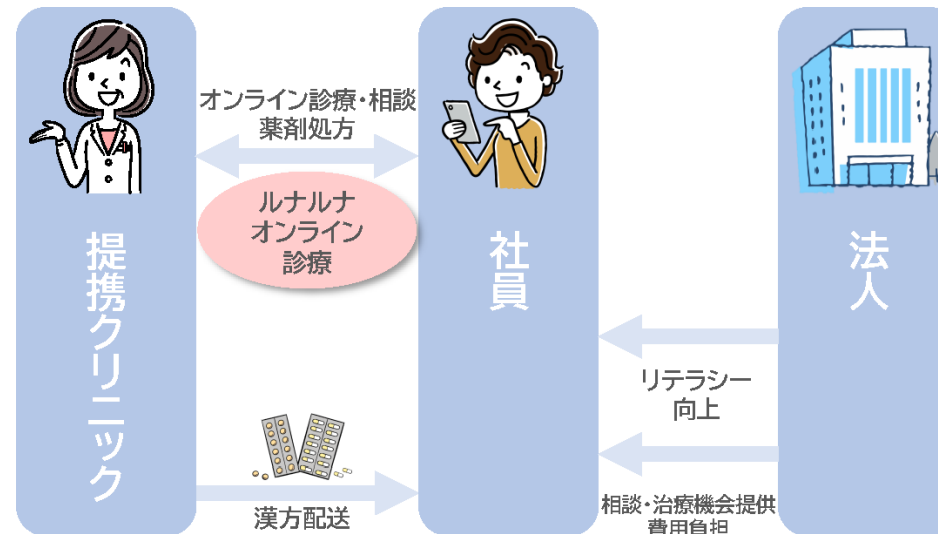
更年期症状で悩みつつも通院の時間が限られている社員に対し、リテラシー向上機会およびオンライン診療を通じた相談・症状改善機会の提供により、キャリア積み重ねの後押しとQoL向上を目指す

課題

- 更年期を理由に昇進辞退経験のある女性 **50%**
- 日本企業の女性管理職割合 **12%**(世界**27%**)

サービス内容/導入効果

- 更年期症状に関するセミナー
… 会社全体のリテラシー向上
更年期症状の対処について知識獲得
- オンライン診療・相談
… 婦人科受診のアクセス改善
- 漢方処方
… 更年期症状改善によるQoL向上
- 女性幹部/管理職の増加による企業の多様性向上



効果検証サポート

それぞれの企業の課題に沿った検証方法の設計と実施サポート

社員の働き方、職場環境や世代構成は企業によって多種多様。各社の課題意識・改善したいポイントを特定し、専門家の監修も取り入れたKPI・検証方法を個別に設計。効果的な導入を促進。

属性	検証項目	検証方法	その他 調査内容			
<ul style="list-style-type: none">● 世代● ライフステージ● 職場環境● 勤務場所● 職能	×	<ul style="list-style-type: none">● リテラシー向上度合い● 健康課題/QOL改善度合い● 業務パフォーマンス (プレゼンティーイズム)● 欠勤率 (アブセンティーイズム)	×	<ul style="list-style-type: none">● 定点調査 (導入前～途中～後)● 導入者⇔未導入者比較● 労働損失削減シミュレーション	+	<ul style="list-style-type: none">● 社員の声(課題・悩み)● サービス利用状況・満足度/継続利用意向・改善要望● 導入サービス以外の希望サービス

本サービスの4つのポイント

総合モデル

「入社」から「リタイア」まで

- ✓ 月経～更年期までソリューション提供することで入社から退社までをカバー
- ✓ 幅広いライフステージを一貫でサービス提供することで万遍なく社員をカバーすることが重要



一貫通貫モデル

「気付き」から「改善まで」

- ✓ 女性の健康課題は本人の「気付き」を生むことから始めるのが重要
- ✓ 一方で最終的なソリューション(改善)までのサービス提供がないと響かない(健康状態の可視化まででは“so what?”)



2つの効果検証ポイント

「会社」と「社員」双方のために

- ✓ 導入主体の人事部とサービスを受ける勤務社員の2つのベネフィチャリー
- ✓ 双方の効果検証をすることで、導入・継続の意思決定、未導入者の参考情報にも活用



利用分のみ課金形態

導入コストはゼロ

- ✓ 各企業様の世代構成や社員のニーズに沿った効果的な利用を実現
- ✓ 実際の利用分のみのご請求で
イニシャルコスト・定額負担はゼロ



8月～10月のトピック

8月～10月のトピック

サービス開発

- 月経・妊活・更年期PGの開発が全て完了
- 実態調査アンケートをフォーマット化

マーケティング

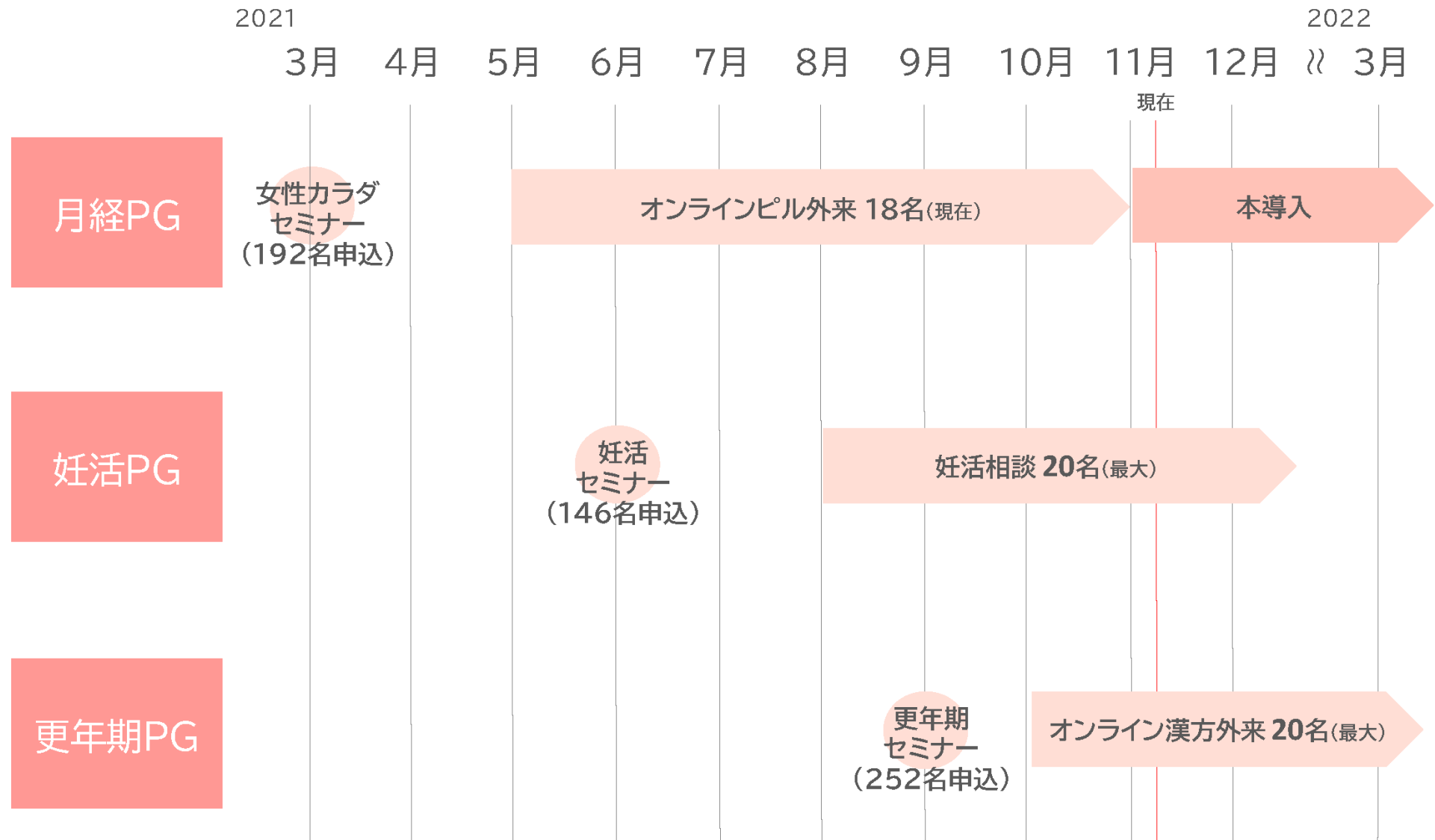
- 10月までに95社と面談／これまで12社にてパイロット導入実施・準備/検討中、11社と継続協議中
- 体制を当初6人→16人に拡大、社内専門組織も新設

実証導入

- 丸紅にて月経PG・妊活PGを、丸紅・エムティーアイにてオンライン漢方外来PGを実施

実証導入の状況

丸紅社内実証導入の状況



【月経PG】女性カラダセミナー実施概要・結果

実施日程

2021年3月11日(オンライン)

申込者数

192人(女性:男性=約7:3)

講義内容

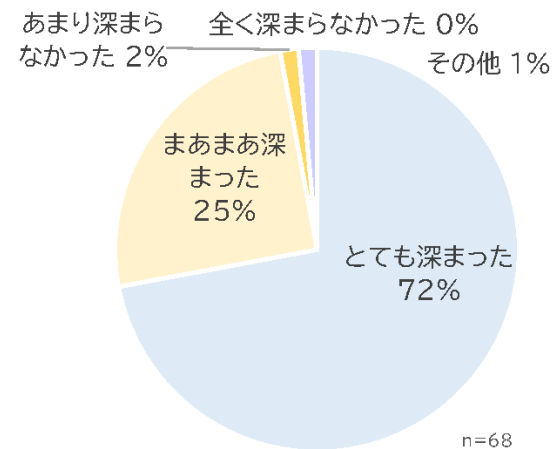
- 女性のカラダ・ホルモンについて
- 低用量ピルについて
- オンラインピル外来PG紹介



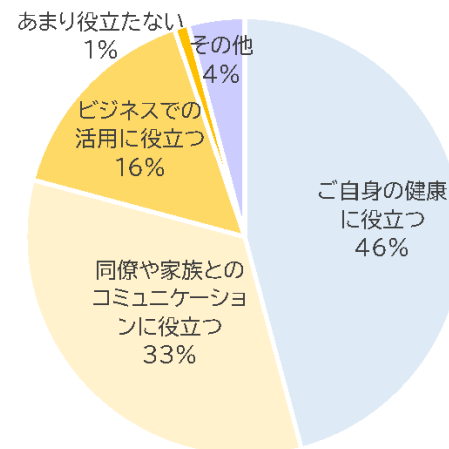
【講師】甲賀かをり先生

東京大学医学部付属病院 産婦人科 准教授
大学院医学系研究科
生殖・発達・加齢医学専攻産婦人科学講座

女性健康課題への理解度

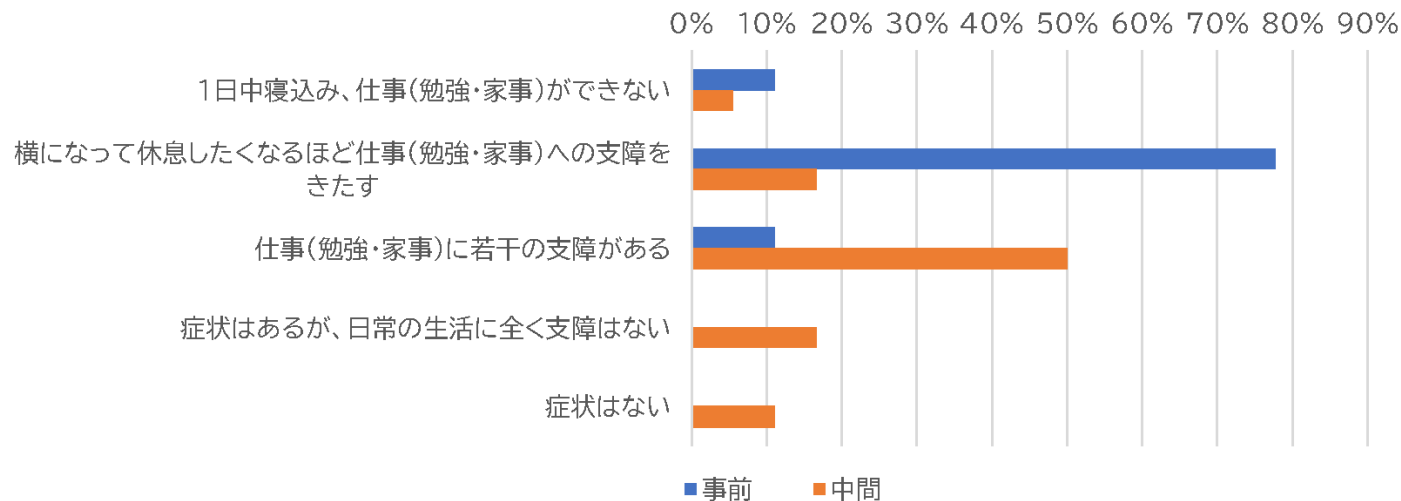


今後どう役立つか



【月経PG】オンラインピル外来実証結果①低用量ピルの効果

月経随伴症状の度合い



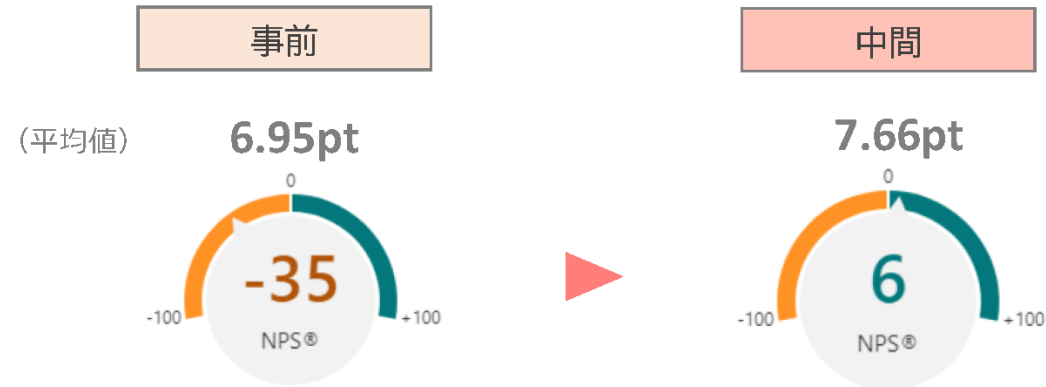
利用満足度



【月経PG】オンラインピル外来実証結果②生活状況・QoL

幸福度

とても幸せ 10pt
↓
とても不幸 1pt



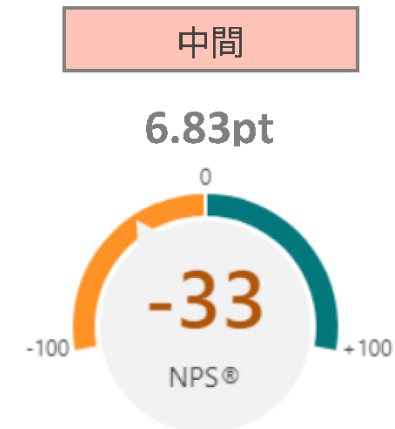
健康状態

	事前		中間	
良い	7	39%	10	56%
まあよい	5	28%	5	28%
ふつう	6	33%	3	17%
あまりよくない	0	0%	0	0%
よくない	0	0%	0	0%
	18	100%	18	100%

【月経PG】オンラインピル外来実証結果③エンゲージメント

友人・知人に丸紅で働く事を勧めたいか (eNPS)

とても勧めたい 10pt
↓
全く勧めたくない 1pt



仕事の満足度

	事前	
満足	2	11%
まあ満足	14	78%
やや不満足	2	11%
不満足	0	0%
	18	100%

	中間	
満足	3	17%
まあ満足	11	61%
やや不満足	4	22%
不満足	0	0%
	18	100%

【月経PG】オンラインピル外来実証結果④プレゼンティーズム

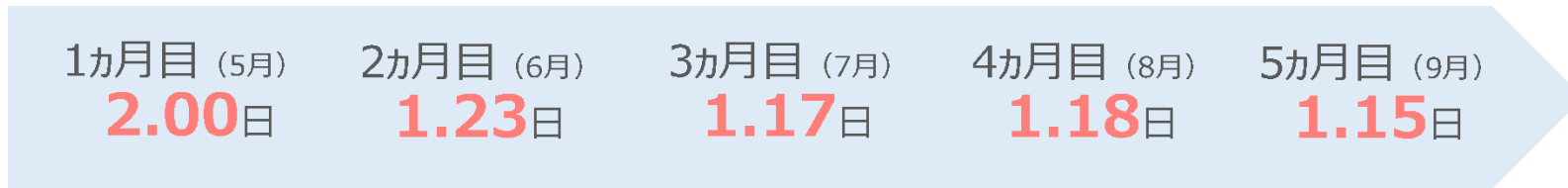
プレゼンティーズム（業務パフォーマンス）

直近の生理において不調を感じていた状況での自身の仕事のパフォーマンス



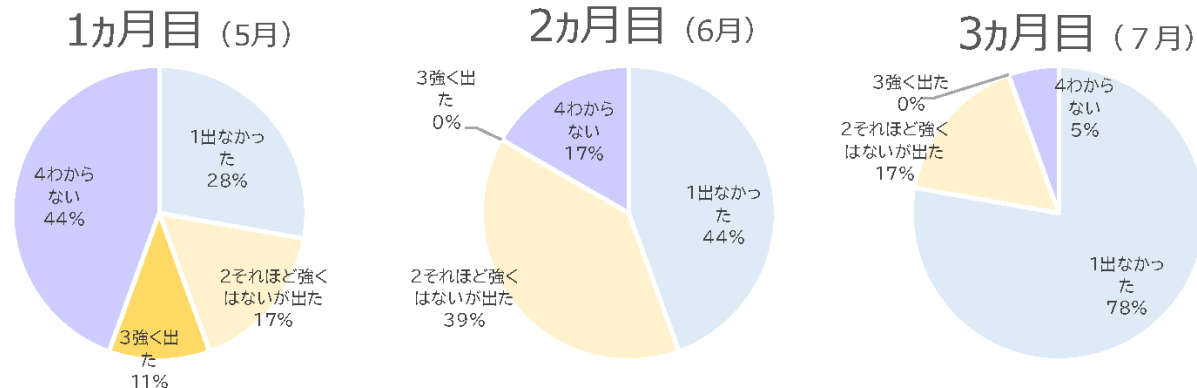
※ 生理に伴う体の不調がないときのパフォーマンス=100%

生理に伴う体の不調が仕事や日常生活に影響を及ぼす日数



6か月間
(10月まで)
継続検証

低用量ピルの副作用



【月経PG】労働損失改善額の試算詳細

5ヶ月後の結果より

- ✓ 日常生活へ影響が出る日は1ヶ月あたり、0.85日改善（2.0日 ➡ 1.15日）
- ✓ 生理前から生理中の仕事のパフォーマンスは、19pt改善（65pt ➡ 84pt）

- 対象社員1人あたりの労働損失改善試算額 約 18.6万円 / 年
- 全社(640人)の損失改善ポテンシャル 約 2,325万円 / 年 **+α**
(対象社員が生む付加価値額)

(前提)

- 39才以下の女性社員:約640人
- 月経随伴症状の重度社員2%、中度社員17.5%(合計19.5%)と仮定 ※バイエル薬局調査
- 社員1人あたりの給与を日当3万円と仮定
- 月経プログラム導入費用は月額5千円

- ① 1人あたり労働損失試算額(現状) 25.2万円 / 年 : 日当3万円×2.0日×(1-65%)×12か月
- ② 1人あたり労働損失試算額(ピル服用後) 6.6万円 / 年 : 日当3万円×1.15日×(1-84%)×12か月

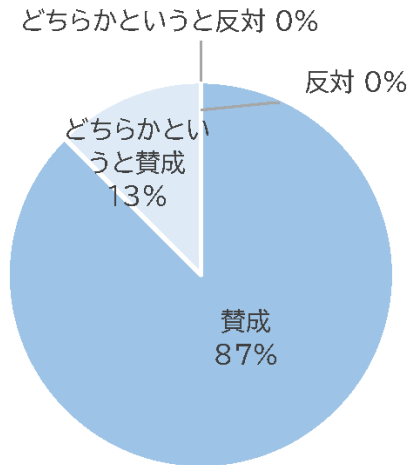
③ 1人あたり労働損失試算 額計 18.6万円 / 年 : ①-②

④ 対象社員数想定 125人 : 想定女性社員640人 x 月経随伴症状重度/中度社員19.5%

⑤ 全社の労働損失改善ポテンシャル 約2,325万円 / 年 : ③x④

【月経PG】オンラインピル外来実証結果⑤サービス利用意向

本導入に関する賛否・その理由



会社サポートの元利用できるのは非常に便利で、自分で探す手間がないから

会社として本取り組みを導入することで、プログラムを利用する人へのメリットもですが、周りの方から生理痛等による大変さに理解をしてもらいやすくなるきっかけになると思いました。

身体的な負荷が下がり、業務や日常生活への支障が減っていると感じるため。
また、オンライン診療が可能、且つ予約もしやすいため、昼休みの間に相談や次回送付を依頼することができとても便利。

オンライン診療なので場所や時間の融通がきく点は、興味関心があってもなかなか実際に試せない人には良いきっかけになると思う。

ピルを続ける難しさの一つが通院時間の確保でもあると思うが、本プログラムはオンライン受診のため、通院の手間が省けて受診しやすい。(婦人科は待ち時間が長いので)また、会社のプログラムで女性の体について取り組んでもらっているので、会社への満足度が高まる。

オンライン診療なので業務が忙しくてなかなか踏み出せずにいた方も始めやすいですし、今までの不調がよくなることも多いため、業務への Positive Impactもある上、会社として支援を受けているという事実が女性社員に自信をもたらすことができると思います。

月経にまつわる体調不良が軽減し、とても生活しやすくなったからです。私の周りにも生理痛などに悩んでいる同僚が多くいるため、会社で本プログラムのサポートを行ってもらえると大変助かると思っています。

手軽に(オンラインで)受診でき、ピルを入手できるので賛成です。ですが本格導入に際してはプライバシー保護も考慮の上、ご検討頂けると幸いです。精算方法は給料天引きにするなどして、周囲に利用していることが分からないようにするなど配慮が欲しいです。(Concurなどの精算方法ですと部内承認の取得が必要になりますので。)

ピル服用により生理中の業務効率が改善する女性が一定程度いると思われ、女性の活躍のサポートになり得ると考える。対外的なダイバーシティアピールにもよさそう。

生理のつらさを緩和させることで、女性のパフォーマンスが上がる。ひいては、会社全体の業務効率性にもつながるのではないかと。

オンラインにてピルの処方ができる為、通院の手間を省くことができるのは非常に利便性も高い。
一方で、ピルの種類や効力などの細かい点の確認がオンラインだと難しい部分もあり、別途資料等がもらえるとありがたい。
また、対応する医療機関、お医者さんの相性もあると思うので、複数の医療機関から選べるようにしてもらえると良い。

生理に伴う不調が軽減され、業務における生産性もあがったため。

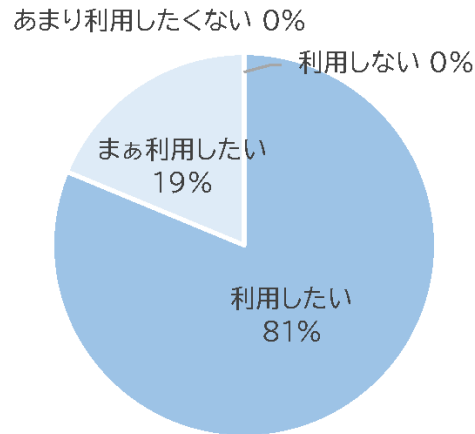
毎月生理に悩まされており、ピルに興味はあったものの、定期的に病院へ行く時間もなく、オンライン診療は少し抵抗感がありどこがよいか調べている内に、放置していました。本プログラムのおかげで、オンライン診療の病院を探す手間が省け、安心してピルの処方を受けることができました。

女性が働く上で生理はとても苦痛なものであり、仕事へのモチベーションや業務効率にも繋がります。そのため、会社としてこういったプログラムがあるというだけで、会社としてサポートしてくれているというのだけでも心強く感じるため。

女性特有(いわば先天的でどうしようもない)の生理に対して、会社負担でピルを服用することで、会社を休んだり、辛い思いをしなくて良いので会社としても仕事のモチベーションをアップしてもらえるので、良いプログラムだと感じるから

【月経PG】オンラインピル外来実証結果⑤サービス利用意向

本導入時の継続利用意向・その理由



会社サポートの元利用できるのは非常に便利で、自分で探す手間がないから

数分の診療のために、数時間かけて産婦人科に行くことを思うと、お昼休憩中に診療ができる点が非常に魅力的です。先日も少し不安なことがあった際もすぐに予約が取れ、丁寧に対応してくださり、非常に安心できました。

毎日お仕事をしている中で月経不順・月経痛のストレスと付き合っていました。これらの余計なストレスなく仕事と向き合えるから。

低用量ピルの使用により、生理周期を安定させることができよかったです。一方、支払う費用によっては継続利用は検討したいと思う。

便利且つ有効と感じる機会が多くあるため。

生理痛は比較的軽い方だと思うが、それでもピルを服用し始めたらより日常が快適になったから。

受診の手間が省け、費用も会社負担のためかなり助かっている。本プログラムが本格導入されるのであれば是非利用したい。費用が本人負担になったとしても、オンライン受診のメリットがあるので継続利用すると思う。

オンラインで受診できることで通院の手間が省けたり、宅配にて処方してもらえるとという手軽さはもちろんですが、会社として導入できたらより良い理由としては、ピルは世の中にたくさん出回っている一方、身体にダイレクトに影響するものでもあるため、会社のプログラム・福利厚生という安心感はとても大きいので、本格導入したら継続したいと思います。

今回のプログラム試験導入に参加させていただいたことにより、業務の関係でずっと機会がなかった診療を受けることができ、身体的・精神的に非常に楽になりました。ぜひ継続させていただきたいです。

本プログラム利用前は生理痛などによって早退したり仕事に集中できなかったりと業務に支障が出ていましたが、本プログラムを利用してからは業務に支障が出るほどの体調不良がなくなったためです。また通院するよりも手間がかからずピルを服用できるため、継続して利用したいです。

ピル服用により生理中の業務効率が改善する

生理の際の体調管理ができるから。

費用的にも受け取り方(オンライン診療&郵送)にしても個人では簡単にできないやり方で継続できるから。

会社の費用負担がアプリ等の利用料に加えて、一部ピルの薬代も補助が出たらありがたい。

生理に伴う不調が軽減され、業務における生産性もあがったため。また、自宅から都合の良い時間に診察を受けることができるのが非常に便利であるため。

【妊活PG】妊活・不妊治療セミナー実施概要・結果

実施日程

2021年6月23日(オンライン)

申込者数

146人(女性:男性=約7:3)

講義内容

- 女性のカラダ・卵子について
- 妊活と不妊治療について
- 妊活相談サービス紹介



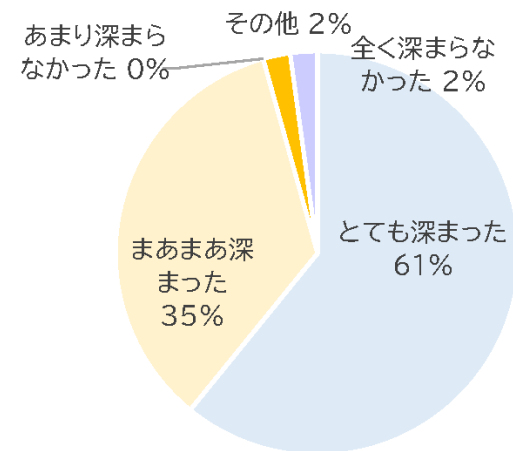
【講師】洞下由記先生

聖マリアンナ医科大学 大学病院学 講師

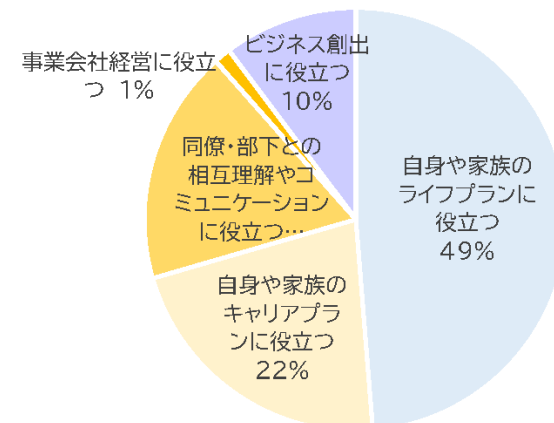
同医科大 大学病院産婦人科医長

日本産婦人科学会専門医 日本生殖医学会生殖医療専門医

女性健康課題への理解度



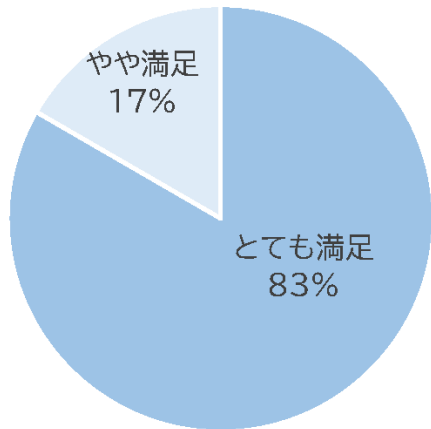
今後どう役立つか



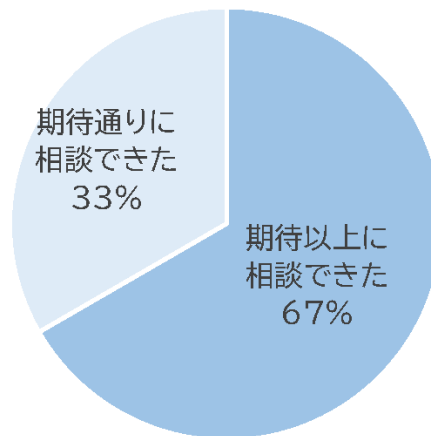
【妊活PG】妊活相談サービス実証結果

(利用者アンケート：n=6)

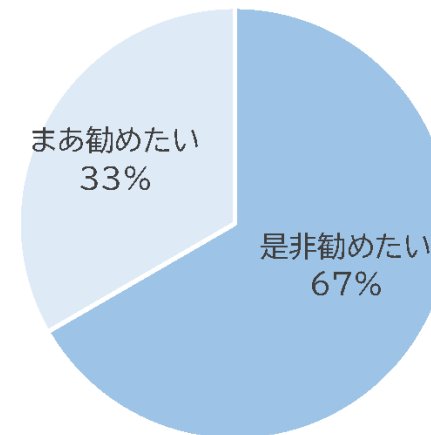
プログラム参加満足度



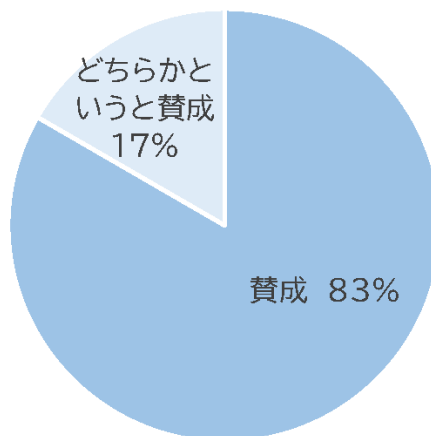
相談内容満足度



他者への利用推薦意向



本導入に関する賛否



本導入賛成理由及び利用後の感想

また利用したい

通院の頻度や精神的な負担を考えると、休職した方がいい場合もあるかと思うので。

通院時間や病院での待ち時間も省けて仕事との両立がしやすいと思いました。

丸紅の診療所でも女性の健康相談窓口を現在でも設置しているとの認識ですが、以前ある件で利用したところ、婦人科系の担当医師がいる訳でもなく、満足のいく相談ができなかったため、このような施策は是非前向きに進めていただきたいと思います。

生活面をサポートする制度は充実しているとありがたいです。介護や通院などと合わせて整っていると社員の納得性も高いように思います。

最初治療に進む前にこういった制度が合ったら大変助かったと思った。あまり周囲へ相談もできず、たまたま治療経験のある妻の知人がいた為、治療に踏み切れたが、それがなかったらなかなか治療に進むことをためらったように思う。

気軽に参加できるから利用したい。

病気等の症状が無い限り、待ち時間(婦人科系は特に待ち時間が長い印象)を考えるとなかなか病院へ足を運ぶ気持ちになれないが、今回のように自宅でかつパートナーと気軽に専門医とお話できたことはとても有意義だった。

専門家(医師)のアドバイスを気軽に受けることができ、便利だと感じた。

治療に関する第三者的なアドバイスももらえる

通っている病院外の医師の方と気軽に相談ができ、具体的なアドバイスを頂くことができた為。

【妊活PG】おとな女性(更年期)セミナー実施概要・結果

実施日程

2021年9月10日(オンライン)

申込者数

252人(女性:男性=約6:4)

講義内容

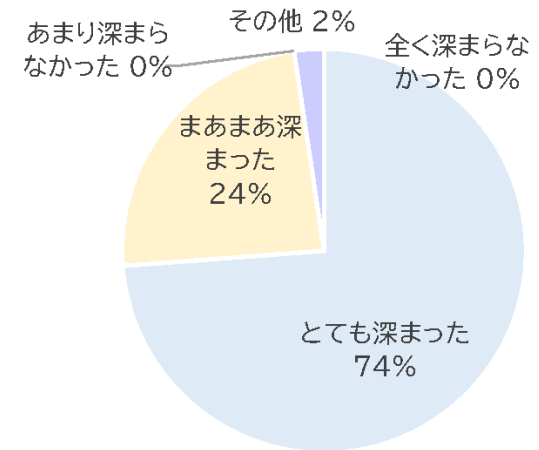
- ・ 更年期の原因・症状・対策について
- ・ 周囲からの接し方について
- ・ オンライン漢方外来サービス紹介



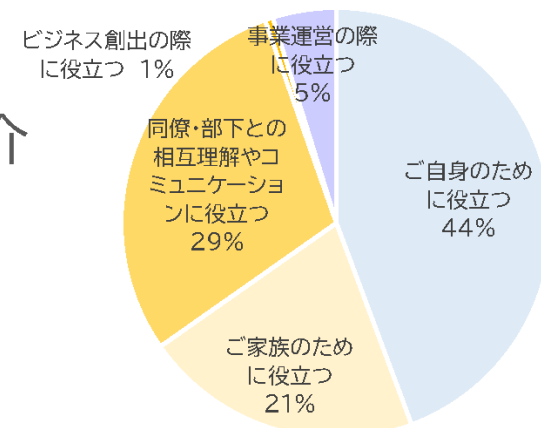
【講師】高尾美穂先生

イーク表参道 副院長
産婦人科専門医・医学博士・婦人科スポーツドクター
㈱ドームアドバイザードクター 他

女性健康課題への理解度



今後どう役立つか



【更年期PG】オンライン漢方外来実証開始

期間

2021年10月～2022年3月 6ヶ月間

対象人数

計20名(当社+エムティーアイ)

マーケティング状況

体制強化

大企業のリソースをフル活用しながらスピード感を重視

対応人員の拡大

当初(7月)

6人

Marubeni

MT エムティーアイ CARADA medica



現在(11月)

16人

Marubeni

MT エムティーアイ CARADA medica

社内専門組織の設置

当初(7月)

経営企画部内での
インキュベーション

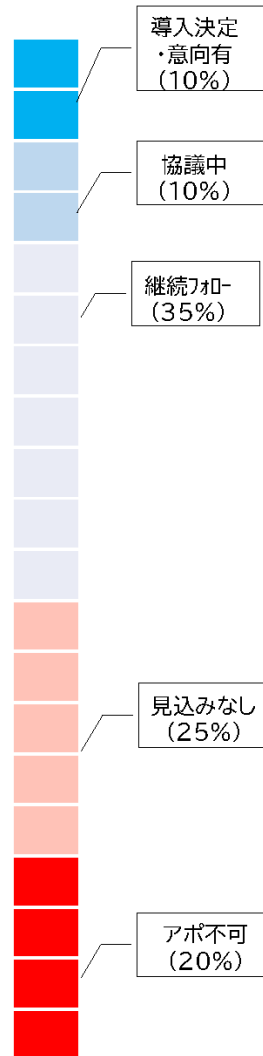


現在(11月)

フェムテック事業チーム
を新設(11月1日付)

アプローチ状況

95社と面談／12社にてパイロット導入実施・準備/検討中、11社と継続協議中



パイロット導入実施・準備/検討中の企業様

業界	会社数	導入意向
生命保険	1	月経PG
化粧品	2	月経PG
医薬品	1	月経PG
建設	1	月経PG、妊活PG、更年期PG
観光	1	月経PG
生活用品・小売	1	月経PG、更年期PG
情報・通信	2	月経PG、妊活PG、更年期PG
コンサル	2	月経PG、更年期PG
商社	1	月経PG、妊活PG、更年期PG

面談を通じての気づき/課題への対応

各企業様・健保様からの声を拾い上げ、サービスを継続進化

当初あった声

特定の層のみに向けた福利厚生サービスの導入は難しい

継続導入をしていくには導入効果の見える化・検証が必要

どのような施策を打てば社員が健康課題に関心を持つのか

相談対応のみでなく実際の改善サービスまで提供しないと、社員のアクションに繋がらない

多くのサービスが存在していて、どれが安心して導入できるか判断が難しい

▶ 現在のサービスモデルを開発・展開することに

面談を通じて得た声

女性のみへの施策を導入することに社内説得にハードルがある

社内にニーズがあると感じるものの、どのようなニーズがどれ程あるか把握してない

D&Iの観点から英語版の対応も必要

- 健康経営の全体像の一施策の考え方として説明
- 行政からも意識変革・醸成のための発信、諸施策を期待

- ▶
- 社内のニーズ把握を行うための調査方法・内容のフォーマット化

- 紹介資料・対応医師を順次整備中

【お問合せ先】

丸紅株式会社

経営企画部 フェムテックPJチーム

奥原 OKUHARA-S@marubeni.com

野村 nomura-yuumi@marubeni.com

株式会社カラダメディカ

事業企画部

krmgroup-03@karadamedica.co.jp

19.

周産期遠隔医療プラットフォームを活用した仕事と
安全な妊娠・出産の両立にかかる実証事業
(代表団体：メロディ・インターナショナル株式会社)

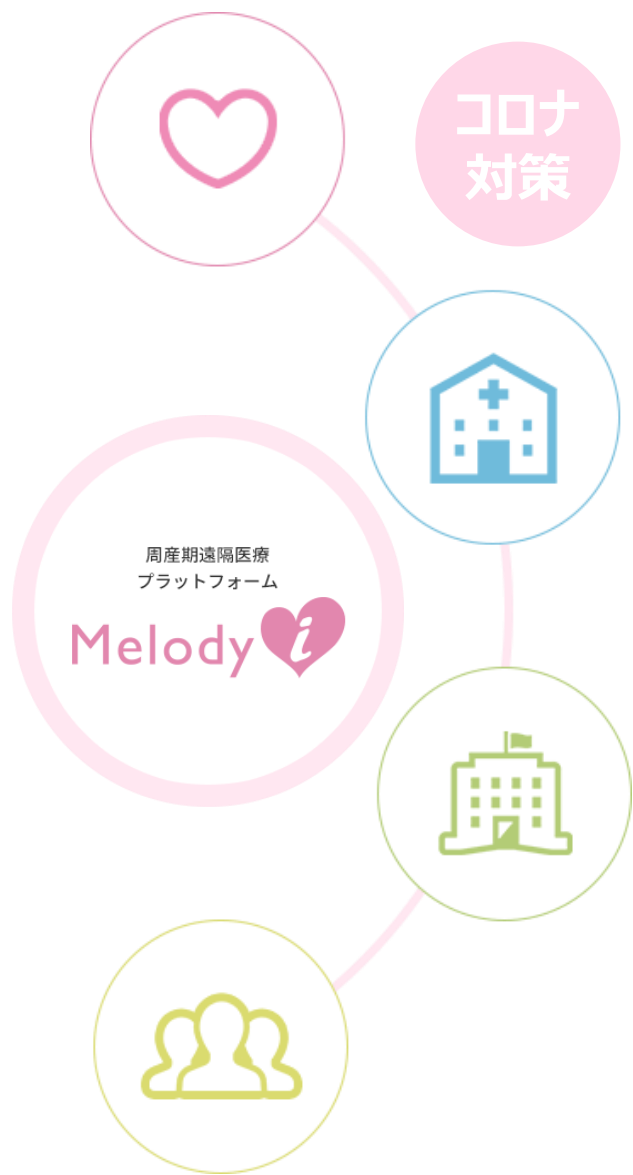
フェムテック等サポートサービス実証事業

周産期遠隔医療プラットフォームを活用した
仕事と安全な妊娠・出産の両立にかかる実証事業
中間報告（2021年11月）

Melody 

メロディ・インターナショナル株式会社

実証事業の対象、目的

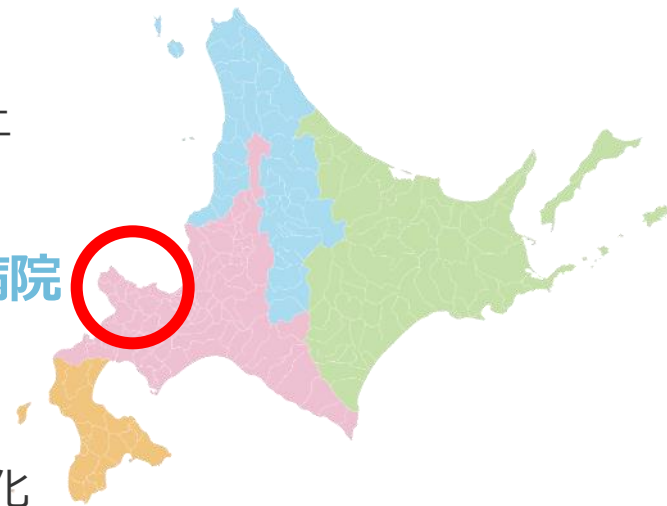


対象者：余市町（北後志）の妊婦とパートナー

- ・ 通院負担／コストの軽減
- ・ 子育てとの両立負担の軽減
- ・ 家族やパートナーの理解度の向上
- ・ リスクへの不安の低減

サービス提供者：小樽協会病院

- ・ 出張負担の軽減
- ・ 切迫入院中の試験外泊サポート
- ・ 緊急搬送受入の円滑化
- ・ 地域連携体制、チーム医療の強化



サービス媒介者：余市町、消防組合

- ・ 各種手続きをスムーズに
- ・ 産科施設不足を解消
- ・ 地域の出産環境の整備
- ・ 救急救命率の向上、リスク低減

その他：企業や団体

- ・ 休暇取得、福利厚生之最適化
- ・ 妊婦が働く環境や職場理解の促進



実証のポイント



日本発のIoT型胎児モニターによる遠隔妊婦健診サポート

メロディ

自治体と地域医療機関との連携事業

北海道
余市町

小樽協会
病院

余市町での出張妊婦健診
在宅での胎児モニタリング
消防組合でのトレーニング

「胎児の状態を知る」を
いつでも、どこでも可能にする



① 当初の事業計画



大項目	中項目	分類	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
周知活動	HPの制作	広報	→									
	チラシの制作・配布	広報	→									
	ビデオの制作	広報	→									
	妊婦・家族向け説明会	広報	→									
会議・ミーティング	全体会議（参加団体）	運営	○			○					○	
	ジョブ会議（部分）	運営		○	○		○	○	○			
	情報共有	運営	→									
周産期遠隔医療プラットフォームサービスの準備	オンライン病院への依頼	実証準備	→									
	実証サービスINへの準備	実証準備	→									
	ICTGレンタルの開始準備	実証準備	→									
	役場・病院の窓口設置	実証準備	→									
	出張健診運用準備	実証準備	→									
	健診履歴システムの構築	実証準備	→									
	個人情報窓口の設置	実証準備	→									
周産期遠隔医療プラットフォームサービスの活用実証	余市協会病院での利用	フィールド実証	→									
	在宅利用	フィールド実証	→									
	支援病院	フィールド実証	→									
	オンライン判読・受診勧奨	フィールド実証	→									
	サポートセンター	フィールド実証	→									
学会・勉強会	消防署へのセミナー	フィールド実証		○	○					○	○	
	学会参加	フィールド実証	○			○	→					
効果測定	利用者アンケート・ヒアリング	KPI分析					→					
	提供者アンケート・ヒアリング	KPI分析					→					
	実施と集計・分析	KPI分析							→			
	定性的、定量的効果測定結果	KPI分析								→		
報告書作成	中間報告	報告まとめ			→							
	最終報告	報告まとめ								→		

実施内容



事業をお知らせする：チラシの作成と「使い方ムービー」作成

自治体と医療機関の調整：問合せ窓口や体制を打合せ

フェムテックデバイスの導入：モバイル胎児モニター導入説明

学会発表：日本遠隔医療学会学術大会にて取り組み発表

アンケート調査：事業実施後のサーベイのための調査概要策定

勉強会の実施：余市消防署での周産期救急講習会実施調整

チラシの作成



令和3年11月1日～令和4年2月18日

周産期遠隔医療プラットフォームを活用した仕事と安全な
妊娠・出産の両立にかかる実証事業

ICTで妊婦さんを サポート！

妊婦と家族の不安解消、パートナーや職場の意識変容と理解を推進することで
女性のキャリア形成と安心安全な妊娠・出産の両立を目指します。

＊モバイル型胎児モニター
(分娩監視装置ICTG)

分娩監視装置とは…
胎児心拍や母体陣痛を計測して異常の
予兆を把握する医療機器です。

NSTとは…
non-stress test (ノンストレステスト)
の場で、分娩監視装置を用いて胎児心拍
や子宮の収縮を確認します。

期間 対象者
令和3年11月1日～令和4年2月18日 余市町内にお住まいで、小樽協会病院またはおたるレディースクリニックを
主治医とし、主治医が適当と判断する妊娠24週から35週の妊婦さんを対象と
しています。

実施内容

妊婦さん(上記対象者)が以下①、②の健診で、モバイル型胎児モニター[※]を装着して計測した胎児心拍や子宮の収縮状況のデータを、主治医(小樽協会病院またはおたるレディースクリニック)に送信して確認してもらうことができます。

①出張健診
余市協会病院での助産師出張健診時(2週間に1回、水曜日の午前中)に実施しています。
※2回に1回はかならず小樽協会病院、またはおたるレディースクリニックで対面健診を実施。
★小樽協会病院かかりつけの妊婦さんだけでなく、新たに
おたるレディースクリニックの妊婦さんもサービスをご利用
いただけるようになりました。

②在宅健診
リスク妊娠等で頻回の通院が必要な妊婦さんに対して、モバイル型胎児モニターを貸出します。自宅で計測したデータをもとに来院する必要性を評価することで、通院の負担を軽減できます。
★主治医が判断いたしますので、ご相談ください。

救急車等での母胎搬送中に胎児心拍や母胎陣痛をモバイル型胎児モニターで計測し、搬送先医療機関にリアルタイムでデータの共有等を行うことで、より安心安全な出産をサポートするための勉強会や訓練等を本事業で実証的に取り組んでいきます。

令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」に基づき、代表団体「メロディ・インターナショナル(株)」、参加団体「社会福祉法人 北海道社会事業協会小樽病院」、「余市町」の協力に基づいた事業です。
経済産業省 URL:<https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/koba/2021/k210205005.html>

詳しくはかかりつけ医(小樽協会病院・おたるレディースクリニック)、または余市町民生部子育て・健康推進課にお問い合わせください。

メロディ・インターナショナル(株) 〒761-0301 香川県高松市林町2217-44 ネクスト香川304 TEL:087-813-7362 HP: https://melody.international	社会福祉法人北海道社会事業協会 小樽病院 〒047-8510 北海道小樽市住ノ江1丁目6-15 代表電話 0134-23-6234	余市町民生部 子育て・健康推進課 〒046-8546 北海道余市郡余市町朝日町26番地 TEL:0135-21-2122
---	---	--



実施内容



事業をお知らせする：チラシの作成と「使い方ムービー」作成

自治体と医療機関の調整：問合せ窓口や体制を打合せ

フェムテックデバイスの導入：モバイル胎児モニター導入説明

学会発表：日本遠隔医療学会学術大会にて取り組み発表

アンケート調査：事業実施後のサーベイのための調査概要策定

勉強会の実施：余市消防署での周産期救急講習会実施調整

余市町・小樽協会病院と調整



実施内容



事業をお知らせする：チラシの作成と「使い方ムービー」作成

自治体と医療機関の調整：問合せ窓口や体制を打合せ

フェムテックデバイスの導入：モバイル胎児モニター導入説明

学会発表：日本遠隔医療学会学術大会にて取り組み発表

アンケート調査：事業実施後のサーベイのための調査概要策定

勉強会の実施：余市消防署での周産期救急講習会実施調整

フェムテックデバイスの導入説明



実施内容



事業をお知らせする：チラシの作成と「使い方ムービー」作成

自治体と医療機関の調整：問合せ窓口や体制を打合せ

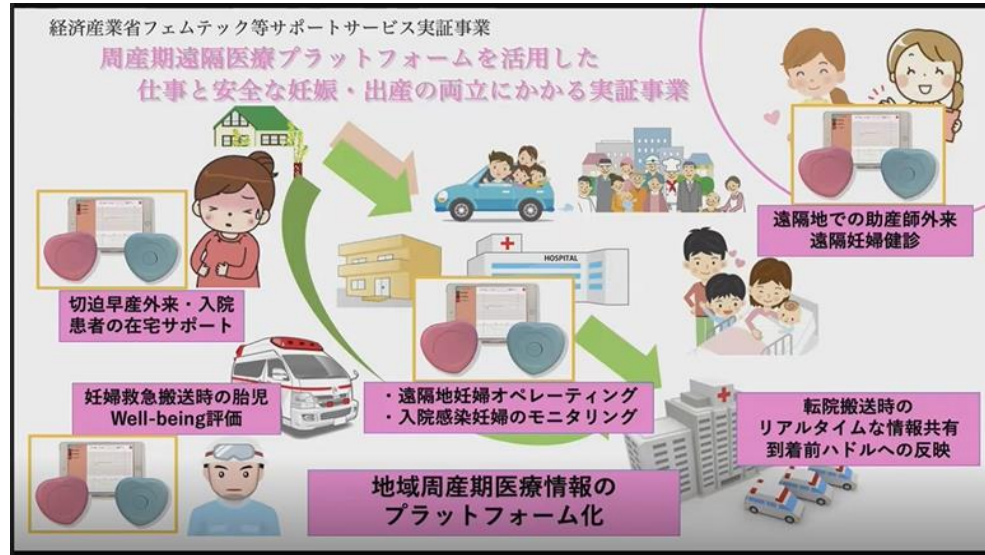
フェムテックデバイスの導入：モバイル胎児モニター導入説明

学会発表：日本遠隔医療学会学術大会にて取り組み発表

アンケート調査：事業実施後のサーベイのための調査概要策定

勉強会の実施：余市消防署での周産期救急講習会実施調整

日本遠隔医療学会学術大会にて発表



左：アプリを起動させたiPadからURLを入力したPC画面

No.1

No.2

No.3

助産師外来で計測された胎児心拍陣痛波形は当院の端末で良好に再現された

助産師外来での 遠隔妊婦健診

- ・ 検査者
 当院での外来に従事し業務内容を習得している
 アドバンス助産師 CLoCMIP (助産実践能力習熟段階) レベルIII
- ・ 検査項目
 血圧測定、体重測定、尿検査、下腿浮腫の確認、
 胎児超音波断層法検査、
 ICTG®を用いた胎児心拍陣痛図計測

第25回日本遠隔医療学会学術大会

地域と救急を支える遠隔医療

2021.10/9 Sat.-10 Sun

じゅうろくプラザ (JR 岐阜駅前)
 岐阜大学サテライトキャンパス

大会長	森田 浩之	岐阜大学 総合診療科・総合内科学
副大会長	矢部 大介	岐阜大学 健康学・身体応用科学 健康学・免疫科学
実行委員長	中島 英太郎	中部ろうさい病院 内科系診療部門 循環器・内分泌科
プログラム委員長	森 一郎	岐阜大学 大学院看護学専攻

実施内容



事業をお知らせする：チラシの作成と「使い方ムービー」作成

自治体と医療機関の調整：問合せ窓口や体制を打合せ

フェムテックデバイスの導入：モバイル胎児モニター導入説明


学会発表：日本遠隔医療学会学術大会にて取り組み発表

アンケート調査：事業実施後のサーベイのための調査概要策定

勉強会の実施：余市消防署での周産期救急講習会実施調整

サーベイ計画



『周産期遠隔医療プラットフォームを活用した仕事と安全な妊娠・出産の両立にかかる実証事業』に付帯する調査についてのメモ  RB-R&Co.

We support your business like a 脚立

1. 妊娠・出産の環境に関する調査概要

調査目的：余市町・北後志地域における妊娠・出産環境に対する現状と問題点の把握

調査対象：余市町・北後志地域在住の下記世代グループ

16～45 歳女性（プレ結婚・妊娠世代～子育て世代） / 約 2,500 サンプル

上記両親世代 / 約 5,000 サンプル

調査方法：市報同梱による留置調査（郵送による返送）

Web 調査（Google フォーム利用）

←設問は共通

調査項目：妊娠・出産を取り巻く各環境要因に対する評価

1. 医療機関に関する評価
 2. 職場環境に関する評価
 3. 地域コミュニティに関する評価
 4. 行政機関に関する評価
 5. 育児環境に関する評価
 6. 家庭環境に関する評価
 7. 地域における妊娠・出産環境に関する総合満足度
 8. 自由回答
- F. 属性質問

分析方法：各環境に関する評価を数値化し、総合満足度への寄与度を視覚化する。

また、属性別に寄与度を求めることによって、現状の課題点を抽出する。

告知方法：市報へのチラシ折込

各種公共機関や商業施設などでのチラシ・ポスター掲示

SNS でのターゲット広告（Facebook・LINE など）←Facebook 広告 500 円 / 日～ LINE 広告 1,000 円～

Web 調査はチラシ・ポスター・SNS 広告に QR コードを掲載し、リンク先へ誘導



実施内容



事業をお知らせする：チラシの作成と「使い方ムービー」作成

自治体と医療機関の調整：問合せ窓口や体制を打合せ

フェムテックデバイスの導入：モバイル胎児モニター導入説明

学会発表：日本遠隔医療学会学術大会にて取り組み発表

アンケート調査：事業実施後のサーベイのための調査概要策定

勉強会の実施：余市消防署での周産期救急講習会実施調整

事業を実施して分かってきたことや課題



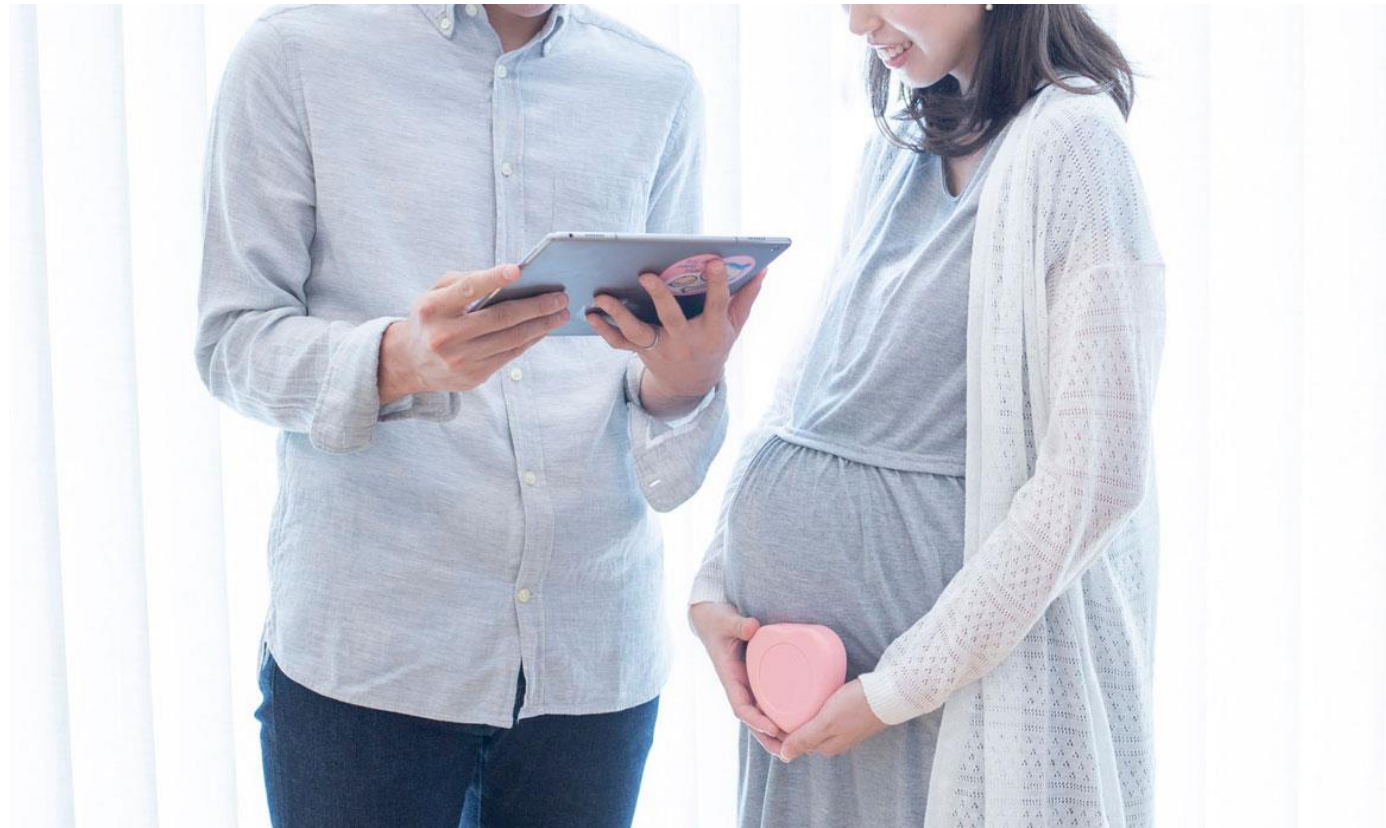
- 妊婦さんはフェムテックデバイス（iCTG）はすぐに習得出来る
 - スマホは慣れているので、使い方説明ビデオなどがあれば容易
- 医療機器の自治体窓口での受け渡しは業務上困難
 - 医療機関の積極的協力が必要となる
- 対象妊婦をどこまで広げることが出来るか／絞り込むか
 - 不必要な妊婦まで広げることで、医師によるカバーが困難になる
- 2週間毎の「妊婦健診回数を減らせる」という誤解
 - やはり、安全な医療を担保する必要がある
 - より頻回の健診が必要な妊婦の来院回数を増やさない方法
- 地域の消防組合のモチベーションは高い
 - とりわけ新生児蘇生に関する資格取得と連携することで、iCTGを使った搬送中の胎児モニタリングに興味を持ってもらっている
- 北後志（しりべし）から小樽への救急搬送ルート
 - 余市消防署を通らないルートの場合？
 - 余市消防署へ一端寄ることが可能かどうか？
 - 余市→小樽の30分間でも胎児モニターがあった方がより良い場合の絞り込み
 - 札幌まで搬送する場合小樽で医師がiCTGと一緒に乗り込む方法

今後の予定



- 在宅健診対象妊婦のリクルート
 - 在宅でのオンライン妊婦健診の実証
- 余市協会病院での出張妊婦健診
 - 2回に1回を地元で受診できる仕組み
- 消防署、助産師向けの講習
 - 座学と分娩ファントム、iCTGを用いた周産期救急講習会
 - 11月、12月、1月、2月に各月2回ずつ、北後志救急をはじめ小樽救急、おたるLC助産師を対象に、当院または主要消防署でコースを開催
- サービスに関するサーベイ
 - 妊婦さんと、医療従事者へのヒアリングとアンケート
 - 余市町住民（妊婦と家族）へのアンケート調査（Web調査）
- 余市モデルを他の地域へパッケージ化する為の検討
- 報告書作成

to be continued...



20.

女性従業員と企業へのワンストップソリューション伴走支援による
女性の健康課題解決と就業継続促進に向けた健康相談並びにセミナー事業
(代表団体：株式会社SUSTAINABLEME)



FeMind+biz
by SUSTAINABLEME

FeMind+biz

企業と女性従業員向けヘルスケアワンストップソリューション

概要資料 | 中間発表会用資料

SUSTAINABLEME Co.,Ltd.

「どの年代の女性も心身ともに健やかに自己実現できる社会」そんな未来を目指しています。
そのために、人とテクノロジーの「つながり」を意図したサービスを通して人々の健康意識を高める循環を生み出し、
人々を心身ともに健やかに、そして自己実現に近づけていきます。

会社概要

会社名	株式会社SUSTAINABLEME (サスティネーブルミー)
代表者	後藤 友美
設立	2021年1月15日
所在地	京都市右京区西院久田町21-1-412

Philosophy

Purpose	健やかな心身を通して輝く人を増やす
Vision	いくつになっても私を諦めない
Mission	つながりで健康意識を高める循環を生み出す

主要サービス

rubans

妊娠出産育児オンラインサービス
みつかる・つながる・とどける



FeMind

女性向けヘルスケアサービス
女性自身がカラダの変化を楽しみながら
やりたいことや夢を諦めないココロとカラダ作り



FeMind+biz

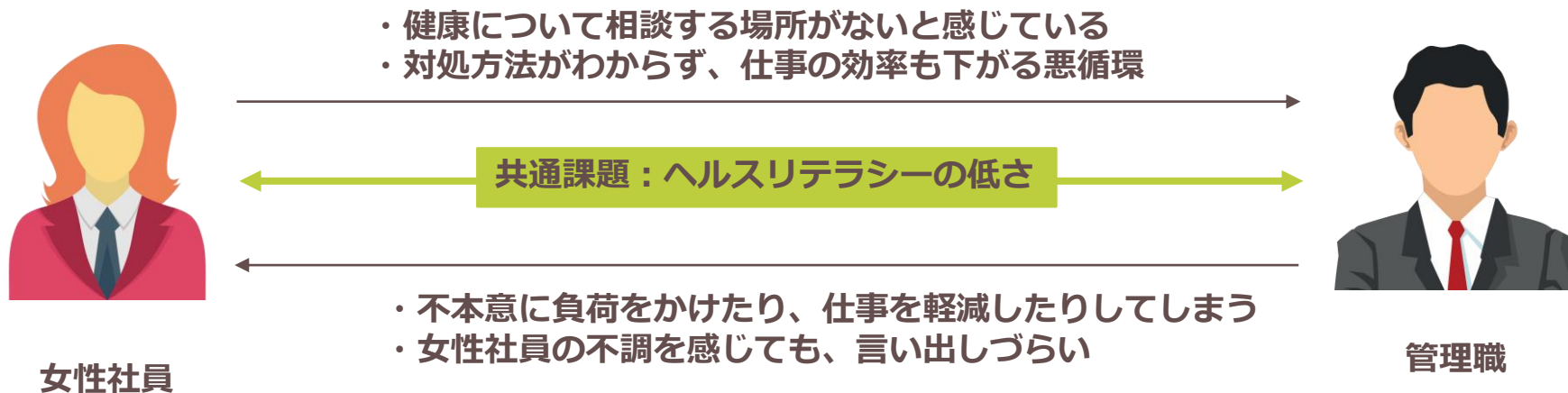
企業と女性従業員向けヘルスケアソリューション



今回のご提案サービス

女性の離職に繋がる、月経関連対策や妊活・妊娠、出産子育てなど女性特有の健康課題支援の欠如

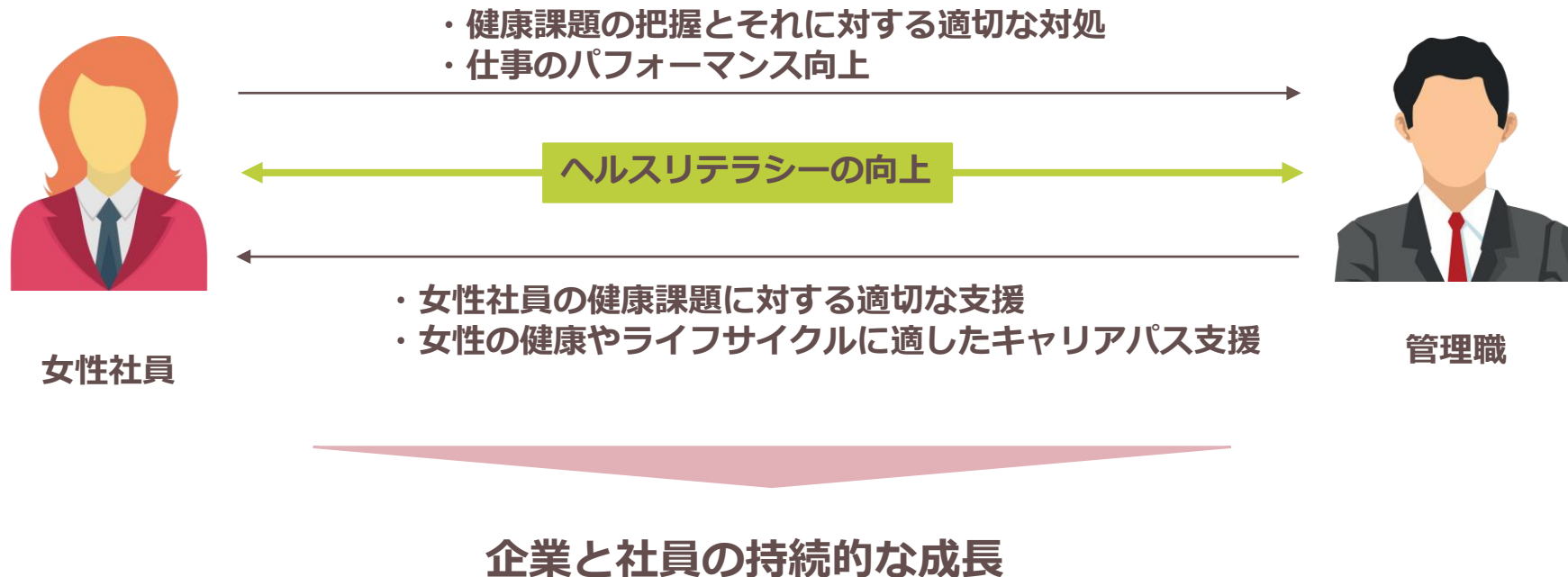
- ・ 女性社員の課題：①女性特有疾患や症状に対するヘルスリテラシーが低く対処方法を知らない
②女性特有の健康課題について職場内に相談する場所がないと感じている（7割以上*）
- ・ 管理職側の課題：①女性社員の健康課題が把握できず、女性社員に負荷をかけたり、不必要に仕事を軽減してしまう
②女性社員の健康課題を感じていても、自分から言い出しづらい



女性社員の離職と、企業の経済損失

人口減少時代においても、女性が活躍し働き続けられる環境提供で、企業も社員も持続的な成長を目指す

- ・ 女性社員：健康課題を把握し、必要なセルフケアを知り、必要に応じて専門家にアクセスすることで、就労に不安を感じることなく、働きがいを持って生き生きと働いていける
- ・ 管理職：女性特有課題の現状を把握し、女性従業員の声を反映させた、職場環境の整備とキャリアパス支援を行う



女性社員活躍のためのワンストップソリューション伴走支援

つながる

女性社員の
心理的安全性の確保



健康課題を改善につなげる
専門家オンライン相談

不安や健康課題を専門家に相談できる機会を提供します。
専門家より24時間以内にLINEチャットにて回答します。

きづく

女性社員の
働きがいの獲得



組織全体のリテラシー向上
企業内セミナー

女性従業員だけでなく、管理職や男性従業員にも、
婦人科系のヘルスリテラシーを高める機会を提供します。

ととのえる

女性社員の
離職防止と幹部社員輩出



働きやすい職場づくり
組織コンサルティング

オンライン相談の内容*やセミナーのフィードバック、
アンケートを通じ、組織改善のコンサルティングを行います。

*オンライン相談やアンケート内容は個人情報の秘匿性を担保し、実施いたします。

つながる



女性社員の心理的安全性の確保

健康課題把握・分析

問診の実施及び分析を行います。
分析結果は「問診結果戻し」としてお戻しさせていただきます。

専門家マッチング

問診結果を元に健康課題相談を行う専門家とのマッチングをご提案いたします。

オンライン相談

健康や妊娠出産、女性特有の健康課題にご不安を感じられる時、LINEチャットでいつでもご相談いただけます。

きづく



女性社員の働きがいの獲得

教育セミナーの提供

女性のヘルスケア及びヘルスリテラシー向上に関するセミナーをご提供いたします。
実施内容口組織課題やリテラシーレベルに合わせ、ご提案させていただきます。

- ・女性従業員向け
- ・管理職向け
- ・男性社員向け
- ・経営陣向け（オプション）

健康コラムの配信

女性の健康課題や活躍推進に関する情報を定期的に配信させていただきます

ととのえる



女性社員の離職防止と幹部社員輩出

組織改善コンサルティング

オンライン相談の内容*やセミナーのフィードバック、アンケートを通じ、組織改善のコンサルティングを行います。

女性のキャリア向上支援

産後復帰、子育て世代の女性のためのキャリアパスについて、内容や制度をご提案します。

包括的ダイバーシティ支援 *オプション

男性育児休暇の取得推進、LGBTや外国人労働者の環境整備を含めた包括的なダイバーシティ推進に資するご提案も可能です。

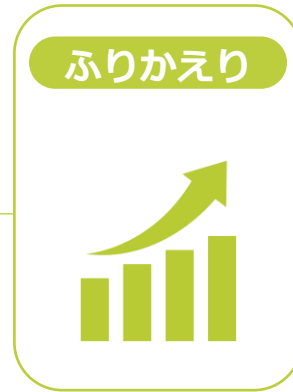
Step 1



- 課題把握 (アンケート実施)
- 提供内容要件定義

～10月下旬

Step 2 × 2



- オンライン相談
- 各種セミナー
- 健康コラム配信

振り返りと修正

第1クール

11月上旬～12月上旬

12月中旬 (2 weeks)

第2クール

1月中旬～1月下旬

2月上旬 (2 weeks)

Step 3



- 職場環境改善提案
- 女性のキャリアパス提案

2月中旬～下旬

スケジュール

企業様
担当事項

参加部署・参加人数の確定
社内アナウンス方法の確定
社内フローの確定

セミナー時のリマインド
コラムの社内メールへの配信
参加者へのアンケート配信

- **2社実施**
- **要点提議**

2社ともに抱える課題に個別性があり汎用性のあるサービス設定が必要である

- **健康課題**

女性従業員のみならず男性従業員を含めた健康課題支援を求めている

経済産業省 令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業」実証実験ご参画のご依頼

FeMind + bizは、本経産省事業に採択され、今年度、開発していく新規事業です。

共に事業開発と実証に協力して下さるパートナー企業様を探しています。

経済産業省

フェムテック 事業 委託

PwCコンサルティング合同会社

※成果の広報

株式会社

SUSTSINABLE ME

日本産前産後ケア

・子育て支援学会

パートナー

企業様

株式会社Spero（ビジネス支援）

FeMind + biz
の座組み

女性の活躍推進の取り組みを加速させ
一人でも多くの方が生き生きと働き続けられるように
ぜひ貴社で本サービスをお役立て頂ければ幸いです



FeMind+biz
by SUSTAINABLE ME

▶ お問い合わせ Mail : info@sustainableme.co.jp

“

パネルディスカッション

パネルディスカッション

『生涯を通じた女性の健康推進のために』

<モデレータ>

経済産業省 経済産業政策局 経済社会政策室 室長補佐 春口 浩子氏

<パネリスト>

内閣府 男女共同参画局 推進課 課長補佐 岸 彩子氏

厚生労働省 健康局健康課 女性の健康推進室 室長 松村 漠志氏

経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 課長補佐 丸山 晴生氏

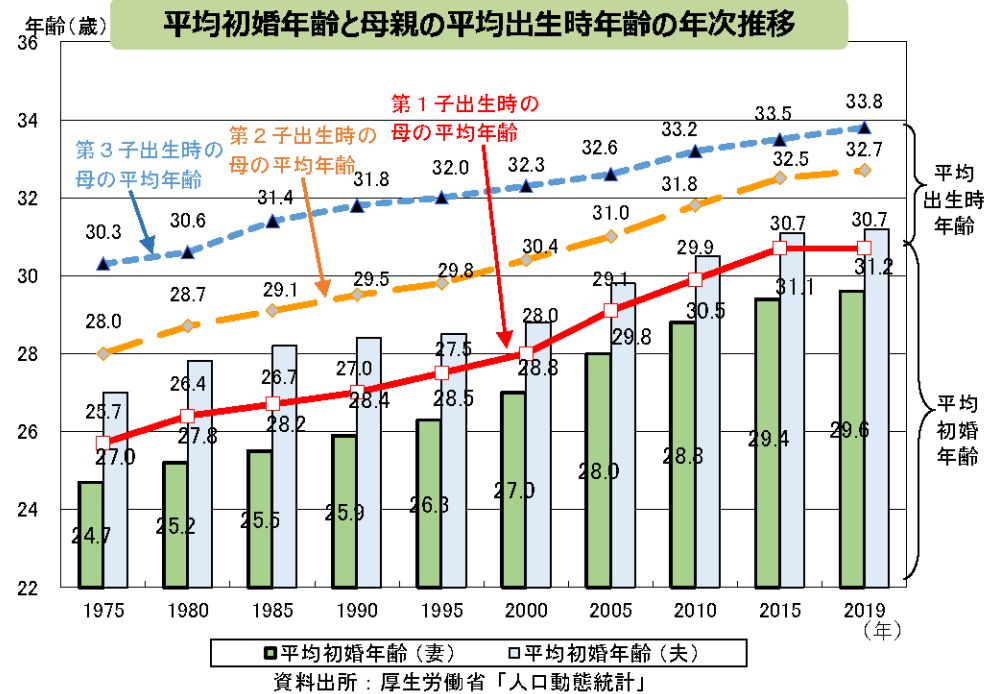
各省庁の方針・施策紹介

なぜ国として
女性の健康支援に取り組むのか

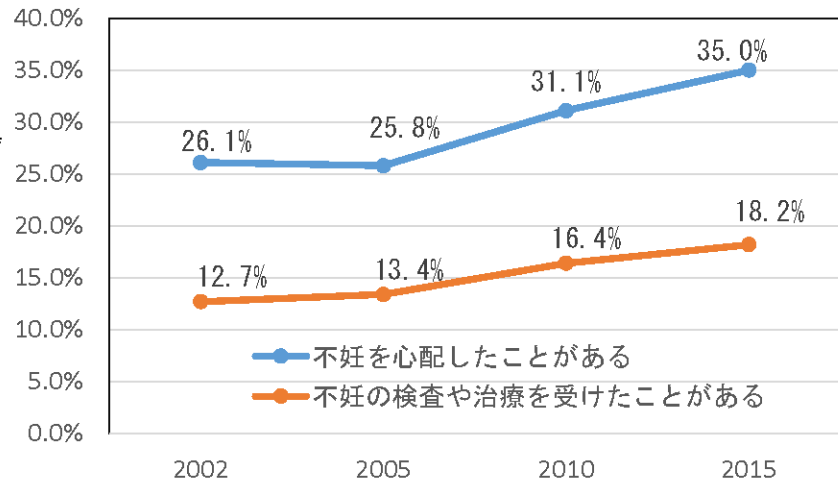
女性の健康支援について

令和3年11月9日
内閣府男女共同参画局

基本認識のポイント



不妊の検査や治療を受けたことがある夫婦の割合



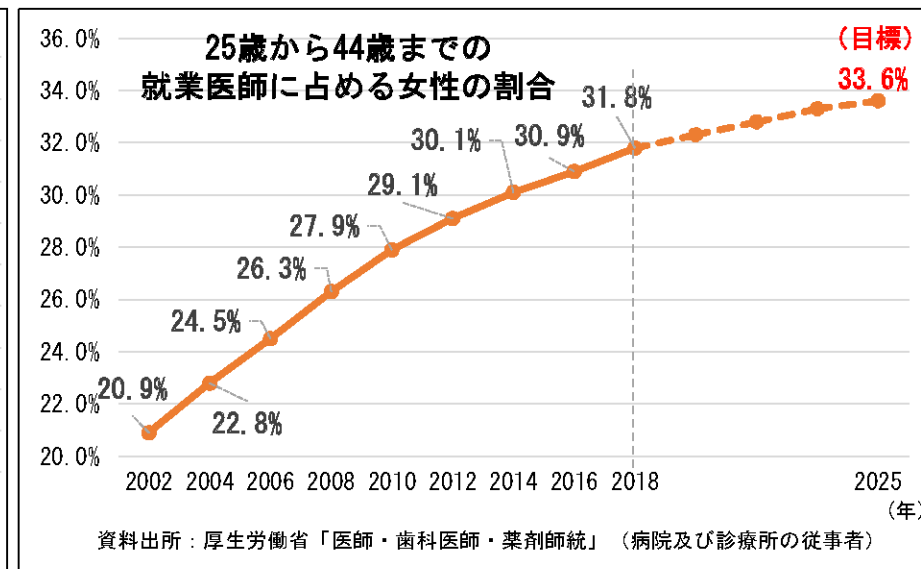
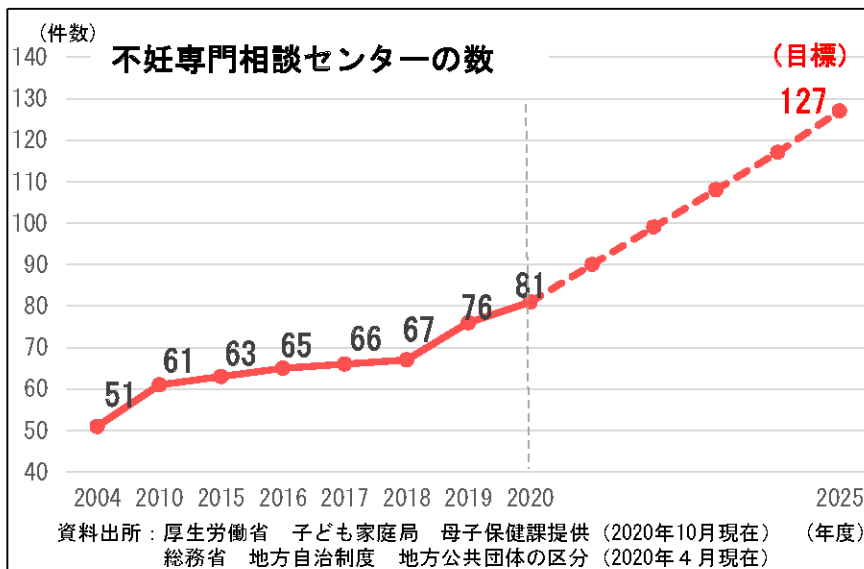
資料出所：国立社会保障・人口問題研究所「社会保障・人口問題基本調査」(各年版)
 (注) 妻の年齢が50歳未満の初婚どうしの夫婦を対象(回答者は妻)に調査

- 男女が互いの**身体的性差を十分に理解**し、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会の形成に当たっての大前提。
- 女性の心身の状態は、年代によって大きく変化するという特性があり、「**リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)**」の視点が殊に重要。
- 健康の社会的決定要因とその影響は男女で異なる。**性差に応じた確な保健・医療**を受けることが必要。
- 近年、**生涯出産数の減少**による月経回数が増加、**晩婚化**等による**初産年齢の上昇**、**平均寿命の伸長**など様々な要因により女性の疾病構造が変化。
- 不妊治療**を希望する男女が増えており、**経済的負担の軽減**や、**仕事との両立支援**が求められる。
- 人生100年時代**を見据え、**更なる活躍や健康寿命の延伸**のために、**更年期前後からの健康支援**が重要。
- 新型コロナウイルス感染症に対して不安を抱える**妊産婦が安心して出産や育児**ができるよう、助産師、保健師等による寄り添った支援を行うことが重要。
- 医師の働き方改革**を進めるとともに、政策・方針決定過程への**女性の参画拡大**を働きかける。
- 女性スポーツ競技者**が、**健康で活躍できる環境を整備**するとともに、**引退後も活躍できるような支援**が必要。

主な具体的取組と成果目標

- ・子宮頸がん検診・乳がん検診の更なる受診率向上に向けた取組を行う。
- ・予期せぬ妊娠の可能性が生じた女性が、処方箋なしに緊急避妊薬を適切に利用できるよう検討する。
- ・不妊治療の経済的負担の軽減と、不妊治療と仕事との両立に関する職場環境の整備を進める。
- ・若年層に対して、早い段階から妊娠・出産の知識を持ち、自分の身体への健康意識を高めることを含む、健康に関する包括的な教育・普及啓発を実施し、相談体制を整備する。
- ・職場等における更年期の健康に関する研修や啓発活動の取組及び相談体制の構築を促進する。
- ・女性医師の更なる活躍に向けて、医師の働き方改革や、指導的地位に占める割合を高める等取組を推進する。
- ・「スポーツ団体ガバナンスコード」で設定された女性理事の割合(40%)達成に向けた具体策の策定を支援する。
- ・競技者に対する性的意図を持った写真や動画の撮影・流布などによるハラスメントの防止に向けた取組を推進する。また、各スポーツ団体における、競技者等に対する各種ハラスメント根絶に向けたコンプライアンス教育の実施を推進する。

項目	現状	成果目標(期限)
不妊専門相談センターの数	81都道府県市 (2020年度)	全都道府県・指定都市・中核市 (2025年度)
25歳から44歳までの 就業医師に占める女性の割合	31.8% (2018年)	33.6% (20年代の可能な限り早期に)



「女性活躍・男女共同参画の重点方針2021」（抄）

（令和3年6月16日政府決定）

I コロナ対策の中心に女性を

（3）「生理の貧困」への支援

経済的な理由で生理用品を購入できない女性がいるという「生理の貧困」問題が顕在化しており、女性の健康や尊厳に関わる重要な課題となっている。

このため、地方公共団体が、女性への寄り添った相談支援の一環として行う生理用品の提供を、地域女性活躍推進交付金により支援する。その際、地方公共団体に対し、生理用品の提供だけでなく、それを一つのきっかけとして、「生理の貧困」にある女性の背景や事情に丁寧に向き合い、きめの細かい寄り添った相談支援を充実するよう促す。【内閣府】

また、多様かつ複合的な困難を抱える子供たちに対し、地方公共団体がニーズに応じた支援を適切に行うための取組を支援する地域子供の未来応援交付金により、子供たちと支援を結びつけるための必要な支援を実施する。【内閣府】

これらの交付金について、文部科学省や厚生労働省において、各学校や学校設置者、ハローワーク、福祉事務所等における生理用品の提供に関する積極的な協力や関係部局の連携、適切な相談支援等周知、要請を行い、この交付金の活用が進むよう努める。【内閣府、文部科学省、厚生労働省】

また、小・中・高等学校等において生理用品の入手に困難が生じている児童生徒が判明した場合は、養護教諭やスクールソーシャルワーカー等が連携し、生活支援や福祉制度につなぐ。【文部科学省】

さらに、コロナによる女性の生活習慣等への影響を調べる調査の一環として、「生理の貧困」がもたらす健康影響についても令和3年度から調査する。【厚生労働省】

加えて、「生理の貧困」に係る取組の横展開に資するよう、防災備蓄や企業・住民からの寄付を活用した事例など、各地方公共団体における取組の情報提供を令和3年春から開始する。【内閣府】

「女性活躍・男女共同参画の重点方針2021」（抄）

（令和3年6月16日政府決定）

III 女性が尊厳と誇りを持って生きられる社会の実現

（2）女性の生理と妊娠等に関する健康

○不妊治療等を希望する方への支援

子供を持ちたいという方々の気持ちに寄り添い、不妊治療への保険適用を早急に実現する。具体的には、令和3年度中に詳細を決定し、令和4年度当初から保険適用を実施することとし、工程表に基づき、保険適用までの作業を進める。保険適用までの間、所得制限の撤廃や助成額の増額（1回30万円）等、大幅に拡充した現行の不妊治療の助成制度による支援を行う。また、不育症の検査についても、令和3年度から支援を行う。【厚生労働省】

あわせて、小児・AYA世代（Adolescent and Young Adult：思春期・若年成人）のがん治療に関し、妊孕性温存療法にかかる費用負担の軽減を図りつつ、妊孕性温存療法の有効性等のエビデンス創出など、妊孕性温存療法の研究を促進する。【厚生労働省】

また、不妊治療と仕事との両立に関する理解を深め、不妊治療を受けやすい職場環境整備を推進するため、事業者向けセミナーや、両立しやすい職場環境整備に取り組む中小企業事業主に対する助成を行う。【厚生労働省】

○「不妊予防支援パッケージ」（仮称）の策定

女性のライフステージや生活環境に寄り添った支援を行い、気づかれにくい不妊リスクをなくしていくための「不妊予防支援パッケージ」（仮称）を早急に策定する。【内閣府、文部科学省、厚生労働省】

「女性活躍・男女共同参画の重点方針2021」（抄）

（令和3年6月16日政府決定）

III 女性が尊厳と誇りを持って生きられる社会の実現

（2）女性の生理と妊娠等に関する健康

○生理に伴う様々な困難を相談しやすい環境整備の推進

小・中・高等学校等において、月経関連の症状を始めとする生理に関する様々な症状の児童生徒に対し、必要に応じて産婦人科等の受診につなぐ。また、「女性の健康推進室ヘルスケアラボ」等の情報提供について、児童生徒を始め誰もが分かりやすい情報を充実させる。これらにより、児童生徒を始め誰もが生理などの体の悩みを気兼ねなく産婦人科等に相談できる環境の整備に努める。【文部科学省、厚生労働省】

生理休暇を必要とする女性労働者が当該休暇を取得しやすい環境の整備のため、職場における生理に関する理解を深めることができるよう、生理休暇制度等について工夫して周知広報を行う。【厚生労働省】

○若年層に対する包括的な教育・普及啓発の推進

医学的に妊娠・出産に適した年齢、計画的な妊娠など、妊娠の計画の有無に関わらず、早い段階から妊娠・出産の知識を持ち、自分の身体への健康意識を高めることができるよう、地方公共団体の優良事例の情報共有を行うなど、教育・普及啓発を推進する。【文部科学省】

「女性活躍・男女共同参画の重点方針2021」（抄）

（令和3年6月16日政府決定）

III 女性が尊厳と誇りを持って生きられる社会の実現

（2）女性の生理と妊娠等に関する健康

○フェムテックの推進

いわゆるフェムテック¹²関連製品（月経カップ、吸水ショーツ、各種デバイス等）について、正確な情報を提供しつつ、性能や品質が担保された上で、消費者に速やかに普及することができるよう、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」上の位置づけと必要な規制の詳細等について産官で議論する場を設け、令和3年度内を目途に一定の結論を得る。また、働く女性の月経や妊娠・出産、更年期障害等、女性特有のライフイベントに起因する望まない離職を防ぐため、フェムテック製品・サービスの利活用を促す仕組み作りを令和3年度から支援する。【厚生労働省、経済産業省】

○緊急避妊薬

予期せぬ妊娠の可能性が生じた女性が、緊急避妊薬を処方箋なしに薬局で適切に利用できるようにすることについて、令和3年度中に「医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議」で検討を開始し、国内外の状況等を踏まえ、検討を進める。【厚生労働省】

12 フェムテックとはFemale（女性）とTechnology（技術）からなる造語であり、生理や更年期などの女性特有の悩みについて、先進的な技術を用いた製品・サービスにより対応するもの。

第2章 次なる時代をリードする新たな成長の源泉～4つの原動力と基盤づくり～

5. 4つの原動力を支える基盤づくり

(2) 女性の活躍

今般の感染症の拡大によって顕在化した配偶者等からの暴力や性暴力の増加・深刻化の懸念や女性の雇用・所得への影響、女性の自殺者の増加等は、男女共同参画の重要性を改めて認識させることとなった。支援を必要とする女性が誰一人取り残されることのないよう、今ほど男女共同参画の視点が求められている時代もない。

全ての女性が輝く令和の社会を実現するために、「第5次男女共同参画基本計画」⁸⁸及び「女性活躍・男女共同参画の重点方針2021」⁸⁹に基づき、女性デジタル人材育成、ひとり親に対する職業訓練、「生理の貧困」への支援など女性に寄り添った相談支援、フェムテック⁹⁰の推進、妊産婦や困難を抱える女性への支援といったコロナ禍で大きな影響を受けている女性への支援、養育費の不払い解消、女性の登用・採用の拡大を含めた幅広い分野における政策・方針決定過程への女性の参画拡大、女性の視点も踏まえた税制や社会保障制度等の検討⁹¹、性に関する教育、性犯罪・性暴力対策の強化などの取組を推進する。また、緊急避妊薬を処方箋なしに薬局で適切に利用できるようにすることについて、本年度中に検討を開始し、国内外の状況等を踏まえ、検討を進める。感染症に伴う配偶者等からの暴力の増加、深刻化の懸念を踏まえ、相談体制の充実などの取組を引き続き推進する。また、非正規雇用労働者に女性が多いことを踏まえ、非正規雇用労働者の待遇改善を図るとともに、出産後に女性の正規雇用比率が低下するいわゆるL字カーブの解消に向け、女性の正規化への重点的な支援、男性の育児休業取得促進を図る。さらに、安全・安心な親子の面会交流のための具体策の検討を進める。(略)

88 令和2年12月25日閣議決定。

89 令和3年6月16日すべての女性が輝く社会づくり本部・男女共同参画推進本部決定。

90 フェムテックとはFemale(女性)とTechnology(技術)からなる造語であり、生理や更年期などの女性特有の悩みについて、先進的な技術を用いた製品・サービスにより対応するもの。

91 女性活躍・男女共同参画の重点方針2021参照。

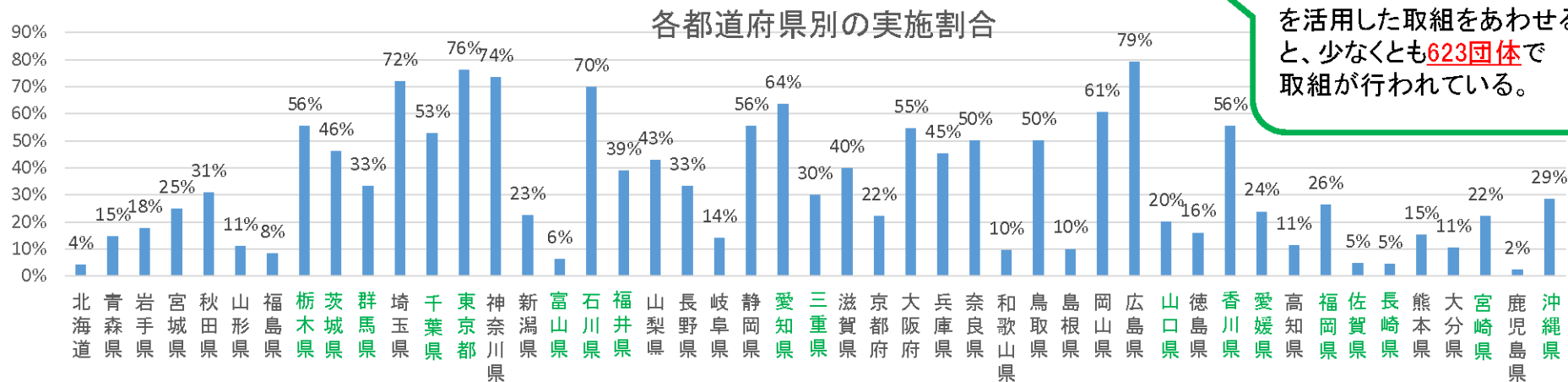
「生理の貧困」への支援

【調査結果】

- ・「生理の貧困」に係る**取組を実施している(実施した・実施を検討している)ことを今回把握した地方公共団体の数は581団体**。
※前回調査(第1回調査 2021年5月19日時点)で把握した地方公共団体の数は255団体。
- ・調達元としては、**防災備蓄**が最も多く、次いで**予算措置(予備費の活用も含む)**、**企業や住民等からの寄付**が多い。
社会福祉協議会や教育委員会と連携して取組を実施している例、民間事業者と協定を締結して無料のナプキンディスペンサーを設置することで継続的に支援を行う仕組みを構築している例もある。

●調査方法

- ・各道府県に対し、**2021年7月20日時点**の「生理の貧困」に関する道府県及び管内市町村の取組状況について照会し、把握している情報を回答いただき掲載。
東京都については、東京都の取組及び内閣府男女共同参画局において把握した都内市区町村の取組を掲載。
- ※1 「検討中」等と回答した場合も含む。また、配布等の取組を終了している場合も含む。
- ※2 各市区町村の最新の情報がすべて把握されているものではない。
- ※3 市区町村の取組に加え、都道府県が実施主体となる取組を含む。(例: 県所管施設や県立学校等における配布、県が調達した生理用品を管内市町村に配分し配布等)
- ※4 本調査の取組とは別に、地域女性活躍推進交付金を活用した取組が76の地方公共団体で行われている(交付決定ベース)。
 - <参照> 地域女性活躍推進交付金(つながりサポート型)に係る第1回公募結果について https://www.gender.go.jp/policy/chihou_renkei/kofukin/r03/01.html
 - また、地域子供の未来応援交付金等を利用して取組を行っている地方公共団体もある。



※各都道府県の実施割合は、各都道府県内で「生理の貧困」に係る取組を実施している地方公共団体数を、管内市区町村数+1で除して算出(市区町村数は、2021年7月20日時点)。
 ※実施主体に都道府県を含む場合、都道府県名は緑色に着色している。

「生理の貧困」に係る地方公共団体の取組における工夫と効果

相談窓口の案内

- 生活支援相談窓口や女性相談窓口など、各種相談窓口に関する情報(電話番号やQRコードなど)を掲載したチラシやリーフレットをあわせて渡している。
- 各種支援制度をまとめたパンフレットをあわせて渡している。

<支援につながった例>

- 生理用品と一緒に渡した相談窓口のリーフレットを見て、電話や来庁での相談があった。
- 生理用品の紙袋に同封したチラシをきっかけに、相談窓口の存在を知った方が相談に訪れ、必要な支援につながった。

提供方法の工夫

- 公共施設や小中学校のトイレに生理用品を備えることで、自由に受け取れるようにしている。
(生理用品を箱に入れて置く例や、民間事業者と協定を締結して無料のナプキンディスペンサーを設置する例などがある。)
- 生活支援相談窓口、社会福祉協議会、男女共同参画センター、保健センターなど、各種相談窓口を提供場所とすることで、必要な相談支援につなげやすくしている。
- 意思表示のカードを提示・指差しすることで、声に出さなくても生理用品を受け取れるように配慮している。
- 児童生徒が抱える不安や悩みを養護教諭等に相談できる機会となるよう、保健室で生理用品を提供している。

個別ニーズの把握

- 生理用品を提供する際に、困りごとや悩みごとがないか、声掛けを行っている。
- 生活上の困りごとや悩みごとを把握するため、任意でアンケートの記入をお願いしている。

<支援につながった例>

- 声掛けをきっかけに、仕事や家庭のことで悩んでいることがわかったので、しかるべき相談支援につなげた。
- 新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少を訴えたため、緊急小口資金や総合支援資金の貸付を行っている社会福祉協議会を案内した。

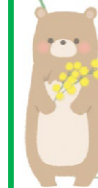
その他関係する取組

- 様々な困難を抱える方を支援する民間団体と連携して取り組むことで、包括的な支援体制を構築している。
- 取組をきっかけに、地域住民から生理用品の寄付の申出が増えた。
- 生理をテーマとして、自分のからだを大切にすることなどを学ぶイベントを開催した。

東京都豊島区の例

ご必要な方に 生理用品をお渡ししています

生理用品は毎月使うもの。でも大変……。
コロナ禍も長びく中、さまざまな事情で
生理用品のご用度が大変な方が増えています
豊島区では、防災備蓄用の生理用品を活用し
必要な方にお配りしています



0. 市福祉の付印 (ハスター)

カードをご利用ください



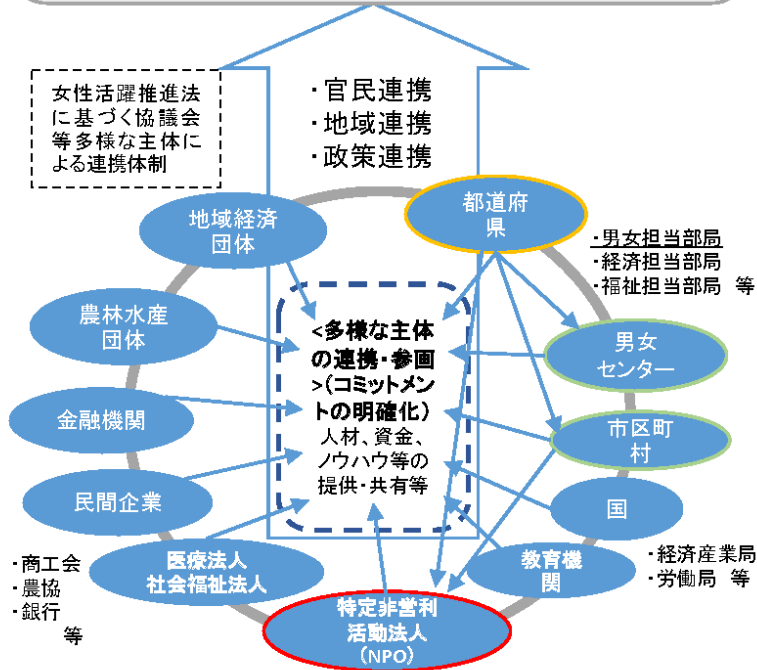
生理用品が必要であることを
お声に出さなくても大丈夫です
窓口はこのカードをご提示ください
お願いします

地域女性活躍推進交付金

(令和2年度予算1.5億円、2年度第3次補正予算1.5億円+追加措置13.5億円、3年度予算1.5億円)

<地域における女性活躍の推進・課題解決>

- 「地域性」を踏まえた・定量的成果目標設定・「見える化」
(新型コロナウイルスの感染拡大による望まない孤独・孤立で不安を抱える女性や解雇等に直面する女性をはじめ様々な困難・課題を抱える女性に対する支援、ポストコロナを見据えた女性デジタル人材の育成、女性の登用拡大等)



【交付対象】

地方公共団体

【補助率】

①活躍推進型、②寄り添い支援型：1/2

③つながりサポート型：3/4

【交付上限】

各区分ごと
都道府県 800万円(注)

政令指定都市 500万円

市区町村 250万円

ただし、③は一律1125万円

(注) 推進計画未策定市町村への策定支援事業実施等の条件付きで1,000万円とする。

① 活躍推進型

女性デジタル人材や管理職・役員の育成など女性の参画拡大を推進
デジタル分野のスキル向上、女性管理職・役員育成セミナー、起業支援、就労や正規雇用化に向けたセミナー・研修、トップの意識改革、一般事業主行動計画策定の後押し 等

② 寄り添い支援型

様々な課題・困難を抱える女性に寄り添い、意欲と希望に応じて、就労までつなげていく支援

多様な課題・困難に対する寄り添った相談支援、自立支援や就業支援への連携
女性に特化した自立支援・意識向上プログラム 等

③ つながりサポート型 ※追加措置部分

孤独・孤立で不安を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することができるよう、NPO等の知見を活用(総事業に占める委託の割合が3/4以上)したきめ細かい支援

NPOによるアウトリーチ型の相談、居場所の提供、女性用品の提供
NPOスタッフ、男女共同参画推進員、民生委員等、相談や支援を行う人材の養成 等

地方公共団体
(関係団体と
連携)

申請

交付

内閣府

情報提供

他の地域の

- 地方公共団体
 - 地域経済団体
- 等

女性の健康、女性特有の健康課題に関するニーズと施策

令和3年11月

厚生労働省

健康局健康課女性の健康推進室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

厚生労働省におけるライフステージに応じた女性の健康づくり支援

思春期

性成熟期

出産期

更年期

高齢期

女性健康支援センター

- 全国84ヵ所（2020年8月1日時点）※自治体単独14ヵ所
- 各ライフステージに応じた身体的・精神的な悩みに関する相談指導や、相談指導を行う相談員の研修を実施

性感染症対策

- 性感染症検査（性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、梅毒、淋菌感染症の5疾患）・相談等の実施

摂食障害

- 摂食障害全国支援センターを1ヵ所（東京）、摂食障害支援拠点病院を4ヵ所（宮城、千葉、静岡、福岡）に設置
- 全国摂食障害対策連絡協議会を年2回開催

がん検診（子宮頸がん・乳がん等）・骨粗鬆症検診等

- 子宮頸がん検診（20歳以上）、乳がん検診（40歳以上）等
- 骨粗鬆症検診（40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳及び70歳）

安心して妊娠、出産するための支援及び体制整備

- 子育て世代包括支援センター
・実施市町村数：761市区町村（1,436ヵ所）（2018年4月1日現在）
・「母子保健サービス」と「子育て支援サービス」を一体的に提供できるよう、きめ細かな相談支援等を行う。
- 産前・産後サポート事業、産後ケア事業
- 妊産婦健診
- 周産期医療体制の充実 等

働く女性の母性保護、母性健康管理

- 産前産後休業等、妊産婦のための健康診査の時間確保等

仕事と育児の両立支援

- 育児休業等両立支援制度の整備、育児休業中の経済支援、両立支援に取り組む事業主への支援等

介護予防
(認知症予
防含む)

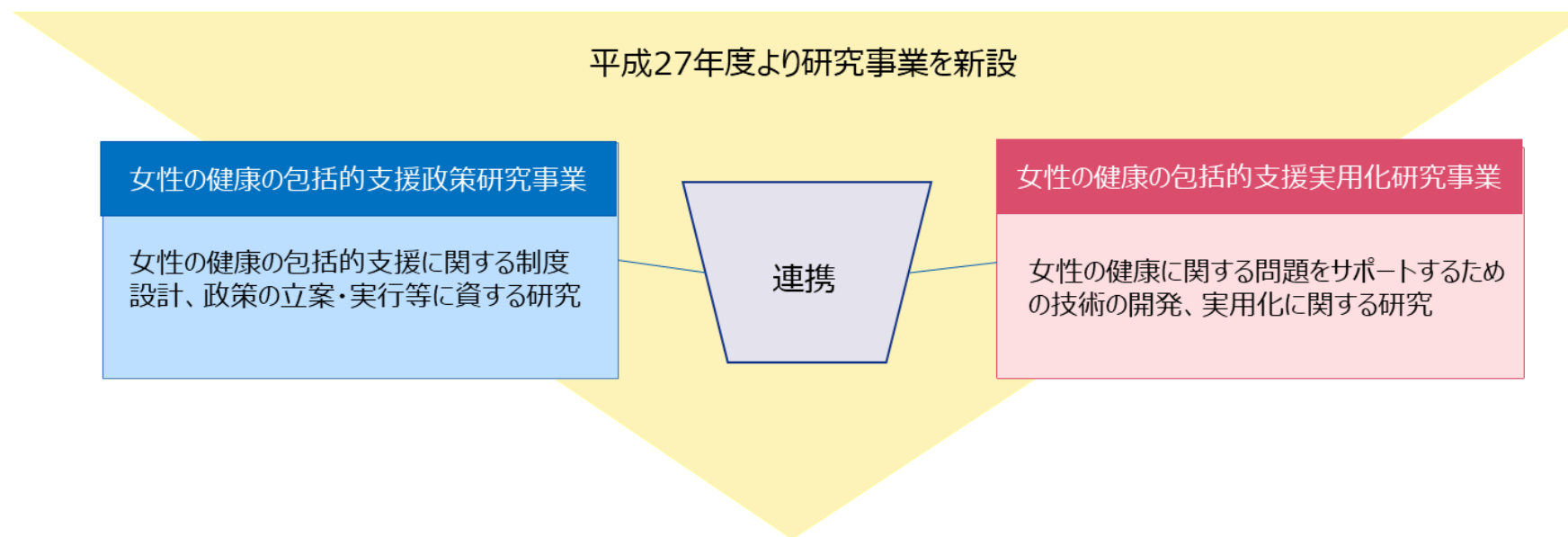
女性の健康の包括的支援に向けた研究、情報発信・普及啓発



女性の健康の包括的支援における研究事業

女性の健康の包括的支援に関する課題

- 女性の健康についてはその心身の状態が人生の各段階に応じて大きく変化するという特性に着目した対策
- 女性の就業等の増加、婚姻をめぐる変化、平均寿命の伸長等に伴う女性の健康に関わる問題の変化に応じた対策
- 女性の健康に関する調査研究を推進し、その成果の普及・活用を図ること 等



今後の方向性

- 女性ホルモンの状況がライフステージごとに劇的に変化するという特性を踏まえた取組や、社会的な側面を含めた生涯にわたる支援を推進し、女性の健康施策を総合的にサポートするため、我が国における実態を正確に把握した上で、女性の健康を生涯にわたり包括的に支援するための研究について、引き続き取り組む。

ホームページ「女性の健康推進室ヘルスケアラボ」

多くの女性が直面する月経の悩みや、妊娠・出産に関する疑問、様々な体調不良等に関して、情報提供しています。

女性の健康推進室
ヘルスケアラボ
HealthCareLab

はじめに 女性の健康ガイド 病気を調べる セルフチェック マタニティトラブル レシビ

「女性の健康推進室 ヘルスケアラボ」は、すべての女性の健康を支援するために厚生労働省の研究所が作成しました。

ピックアップ

頭痛、腹痛、ふらふらする...
思春期に多い
体の不快な症状と病気

2018/02/15 女子カアップレシビ「おたねバナナムービー」...
2018/01/15 女子カアップレシビ「腸子科と大腸の食物繊維」...
お知らせ一覧

はじめに すべて女性の健康について詳しく女性のからだごころの特性

病気を検索 気になるキーワード、症状で調べる
病院検索 関連施設へのご案内です。

ライフステージ別女性の健康ガイド

すべて表示 小児期・思春期 成人期 更年期 老年期 妊娠・出産

TOP > これって病気かな？女性の病気セルフチェック

これって病気かな？女性の病気セルフチェック
「もしかして病気かも？」と不安になったとき、気になる病気をセルフチェックしてみましょう。

- 子宮頸がんチェック
- 子宮体がんチェック
- 乳がんチェック
- 子宮内膜症チェック
- 子宮筋腫チェック
- 生理痛チェック
- 月経前症候群(PMS)/月経前不快気分障害(PMDD)チェック
- 不妊症チェック
- 性行為感染症チェック
- 更年期障害チェック
- 過活動膀胱チェック
- うつ症状チェック
- 不眠症チェック

女性の健康ガイド

- はじめに
- みんな悩んでる 月経のトラブル
- 女性に多い からだの不快な症状と病気
- 人に相談しにくい デリケートな悩み
- これって大丈夫？ 小児期の気がかり
- こどもからおとなへ 思春期って何
- 思春期に多い からだの不快な症状と病気
- ひとりで悩まない 思春期の性と健康
- 要注意！早めに気づいて 子宮と卵巣の病気
- 早めの準備が大切 妊娠・出産のこと

マタニティトラブルQ&A
妊娠中の疑問をいつでもどこでも解決

- 妊娠中の生活あれこれ
- おしものトラブル
- からだの変化と不調
- 体調の変化
- 産後のこと
- 妊娠中や授乳中の薬

厚生労働科学研究費補助金
女性の健康の包括的支援政策研究事業
研究代表者：藤井知行 <http://w-health.jp/>



女性の健康週間（3月1日～8日）

女性の健康に関する知識の向上と、女性を取り巻く健康課題に対する社会的関心の喚起を図り、「女性の健康週間」を通じて女性の健康づくりを国民運動とし、国及び地方公共団体、関係団体等社会全体が一体となって、各種の啓発事業及び行事等を展開することで、女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすことを総合的に支援しています。厚生労働省では、例年「女性の健康週間」に合わせてイベント等を実施しています。

令和2年度

- 以下をテーマに女性の健康週間特設Webコンテンツを作成し、公開。
- テーマ「知ろう！つくろう！女性の健康～みんなで学ぼう 生理について～」
- 三原副大臣及び宇賀なつみさんによる女性の健康週間の紹介動画
- 専門家による「月経」「女性の健康づくりに関する男女の教育・支援」に関する情報提供

令和元年度

- 以下をテーマに女性の健康週間特設Webコンテンツを作成し、公開。
- テーマ「Women's Health Japan Update 2020 – 女性の健康支援に必要なこととは –」
- Webコンテンツを通じて、自治体と職場、雇用側と働き手、若年者向け支援と高齢者向け支援など、様々な立場や視点から、女性の健康支援のあり方に関して情報提供や提案を行う。

平成30年度

- 以下の2回の対面イベントを開催。
- 「健やか女性活躍フォーラム - Begin toward -」（平成31年3月3日）
 - 「人生100年時代の女性の健康戦略」をテーマとした基調講演や、各団体の取組発表、パネルディスカッション
- 「女性の健康週間イベント」（平成31年3月4日）
 - 「今、求められる女性の健康への取り組みについて」、「今、企業に求められる女性の休養へのアプローチについて」をテーマに講演やパネルディスカッションを開催。

予防・健康づくりに関する大規模実証事業 (運動、栄養、女性の健康、がん検診、健康まちづくり)

● 事業のねらい：予防・健康づくりを推進するために必要なエビデンスの確認・蓄積

背景	「経済財政運営と改革の基本方針(骨太)2019」において、疾病・介護予防に資する取組に対してエビデンスに基づく評価を反映していくことが重要であるとの方針が示されたことを踏まえ、令和2年度より厚生労働省及び経済産業省にて、エビデンス構築のための「予防・健康づくりに関する大規模実証事業」を計13事業を実施する。
目的	健康局では上記のうち5つの実証事業を実施し、予防・健康づくりを推進するために必要な健康増進効果等のエビデンスを確認・蓄積、これらのエビデンスについて我が国の健康づくり政策への活用・反映を検討する

● 事業の概要：健康局では、(ア)運動、(イ)栄養、(ウ)女性の健康、(エ)がん検診、(オ)健康まちづくりの5つの実証事業を実施

(ア) 健康増進施設における標準的な運動プログラム検証のための実証事業

利用者の疾患(高血圧・糖尿病・高脂血症等)を勘案した、健康増進施設における標準的な運動プログラム(健康運動指導士、医師等による管理・施設利用)による介入群と非介入群を比較し、当該プログラムの介入効果及び継続率等に及ぼす効果を検証する

(イ) 食行動の変容に向けた尿検査及び食環境整備に係る実証事業

食塩含有量が多い外食や加工食品等を頻繁に利用している働きざかり世代を主な対象とし、「健康診査の機会における尿中塩分測定(ナトリウム/カリウムの比率等)と専門職による介入」及び「食環境整備」の2つの事業を実施し、食生活の改善に向けた行動変容、特に食塩摂取状況の変化について検証

(ウ) 女性特有の健康課題に関するスクリーニング及び介入方法検証のための実証事業

女性特有の健康課題として、「やせと低栄養」、「月経困難症」を対象に、特定健診や事業主健診等におけるスクリーニングや介入の効果検証を行うとともに、全国に導入する際の実現可能性についても検証する

(エ) がん検診のアクセシビリティ向上策等の実証事業

がん検診の更なる受診率の向上に向けて施策を重点化させる観点から、行動経済学に基づく働きかけや他の健診との同時実施等の介入を行い、どのような取り組みがより受診率の向上に効果的であるかについて検証する。

(オ) 健康にやさしいまちづくりのための環境整備に係る実証事業

健康づくりを推進するためには、全ての国民が自然に健康になることができる環境を整え、健康格差の解消を図ることが重要である。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための外出の差し控えにより、国民の歩く機会や社会参加が減少しており、多くの国民の健康に悪影響を及ぼすことも懸念されている。そこで、すでに実施されている「健康にやさしいまちづくり」の試みに関して介入効果の検証を行うとともに、新たな手法についても介入の実施と効果検証を行い、エビデンスに基づいた施策の実施へと繋げる。

● スケジュール：3か年度の実証事業を実施し、その成果を令和5年度以降の我が国の健康づくり政策に反映する

2020年度

実証計画の作成、
介入の準備

2021~2022年度

介入の実施、成果指標の分析・評価、
医療経済効果の算出等

2023年度以降

次期「健康日本21(第二次)」や健診制度等、
我が国の健康づくり政策に反映

健康経営と女性の健康

令和3年11月

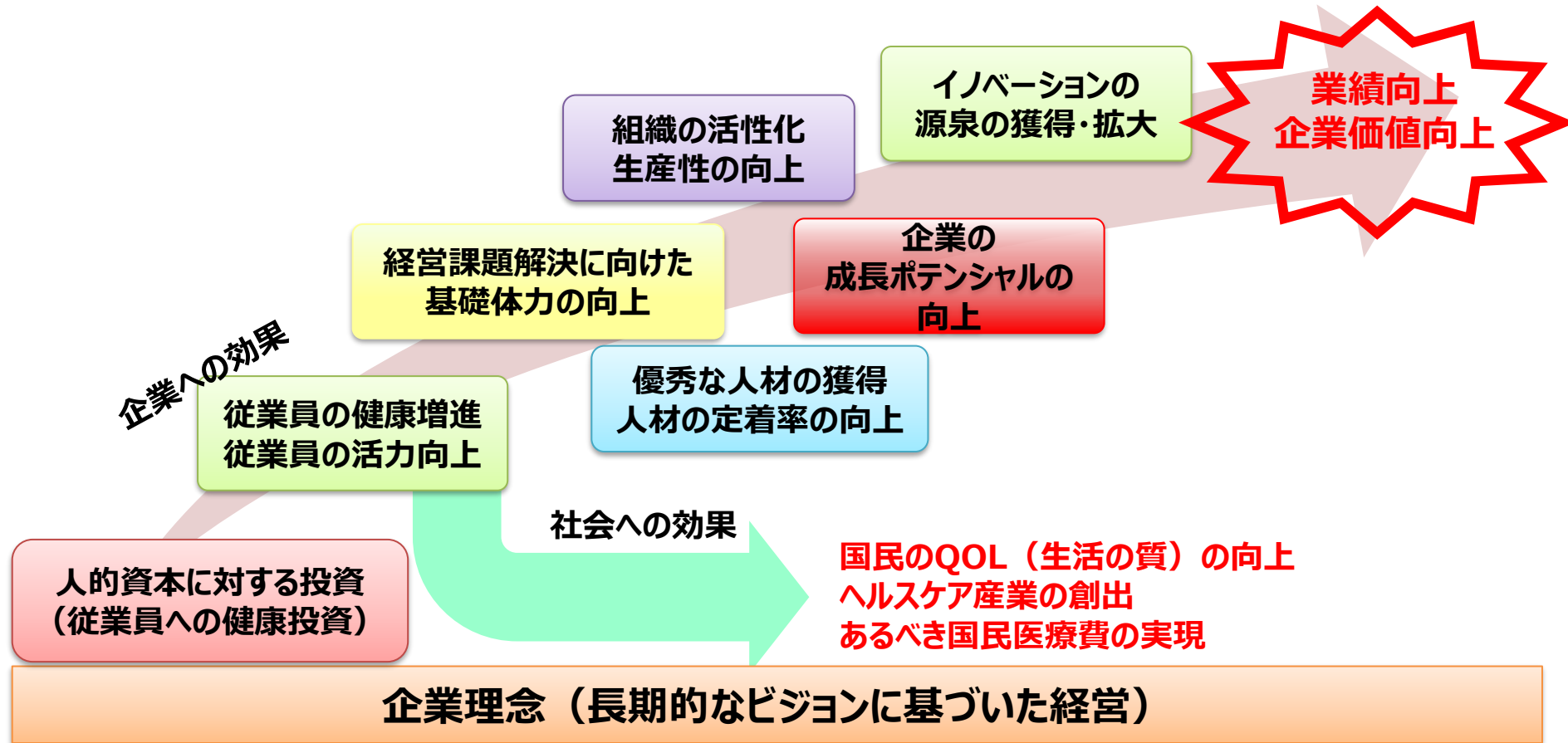
商務・サービスグループ

ヘルスケア産業課

「健康経営・健康投資」とは

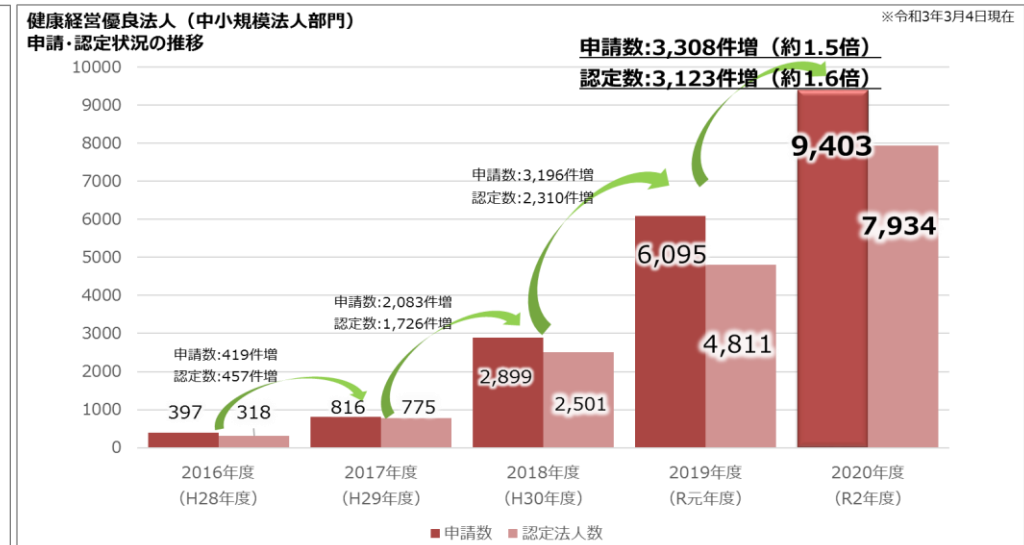
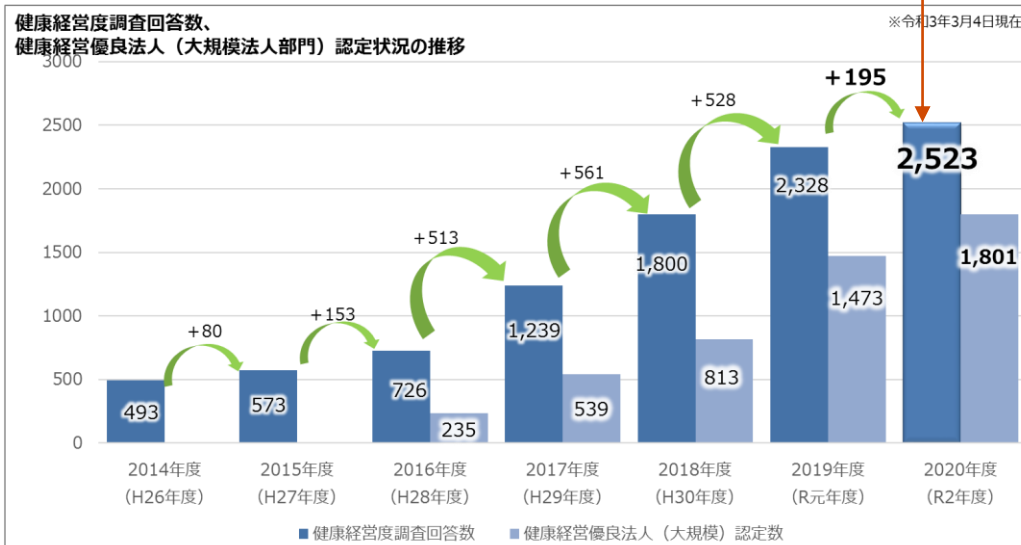
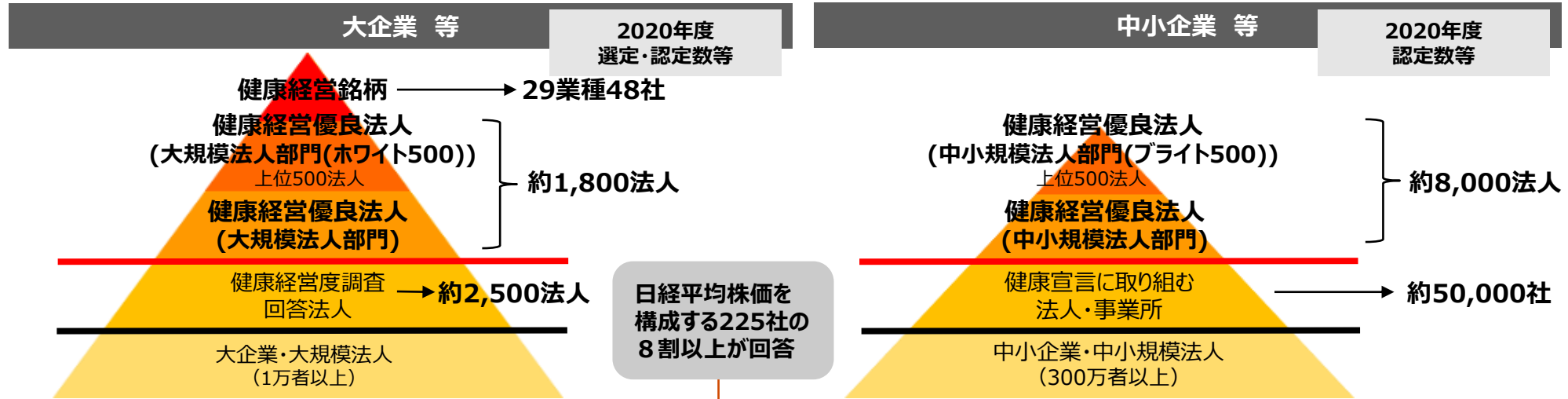
- 健康経営とは、従業員の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えの下、**健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること。**
- 企業が経営理念に基づき、従業員の健康保持・増進に取り組むことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に**業績向上や組織としての価値向上へ繋がることを期待**される。

※「健康」とはWHOの定義に基づく、「肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」をいう。
出典：日本WHO協会ホームページ



健康経営と顕彰制度について

- 健康経営に係る各種顕彰制度（健康経営銘柄、健康経営優良法人）を推進。
認定を取得する企業は年々増加している。
- 健康経営度調査において、**平成28年度から「女性の健康保持・増進に向けた取組」についての設問を追加。**



(参考) 健康経営の評価項目 – 令和3年度健康経営度調査の枠組み

評価項目	主な評価内容
1. 経営理念	<ul style="list-style-type: none"> ・経営トップのコミットメント ・統合報告書やCSR報告書への記載等を通じた社内外への発信
2. 組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・社長や役員が健康づくり責任者になる等、経営層が参加する組織体制の構築 ・専門知識を持った産業医や保健師等の健康施策検討への参加 ・健康保険組合との連携体制の構築
3. 制度・施策実行	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の策定 (例: 従業員の健康課題を把握、健康課題解決のために有効な取組を設定、健康経営で実現する目標値と目標年限を明確化)
	<ul style="list-style-type: none"> ・土台作り (例: ヘルスリテラシー向上のための研修を実施、ワークライフバランスや病気と仕事の両立に必要な就業規則等の社内ルールの整備) ・施策の実施 (例: 食生活の改善、運動機会の増進、感染症予防、メンタルヘルス不調者への対応、受動喫煙対策)
4. 評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・実施した取組の効果検証 ・検証結果を踏まえた施策の改善状況
5. 法令遵守・リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健診やストレスチェックの実施 ・労働基準法、労働安全衛生法の遵守

【健康経営の施策例】

ジム利用の費用補助



ウェアラブルデバイス支給



ヘルスリテラシーの向上



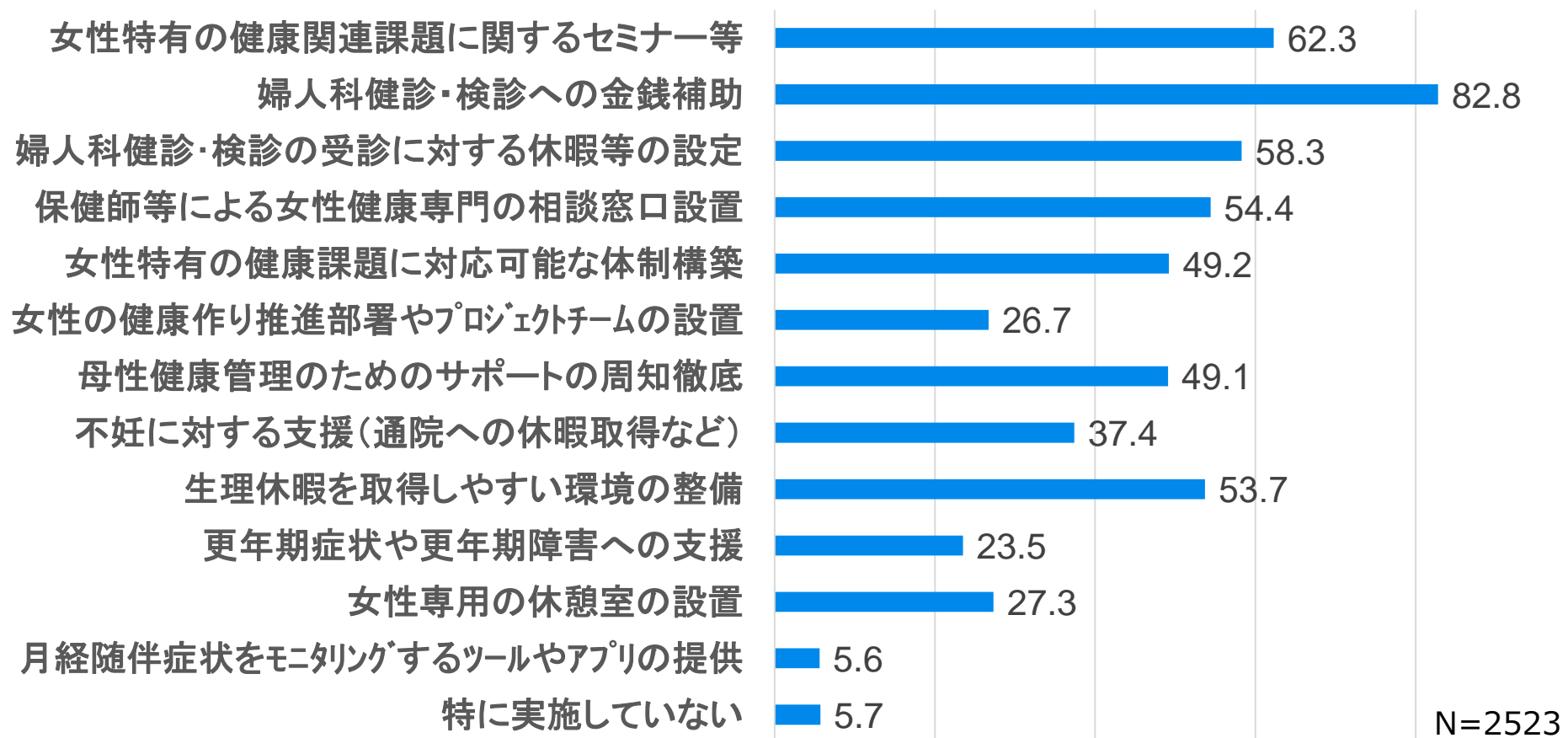
検診等に関する費用補助



女性従業員の健康課題に取り
組む企業も多く、FemTechを
活用する事例も増えている

健康経営における女性の健康課題への対応

- 健康経営度調査において、「女性特有の健康課題」に関する取組状況を問うている。
- セミナー等により教育・啓発を行っている法人は6割を超え、また婦人科健診等の補助を行っている法人は8割を超えた。



※令和2年度健康経営度調査Q47・Q48の回答結果をもとに作成。

本事業に関して、お問い合わせ等ございましたら、下記までご連絡ください。

<お問い合わせ先>

PwCコンサルティング合同会社 公共事業部
「フェムテック等サポートサービス実証事業」事務局

・ jp_cons_femtech@pwc.com

(受付時間 9 : 15 ~ 17 : 15 / 月 ~ 金 (祝日除く))

www.pwc.com/jp

経済産業省 令和3年度「フェムテック等サポートサービス実証事業」の
中間報告会の記録動画はこちらからご視聴いただけます

こちらからアクセス下さい



<https://youtu.be/T2kgR3FzZik>

© 2021 PwC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each subsidiary is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.

This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.